

目 次

目 次	1
I 2019 (令和元) 年度の主な活動	3
*2019 (令和元) 年度入館者一覧	4
II 資料の収集・利用	5
II-1 資料の収集	5
1) 受 贈	5
2) 購 入	5
3) 寄 託	5
II-2 資料の利用	6
1) 貸 与	6
2) その他	6
III 展示活動	7
III-1 総合展示	7
1) <京の歴史> ゾーン	7
2) <京のまつり> ゾーン	9
3) <京の至宝と文化> ゾーン	14
4) 3階展示室	25
5) ぶんぱく京都講座	27
III-2 特別展示	28
*2019 (令和元) 年度特別展一覧	36
III-3 映 画	38
1) 常設上映	38
2) 特別企画・共催事業	39
3) 映像ギャラリー常設展示	42
III-4 その他	42
III-5 京都学・歴彩館における展示	43
IV 調査研究活動	45
IV-1 学芸員の活動	45
1) 研 究	45
2) 出講・委嘱	45
3) 業 績	46
V 普及活動	49
V-1 出版物	49
1) 研究紀要『朱雀』	49
2) 年報	49
3) 展覧会図録	49
V-2 音楽会	50
V-3 京都アートフリーマーケット	51
V-4 学習普及外部連携室	51
1) ボランティア	51
2) 「ぶんぱく子ども教室」事業	51

3) 団体見学案内	52
4) 生き方探求チャレンジ体験	53
V-5 博物館実習	53
V-6 資料・情報公開	53
1) 資料閲覧室	53
2) ホームページによる広報とコンテンツの提供	54
V-7 外部連携活動	54
1) 他館との連携	54
2) 京都府内の学校との連携事業	55
3) 地域との連携	55
V-8 京都文化博物館友の会	56
1) 会 員	56
2) 事業概要	57
V-9 文化財保護基金室	58
1) 貸付け事業	58
2) 文化財保護に関する巡回よろず相談	58
3) 文化財保護の啓発普及	58
VI ギャラリー事業	59
VI-1 5・6階展示室	59
1) 京都文化財団展示室運営委員会	59
2) 美術・工芸作家の利用	59
3) 生涯学習的発表期間の利用	60
4) 一般の利用	62
VI-2 別館ホール	62
VII 管理・運営	64
VII-1 組織と職員	64
1) 組 織	64
2) 京都文化財団	64
3) 京都文化博物館	65
VII-2 施 設	66
1) 本館関係	66
2) 別館関係	66
VII-3 館内店舗	69
1) ろうじ店舗	69
2) 別館店舗	69
3) 博和会・ろうじ店舗行事	69
VIII 2019（令和元）年度のあゆみ	70

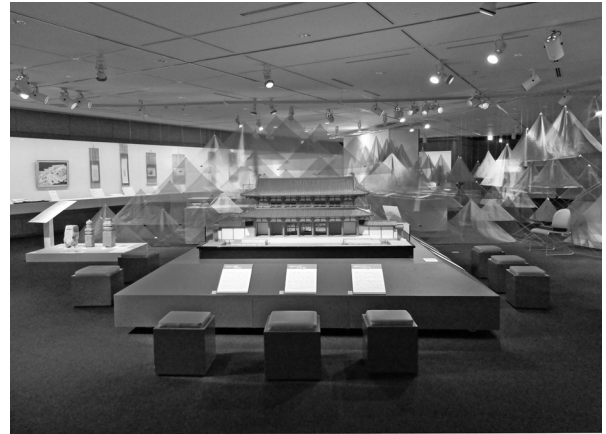
※本文および表中の敬称は、一部略させていただいた。

I 2019(令和元)年度の 主な活動

2018(平成30)年度に開催した「華ひらく皇室文化展」の余韻が残る2019年5月、改元が行われ「令和」の時代を迎えることとなった。

「美をきそう 肉筆浮世絵の世界」では、岐阜県高山市にある光ミュージアムから110点の肉筆浮世絵を展示。豪華な錦絵の魅力を間近で堪能できたと好評であった。夏には近世京都で活躍した絵師「横山峯山展」を開催。15メートルにわたって祇園祭を詳細に描写した二巻の絵巻は資料的にも非常に価値が高く、多くの府民を驚かせた。

9月にはICOM(国際博物館会議)京都大会2019が開催され、世界の120の国と地域から過去最多となる約4,500人もの博物館関係者が参加し、文化遺産の保護や最新事例の検討など活発な議論が行われた。主会場となった国立京都国際会館ではたいへんな混雑の中、開会式、オープニングパーティー、基調講演、各種セッションなどが行われた。9月5日には当館においてもCAMOC(都市博物館に関する委員会)のオフサイト・ミーティングが行われ、山田啓二館長が歓迎の挨拶を述べ、学芸員が当館における取組を発表するなど約150人の関係者が参加し「文化的なハブ(軸)としての都市博物館—過去、現在、未来」をテーマに熱心な議論と交流が行われた。また当館ではICOM京都大会開催記念展として4階では特別展「百花繚乱ニッポン×ビジュツ展」、3階では企画展「京の歴史をつなぐ」を開催、ICOM関係者や一般の入場者の皆様に日本文化や京都の歴史・文化を紹介し好評をいただいた。



「ICOM京都開催記念 京の歴史をつなぐ」展示風景

こうした喜ばしい出来事の一方で、大きな衝撃と悲しみをもたらした事件と未曾有の危機である新型コロナウイルス感染症の影響に触れざるを得ない。

祇園祭の山鉦巡行の熱気が冷めやらぬ7月18日、京都アニメーション(愛称「京アニ」)が放火され多くの尊い命が奪われた。映像文化を柱の一つとして取り組んでいる当館としても、京都を拠点に世界的な評価を得る良質のアニメを制作する京アニには多大な敬意と共感を持ち、協力を努めてきた。事件の悲惨さと失われた未来の大きさに我々職員も呆然となったが、改めて多くの方に京アニ作品の素晴らしさを伝えようと、協力作品のポスターを館内に掲げ、10月には当館をメイン会場とする京都ヒストリカ国際映画祭において『涼宮ハルヒの消失』『映画けいおん!』など4作品を上映した。また支援金募金箱を設置したところ総額359,197円の支援金が寄せられた。お預かりした支援金は京都府が設置した「京都府で発生した放火事件に係る被害者義援金」口座を通して被害者やご遺族への義援金として活用された。〔(注)支援金の一部は京都アニメーションが開設した支援金口座に直接入金したが、京都府の口座開設後に同口座に移行された。〕改めて犠牲となられた方のご冥福と負傷等被害を受けられた方のご回復をお祈りするとともに、京アニが少しずつ前に進んでいかれることを願い、博物館として多くのファンとともに応援していければと考えている。

新型コロナウイルス感染症の感染者が国内で初めて確認されたのは、2020年1月のことである。感染は燎原の火のごとく世界中に拡がり「都市のシャットダウン」「オーバーシュート」などの言葉を日常的に見聞きする事態となった。以下に2020年2月から6月までの主な動きや当館の対策等について記録に留める。

2月下旬に国が新型コロナウイルス感染症対策専門家会議(以下「専門家会議」)の見解を踏まえた対策の基本方針を決め全国の学校に休校を要請する中、当館としても当面の感染拡大を防止する観点から、2月28日から3月23日まで総合展示室を閉室とした。(フィルムシアターは5月19日まで。特別展は休室中)その後、専門家会議が美術鑑賞は感染リスクが低いとする見解を発表したこともあり、「密閉空間」「密集」「密接」を避けることやサーモグラフィー

を設置して発熱のある方には入館を控えていただくなどの感染防止対策を立て、3月24日から特別展「京都祇園祭展」及び総合展示（フィルムシアターを除く）を開催した。しかし京都府においても感染拡大は止まず、4月2日には西脇隆俊京都府知事と門川大作京都市長が共同会見を行い、府民に外出自粛などの「緊急のお願い」が行われた。こうした動きに呼応して、当館においても4月4日から特別展示室及び総合展示室を閉室した。

4月7日には国が東京都、大阪府など7都府県を対象に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を発出、16日には京都府を含む全都道府県に対象区域を拡大した。国の緊急事態宣言は5月25日まで続いたが、5月15日には京都府の段階的な緊急事態措置の見直しによる休止要請の解除が行われ、これを受けて当館においても、詳細な感染拡大予防ガイドラインを作成し高性能サーモグラフィ設置、エントリーシート提出、入場者数制限等の三密対策を含む徹底した対策をとった上で、5月19日から開館した。（フィルムシアターは5月20日から。6月19日までは18時以降閉館）このように長期間の閉室等を行ったため、特別展「京都祇園祭展」については予定していた開会式を中止、展示も10日間のみで開催となった。また、貸展示室、別館ホールも催事のキャンセルが相次いでいる。

2020年度以降もこうした状況は続くと思われるが、新型コロナウイルスが存在する社会において、厳しい環境で暮らす人々に求められる博物館活動とはどのようなものか、この逆境を乗り越えていくために何をしていかなければならないのか、大きなチャレンジの時である。

*2019(令和元)年度入館者一覧

年 月	総合展			特別展			計			ギャラリー				ろうじ 店舗	総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計		
2019.4	2,443	2,713	5,156	6,054	7,323	13,377	8,497	10,036	18,533	4,773	4,656	6,395	15,824	12,767	47,124
5	2,212	2,967	5,179	12,174	5,711	17,885	14,386	8,678	23,064	1,206	5,384	10,005	16,595	14,111	53,770
6	3,809	3,743	7,552	5,344	3,626	8,970	9,153	7,369	16,522	7,379	2,529	28,421	38,329	11,478	66,329
7	4,262	2,953	7,215	9,251	11,287	20,538	13,513	14,240	27,753	1,293	2,062	15,537	18,892	14,036	60,681
8	3,477	3,840	7,317	10,856	11,688	22,544	14,333	15,528	29,861	2,449	7,107	9,244	18,800	14,198	62,859
9	1,585	3,774	5,359	50,219	22,451	72,670	51,804	26,225	78,029	2,141	1,933	15,682	19,756	19,927	117,712
10	2,812	4,530	7,342	9,202	1,859	11,061	12,014	6,389	18,403	4,866	7,018	26,007	37,891	11,311	67,605
11	1,517	3,320	4,837	13,229	3,167	16,396	14,746	6,487	21,233	4,490	8,360	8,800	21,650	12,775	55,658
12	2,082	2,388	4,470	11,912	2,460	14,372	13,994	4,848	18,842	4,721	3,096	25,672	33,489	10,621	62,952
2020.1	2,677	2,700	5,377	13,593	13,801	27,394	16,270	16,501	32,771	2,564	3,775	13,052	19,391	9,389	61,551
2	3,342	3,506	6,848	1,872	15,969	17,841	5,214	19,475	24,689	1,930	5,452	19,307	26,689	8,102	59,480
3	65	63	128	403	582	985	468	645	1,113	1,579	2,249	3,165	6,993	4,500	12,606
年度計	30,283	36,497	66,780	144,109	99,924	244,033	174,392	136,421	310,813	39,391	53,621	181,287	274,299	143,215	728,327
1日平均 (総291日) (特223日)	104	125	229	646	448	1,094	599	469	1,068						

Ⅱ 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立京都学・歴史館（旧京都府立総合資料館）所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料（博物館資料）をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を京都学・歴史館（旧総合資料館）から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館および京都学・歴史館で行うとともに、収集、利用等についても、その業務を当館で行っている。

なお、2019年度末での館蔵資料は344件、寄託資料は281件。また、管理資料は53,964点、寄託資料が1,016点、一時保管資料が49点であった。

Ⅱ-1 資料の収集

1) 受 贈

【管理資料】

分野	資料名	点数	
染織	帯(花唐草文様)	15	
染織	戸帳	1	
陶芸	宮下善爾「創生」	13	
日本画	岩倉壽「九月」ほか	4	
陶芸	木村盛伸「茄子釉組皿」	1	
日本画	山崎隆夫「竹林」	1	
郷土玩具	七夕さん(紙衣)	1	
日本画	羽田月洲・森川曾文・田中一華・前川文嶺「京都名所図屏風」	1	
染織	中井貞次「火山去来」ほか	3	
染織	井隼慶人「宇治上神社」ほか	6	
金工	銅直鎗鞘形花入ほか	53	
洋画	太田喜二郎「裸体習作」ほか	6	
日本画	鉄斎印存	1	
			小計 106点

2) 購 入

分野	資料名	点数	備考
日本画	参内図屏風	1	公益財団法人京都文化財団の特定費用準備資金による購入
			小計 1点

3) 寄 託

種 別	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	小 計
館蔵資料	歴史資料	95件	美術工芸	98件	考 古	88件					281件
管理資料	日本画	8件 26点	陶 器	1件 89点	民 俗	3件 221点	武 具	1件 4点	染 織	3件 676点	16件 1016点

II - 2 資料の利用

1) 貸 与

【館蔵資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
考古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	向日市教育委員会	常設展
考古	平安京左京三条三坊十一町出土土甕	2	備前市教育委員会	備前市埋蔵文化財管理センター企画展
考古	石作・小塩窯出土資料	47箱	古代学協会	報告書作成など
考古	広隆寺旧境内出土資料	14	京都市考古資料館	企画展「京都の飛鳥・白鳳寺院」

【管理資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
日本画、風俗	三島上龍「燈籠美人」ほか	34	浜松市美術館	「上村松園展」に出品のため
日本画	野々内良樹「緑映」	1	内閣府迎賓館京都事務所	コロンビア共和国下院議長接遇のため、クロアチア共和国議会議長接遇のため
日本画	小野竹喬「曇りの日の海」ほか	2	笠岡市竹喬美術館	「小野竹喬のすべて」展に出品のため
日本画	綾田勝義「袖志の棚田 五月の頃」ほか	7	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画、工芸	森川曾文《宝入船之図》ほか	7	桑名市博物館	「伊藤小波」展に出品のため
日本画	円山応震《箕面滝図》ほか	2	京都国立近代美術館、東京藝術大学大学美術館、朝日新聞社	「円山応挙から近代京都画壇へ」展に出品のため
日本画	大内義興像	1	福岡市博物館	「侍 もののふの美の系譜」展に出品のため
日本画	木下章「光悦寺の萩」	1	内閣府迎賓館京都事務所	コソボ共和国大統領接遇のため
日本画	歌川豊春「見立女三宮図」	1	大分県立美術館	「The Ukiyo-e 歌川派」展に出品のため
日本画	吉川親方「懸想文売、遊山、お多福」ほか	47	奈良県立美術館	「吉川親方 日本文化へのまなざし」展に出品のため
日本画	小西通博「経ヶ岬」ほか	7	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
彫刻	銅造 如意輪観音坐像	1	大阪市立美術館	「仏像 中国・日本」展に出品のため
陶磁器	上絵金彩唐人物図三足香炉	1	郡山市立美術館	「クリストファー・ドレッサーと正倉院宝物」展に出品のため
日本画	浜田昇児《大野溪谷》	7	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	石川義《棲みたい》ほか	20	京都府立文化芸術会館	「生命の輝きー京の日本画家の描く動物画の世界」展に出品のため
日本画	菊池芳文《秋景遊鹿之図》ほか	4	笠岡市竹喬美術館	「近代花鳥画の名手」展に出品のため
日本画	谷口藹山「山水図」ほか	3	京都市学校歴史博物館	「京都府画学校への道」に出品のため
日本画	谷口香嶠《紫裾濃大鎧》ほか	2	練馬区立美術館	「津田青楓と歩む明治・大正・昭和」展に出品のため
日本画	南大路一「久見浜湾」ほか	7	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
陶磁器	初代高橋道八「鏤絵芦文芋頭水指」ほか	2	京都市美術館(京都市京セラ美術館)	「京都の美術 250年の夢」展に出品のため
日本画	祇園井特「花魁道中図屏風」ほか	6	東京都江戸東京博物館、山口県立美術館、あべのハルカス美術館	「鬼才ー江戸絵画の冒険者たちー」展に出品のため

合計 21件 163点

2) その他

寄託資料一時持ち出し・貸与

	分野	資料名	点数	申請者	使用目的
館蔵資料	絵画	上村松園「夕暮」	1	浜松市美術館長、中日新聞東海本社	展覧会
	絵画	上村松園「夕暮」	1	東京富士美術館長	展覧会
	絵画	「諏訪神事図扇面」	1	サントリー美術館長、山口県立美術館長	展覧会
管理資料	民俗	大船鉾神輿体及び神事祭事用品及び装飾品	15	公益財団法人四条町大船鉾保存会	祭礼
	民俗	大船鉾神輿体及び神事祭事用品及び装飾品のうち13船		公益財団法人四条町大船鉾保存会	祭礼
	民俗	緋威小札大鎧ほか	一式	鞍馬火祭保存会	祭礼

Ⅲ 展示活動

Ⅲ-1 総合展示

当館の「総合展示」は、リニューアル前の「常設展示」に替わって設けられた。いつ来館しても、同じテーマや内容に添った展示品を見ることが出来るという従来のいわゆる常設展示は、展示面積を縮小し、〈京の歴史〉ゾーンに集約された。そして、〈京の歴史〉ゾーンだけでは十分に語りきれないテーマやこぼれ落ちている内容などについての企画展示が、従来の「特別陳列コーナー」を一新し、且つ展示面積の大幅な拡張の上に、実施されることとなった。

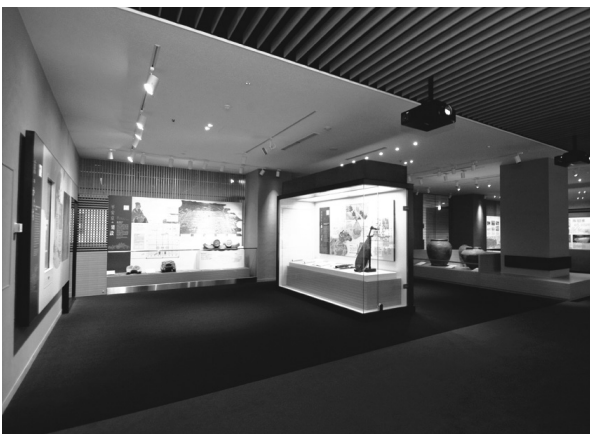
企画展示は、祇園祭など京の祭礼行事を紹介する〈京のまつり〉ゾーン、京都の歴史や文化にかかわる名品類を中心とした〈京の至宝と文化〉ゾーン、そして展示内容やボリュームによって3階展示室も柔軟に利用しながら、それぞれ1ヶ月半～3ヶ月程度の期間で次々と展示内容を変え、実施されている。

「総合展示」の展示品は、館蔵資料、管理資料、寄託資料のほか、他の博物館や美術館などが所蔵している貴重な資料（国宝や重要文化財含む）であり、展示品数や規模は小さいものの、いわゆる特別展示の構成と変わらない。リニューアル後、大きな力点がおかれることになったのが「総合展示」であり、多様且つ奥深い京都文化をできるだけ総合的に紹介できるように試みられている。

1) 〈京の歴史〉ゾーン

本エリアは、平安京の成立から近代都市として脱皮を遂げた明治・大正期までの京の歴史を概観する展示である。展示構成としては、平安時代から江戸時代における都市・京都の姿を描いた絵画資料を用い、大画面でその様子を伝える「絵巻回廊」、通史的な都市形態の変遷をCGで叙述した「京のかたち」、時代ごとの政治的・文化史的な要素を豊富なグラフィックで紹介しながら実物資料を配置する各展示ケースで構成され

る。狭小な展示スペースながら、隣接する「京のまつり」「京の至宝と文化」の各ゾーンで展開する展示活動の歴史的な核となるよう運用を行っている。



〈京の歴史〉ゾーン



「絵巻回廊」

【〈京の歴史〉ゾーン 展示資料】

	コーナー名	No.	資料名	員数	所蔵
	イントロダクション	1	平安時代の軒丸瓦 平安京跡出土	3点	〈**〉
デジタル資料	絵巻回廊	2	駒競行幸絵巻	1点	和泉市久保惣美術館
		3	一遍上人絵伝	1点	東京国立博物館
		4	洛中洛外図屏風 歴博甲本	1点	国立歴史民俗博物館
		5	洛中洛外図屏風 歴博F本	1点	国立歴史民俗博物館
		6	古写真 八坂神社から見る四条通	1点	国際日本文化研究センター
	7	古写真 新京極の風景 昭和初期	1点	京都府立京都学・歴史館	
	8	古写真 円山公園 明治末～大正期	1点	京都府立京都学・歴史館	
	9	古写真 平安神宮地鎮祭余興 明治29年	1点	平安神宮	
	10	古写真 四条寺町をまがる船鉾	1点	京都府立京都学・歴史館	
	11	古写真 大丸前を巡行する長刀鉾 大正2年頃	1点	京都府立京都学・歴史館	
	12	動画 祇園祭風景 大正期	1点	大阪芸術大学映像復元プロジェクト	
	13	動画 時代祭風景 昭和8年	1点	〈**〉	
	14	古写真 三代事業起工式 明治41年	1点	京都市上下水道局	
	15	古写真 疎水舟だまり風景 明治25年	1点	京都市上下水道局	
	16	古写真 東丸太町での水道管敷設 明治43年	1点	京都市上下水道局	
	17	古写真 四条烏丸を走る市電 大正初期	1点	京都府立京都学・歴史館	
	18	古写真 ウィーン万国博覧会 日本参加団集合写真 明治7年	1点	有田町歴史民俗資料館	
	19	古写真 柳池小学校 明治20年頃	1点	京都府立京都学・歴史館	
	20	古写真 英学校及び女紅場	1点	京都府立京都学・歴史館	
	21	古写真 絵画専門学校授業風景 明治42年	1点	京都市立芸術大学 芸術資料館	
	22	古写真 京都帝国大学	1点	京都府立京都学・歴史館	
	23	古写真 同志社大学クラーク記念館	1点	同志社史資料センター	
	24	動画 京都駅など町並み 昭和5年頃	1点	〈**〉	
	25	古写真 朱雀二条商店街の盛況 昭和35年頃	1点	世界人権問題研究センター	
		京のかたち	26	京都文化博物館近辺の土層はぎとり標本	1点
実物資料	平安京の造営	27	磚(敷瓦) 西賀茂瓦窯跡出土	18点	〈**〉
		28	鬼瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	2点	〈**〉
		29	緑釉軒瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	5点	〈**〉
	平安貴族のくらしと文化	30	池亭記(複製資料)	1巻	〈**〉
		31	土器 雲林院跡出土	37点	〈**〉
		32	緑釉陶器耳皿 雲林院跡出土	1点	〈**〉
		33	中国製青磁碗 雲林院跡出土	1点	〈**〉
	中世都市市民の生活	34	中国製白磁碗 雲林院跡出土	1点	〈**〉
		35	常滑大甕 平安京左京五条三坊十五町跡出土	1点	〈**〉
		36	備前大甕 平安京左京三条三坊十一町跡出土	1点	〈**〉
		37	中国製四耳壺 平安京左京八条三坊二町跡出土	1点	〈**〉
		38	埋納銭 平安京左京八条三坊七町跡出土	一式	〈**〉
		39	鑄造関連遺物(刀装具、仏具、鏡等) 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	〈**〉
近世町人のなりわい	40	中国製磁器 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	〈**〉	
	41	金箔押瓦 聚楽第跡出土	4点	〈**〉	
	42	京童	1冊	〈**〉	
	43	都名所図会	1冊	〈**〉	
	44	つぼつぼ	9点	〈**〉	
	45	でんぼ	1組	個人	
	46	伏見人形 布袋	1点	〈**〉	
	47	伏見人形 饅頭喰い	2点	〈*〉	
	48	鏡師工房関連遺物 京都市下京区坂東屋町出土	一式	〈**〉	
49	柄鏡	1点	〈*〉		

※所蔵欄 〈*〉印の資料は京都学・歴史館(旧総合資料館)蔵(当館管理)、〈**〉印の資料は当館蔵

2) <京のまつり>ゾーン

① 祇園祭－函谷鉾の名宝－

会 期：2019年4月6日(土)～6月16日(日)

前期展示：4月6日(土)～5月12日(日)

後期展示：5月15日(水)～6月16日(日)

概 要：「祇園祭最初の稚児人形「嘉多丸」の登場から
180年を迎えます」

函谷鉾は、京都市下京区四条通烏丸西入の
函谷鉾町から祇園祭の山鉾巡行に参加する鉾
であり、鉾の名前は中国の齊の国の宰相・孟
嘗君の故事にちなんだもので、その勇壮な姿
と鮮やかな装飾品で前祭の巡行を彩る。

函谷鉾は祇園祭では最初に人形稚児を搭載
した鉾で、人形稚児「嘉多丸」を載せて巡行

する。2019年は嘉多丸が登場した天保10年
(1839) からちょうど180年目となった。

また函谷鉾には、16世紀中頃にヨーロッパ
で製作されたタペストリーを仕立て直した重
要文化財の前懸『旧約聖書』イサクに水を供
するリベカ』をはじめ、17世紀のインド製「中
東連花葉文様」ラホール絨毯の前懸のほか、中
国大陸で織られた絨毯などを継いで仕立てた
胴懸など、舶来の貴重な懸装品を多数有して
おり、今回の展示ではこうした品々を公開した。

出品資料数：34件

担当者：橋本 章

【「祇園祭－函谷鉾の名宝－」展 出品資料一覧】

番号	資料名	員数	時代	備考	展示期間
1	前掛 飾毛綴(『旧約聖書』イサクに水を供するリベカ)より)	1枚	16世紀中頃	重要文化財	前期
2	前掛 飾毛綴(『旧約聖書』イサクに水を供するリベカ)より)	1枚	平成18年(2006)復元新調	重要有形民俗文化財	後期
3	前掛 中東連花葉文様 ラホール絨毯	1枚	17世紀前半		後期
4	見送 金剛界礼懺文 軸装	1枚	江戸時代後期		前期
5	胴掛(南・三枚の右)玉取親子獅子図 朝鮮毛綴	1枚	17世紀前半		後期
6	胴掛(南・三枚の中)蓬萊山四蝶図 朝鮮毛綴	1枚	19世紀初頭		後期
7	胴掛(南・三枚の左)鳳凰と虎と鶴に牡丹の図 朝鮮毛綴	1枚	17世紀前半		後期
8	胴掛(北・三枚の右)玉取獅子図 アラビア文字額 中国近辺絨毯	1枚	17世紀初頭		前期
9	胴掛(北・三枚の中)中東連花葉文様 インド絨毯	1枚	18世紀前半		前期
10	胴掛(北・三枚の左)虎と梅樹図 斜め格子額 中国近辺絨毯	1枚	17世紀初頭		前期
11	後掛 ハツ星メダリオン草花文様 インド絨毯	1枚	17世紀後半		後期
12	稚児人形「嘉多丸」 仏師七条左京康朝作	1体	天保10年(1839)	重要有形民俗文化財	前期
13	稚児人形天冠	1台	大正7年(1918)	重要有形民俗文化財	前期
14	稚児人形装束 狩衣・小袖・差貫	一式	平成19年(2007)	重要有形民俗文化財	前期
15	稚児人形持物 羯鼓・中啓	一揃	天保10年(1839)	重要有形民俗文化財	前期
16	稚児人形天冠 (西陣織物館蔵)	1台	天保10年(1839)		後期
17	稚児人形衣裳 狩衣 (西陣織物館蔵)	1具	天保10年(1839)		後期
18	稚児人形衣裳 狩衣 (西陣織物館蔵)	1具	大正7年(1918)		後期
19	軒裏絵「鶏鴨図」 今尾景年筆	4枚	明治33年(1900)	重要有形民俗文化財	前期
20	関の雄雌鶏	2点	天保10年(1839)	重要有形民俗文化財	前期
21	破風板飾 八双金物金銅透彫鳳凰	6点	明治17～18年(1884～85)	重要有形民俗文化財	後期
22	破風飾金具 金色塗菊花丸彫 拝懸魚の鰭	2点	江戸時代後期	重要有形民俗文化財	後期
23	獅子口の鰭 金箔置巻雲形彫の鰭	2点	明治18年(1885)	重要有形民俗文化財	後期
24	破風 金色塗三ツ花懸魚	1点	嘉永元年(1848)	重要有形民俗文化財	後期
25	鉾頭 月形 白銅銀鍍金	2点	天保10年(1839)	重要有形民俗文化財	前期
26	妻板飾 「林清和」「鶴飼童子」「波に亀」「牡丹」	4点	嘉永2年(1849)	重要有形民俗文化財	後期
27	房掛 大形源氏蝶 極彩色金箔置 木彫	4点	文久元年(1861)	重要有形民俗文化財	前期
28	雲麒麟座花 宣徳香爐	1台	明治26年(1893)		前期
29	宣徳花瓶 金菊花	1対	昭和32年(1957)		前期
30	掛軸「祇園牛頭天王」 一條忠春筆	1点	天保9年(1838)		通期

31	「風光帖」 附、版木(2枚)	1冊	文化2年(1805)		後期
32	「町中一統連印申堅書」	1通	天保9年(1838)		前期
33	「口上書」	1通	天保10年(1839)		前期
34	「木偶御稚児之由来」	1通	弘化3年(1846)		後期

* 出品する資料は、No.16、17、18を除き、全て公益財団法人函谷鉾保存会の所蔵品。

* 出品する資料のうち、No.16、17、18は一般財団法人西陣織物館の所蔵品。

② 祇園祭—山鉾巡行の歴史と文化—

会 期：2019年6月22日(土)～8月4日(日)

概 要：「新しい御代を迎えた今年、

祇園祭もまた新たな歴史を刻みます」

京都の歴史とともに現代まで連綿と受け継がれてきた祇園祭は、日本を代表する祭礼として名高いもので、絢爛豪華な装飾品で飾られた山鉾は「動く美術館」とも称され、国内はもとより遠く東アジアや中近東、そしてヨーロッパの美術工芸の粋が集結している。祇園祭に登場する山鉾は、国の重要有形民俗文化財に指定されているほか、「山・鉾・屋台行事」のひとつとしてユネスコの無形文化遺産にも登録されている。

祇園祭の長い歴史の中には数々の変転が

あった。時には災害にみまわれ巡行の行列からその姿を消していった山鉾もあるが、そのひとつが鷹山である。鷹山は文政9年(1826)の大風雨の被害を受けて休み山となり、その後元治元年(1864)の大火によって部材を焼失し、長くその姿を見ることはなかった。しかし、近年鷹山復興の機運が生まれ、現在の取り組みが始まっている。

この展示では、祇園祭の山鉾に関する歴史や文化を紹介すると共に、復活をめざす鷹山について記録した江戸時代の資料も公開して、その様相に迫った。

出品資料数：20件

担当者：橋本 章

【「祇園祭—山鉾巡行の歴史と文化—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	員数	時代	所蔵
1	「鷹山御神体人形図」	1幅	天保2年(1831)	公益財団法人鷹山保存会
2	「鷹山かざり物覚」(三条衣棚町文書)	1枚	宝暦6年(1756)	京都府立京都学・歴史館
3	「見送り縫寄附帳」(三条衣棚町文書)	1冊	明和3年(1766)	京都府立京都学・歴史館
4	「鷹山人形 飾付一式覚」(三条衣棚町文書)	1枚	天明2年(1782)	京都府立京都学・歴史館
5	「鷹山人形 飾付一式覚」(三条衣棚町文書)	1枚	天明5年(1785)	京都府立京都学・歴史館
6	「口上覚」(三条衣棚町文書)	1枚	寛政10年(1798)	京都府立京都学・歴史館
7	「山飾附之事」(三条衣棚町文書)	1冊	享和3年(1803)	京都府立京都学・歴史館
8	「鷹山破損二付諸方掛合」(三条衣棚町文書)	1冊	文政7年(1824)	京都府立京都学・歴史館
9	「鷹匠人形他一式覚」(三条衣棚町文書)	1冊	天保3年(1832)	京都府立京都学・歴史館
10	「鷹匠人形他一式覚」(三条衣棚町文書)	1枚	天保3年(1832)	京都府立京都学・歴史館
11	鶏鉾前懸 中東連花葉文様ヘラット絨毯	1枚	18世紀初頭	公益財団法人鶏鉾保存会
12	鶏鉾後懸 メダリオン中東連花葉文様インド模織絨毯	1枚	17世紀後半	公益財団法人鶏鉾保存会
13	洛中洛外図屏風(松居家本)	6曲1双	江戸時代後期	個人蔵
14	菊水鉾巡行模型	一式	昭和46年(1971)	京都府(京都文化博物館管理)
15	月鉾模型	1台	昭和時代	京都府(京都文化博物館管理)
16	『祇園御霊会細記』	2冊	宝暦7年(1757)	京都府(京都文化博物館管理)
17	『諸国年中行事大成』	7冊	文化3年(1806)	京都府(京都文化博物館管理)
18	長刀鉾模型	1台	昭和時代	京都文化博物館
19	月鉾模型	1台	明治時代	京都文化博物館
20	『都名所図会』	6冊	安永9年(1780)	京都文化博物館

③ 祇園祭—長刀鉾の名宝—

会 期：2019年8月10日(土)～10月20日(日)
 前期展示：8月10日(土)～9月16日(月・祝)
 後期展示：9月19日(木)～10月20日(日)

概 要：「祇園祭前祭山鉾巡行の先頭を行く、
 祇園祭を象徴する鉾」

京都市下京区四条通烏丸東入ルの長刀鉾町から出立する長刀鉾は、祇園祭前祭の山鉾巡行で常に先頭を行く鉾である。山鉾の中では唯一生き稚児を乗せて巡行し、途中四条通麩屋町に張られた注連縄を稚児が刀で切り開く姿は、祇園祭を象徴する光景のひとつとして広く知られている。

長刀鉾は、祇園祭に参加する山鉾の古式の目安とされる応仁の乱よりも以前からその名があり、くじ取り式が始まった明応9年(1500)の時から現在に至るまで、常に巡行一番を勤めてきた由緒ある鉾。歴史と伝統に裏打ちされた長刀鉾には、数多くの貴重な品々が伝来している。

長刀鉾の歴史は、まさに祇園祭の歴史そのものである。今回の展示では、長刀鉾に伝わる華麗な美術工芸品や貴重な文献資料などを取り揃えた。

出品資料数：24件

担当者：橋本 章

【「祇園祭—長刀鉾の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	員数	時代	指定等	展示期間
1	胴懸 梅枝に小鳥の図毛綴	1枚	16世紀前期		前期
2	胴懸 梅樹の図 牡丹唐草アラビア文字額絨毯	1枚	17世紀初頭		前期
3	胴懸 十華の図 牡丹唐草アラビア文字額絨毯	1枚	17世紀初頭		前期
4	胴懸 玉取り獅子の図 アラビア文字額絨毯	1枚	16世紀初頭		前期
5	胴懸 玉取り獅子の図 斜め格子額絨毯	1枚	16世紀初頭		前期
6	二番水引 紺羅紗地唐草四神八珍果図刺繍 三番水引 蜀江雲龍文様織珍	4枚	文政4年(1821) 江戸時代		後期
7	後懸 中東連花葉文様 ラホール絨毯	1枚	17世紀中頃	重要有形民俗文化財	後期
8	稚児本衣裳 紅地雲取龍鳳凰金欄振袖 天冠 羯鼓・撥 中啓 懸守 太刀(附・刀立て)	一式		重要有形民俗文化財	前期
9	長刀 銘 和泉守藤原来金道	1振	延宝3年(1675)		前期
10	鉾頭 長刀(プラチナ箔 模造刀)	1振	現代	重要有形民俗文化財	後期
11	棟先飾 金箔押虎魚(鮓)	2体	文政11年(1828)	重要有形民俗文化財	前期
12	欄縁 黒漆塗「三十六禽之図」鍍金金具付 菱川清春下絵	4本	天保7年(1836)	重要有形民俗文化財	前期
13	見送裾部飾金具 鉄線に虫尽し文様鍍金金具	9点	天保7年(1836)	重要有形民俗文化財	後期
14	角飾金具(上段)雲文様肉厚彫鍍金金具	4点	文政4年(1821)	重要有形民俗文化財	前期
15	角飾金具(2段目)雲鶴文様鍍金金具	4点	文政4年(1821)	重要有形民俗文化財	前期
16	角飾金具(3段目)岩に靈芝文様鍍金金具	4点	文政4年(1821)	重要有形民俗文化財	前期
17	角飾金具(4段目)波に鶴文様鍍金金具	4点	文政4年(1821)	重要有形民俗文化財	前期
18	天井囲板 星板鍍金二十八宿図 紀廣成下絵	4枚	文政11年(1828)	重要有形民俗文化財	後期
19	けらば板 鶴図(前)孔雀図(後)松村景文筆	4枚	文政12年(1829)	重要有形民俗文化財	後期
20	天王人形 和泉小次郎親衛像	1体	昭和61年(1986)復元新調	重要有形民俗文化財	後期
21	破風臺股木彫舞楽振鉾(厭舞)像	2体	文政12年(1829)	重要有形民俗文化財	後期
22	破風臺股木彫三條小鍛冶宗近長刀を鍛えるの像	1体	文政12年(1829)	重要有形民俗文化財	後期
23	掛軸「神速素戔鳴尊」	1幅			前期
24	掛軸「祇園牛頭天皇」	1幅			後期

④ 祇園祭—四条傘鉦の名宝—

会 期：2019年10月26日(土)～12月22日(日)

概 要：「祇園祭の往古の姿を求めて復興された鉦」

四条傘鉦は、京都市下京区四条通西洞院西入る傘鉦町から巡行に出立する鉦である。傘鉦を中心に、棒振りや鉦、太鼓、ササラなど多彩な芸能を催す子供たちが行列をなして、都大路を練り歩く。

四条傘鉦は室町時代にはすでに傘鉦としてその名が知られていたが、明治時代になって一度姿を消している。しかし昭和60年(1985)

に居祭として復活し、昭和63年にはおよそ100年ぶりに山鉦巡行に参加した。以来毎年、四条傘鉦は山鉦巡行の列に加わって華やぎを添えている。

今回の展示では、四条傘鉦を彩る懸装品や棒振り踊りの衣装や飾金具など、数々の品を取り揃えた。

出品資料数：9件
担当者：橋本 章

【「祇園祭—四条傘鉦の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	員数	時代
1	垂り「麗光鳳舞之図」鈴鹿雄次郎作	一式	昭和60年(1985)
2	垂り「早雲寺文台裂」	一式	昭和60年(1985)
3	赤幣	1本	昭和60年(1985)
4	欄縁 波濤図 木瓜・三巴・市女笠紋金具付	4本	平成22年(2010)
5	角飾金具 鬼面文様	4点	平成22年(2010)
6	胴懸 インド更紗	4枚	昭和60年(1985)
7	棒振り踊り衣装	一式	昭和63年(1988)
8	花笠(太鼓・鉦・ササラ)衣装	一式	昭和63年(1988)
9	くじ箱	2点	昭和63年(1988)

⑤ 雛人形名品展

会 期：2020年2月15日(土)～4月5日(日)

前期展示：2月15日(土)～3月15日(日)

後期展示：3月17日(火)～4月5日(日)

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため
2月28日より休室

概 要：本年の雛人形展は、2015年度の雛人形名品展以来4年ぶりの公開となった。京都府の収蔵品より、立雛から元禄雛、享保雛、有職雛、古今雛といった雛人形の代表的な様式の優

品を紹介した。また、昨年10月に即位礼が行われたことから、即位礼の天皇皇后の姿をあらわした大礼雛を紹介した。あわせて、雛人形を描いた江戸時代の絵画作品と、現代の作家による雛人形をモチーフにした型絵染の作品を紹介した。

出品資料数：13点
担当者：林 智子

【「雛人形名品展」出品資料一覧】

番号	作品名	点数	作者	時代	展示期間
1	雛人形 立雛	一組		江戸時代	通期
2	雛人形 元禄雛	一組		江戸時代	通期
3	雛人形 享保雛	一組		江戸時代	通期
4	雛人形 有職雛	一組		江戸時代	通期

5	雛人形 古今雛	一組		江戸時代	通期
6	雛人形 古今雛	一組		江戸時代	通期
7	雛人形 大礼雛	一式	大木丸平	昭和2年(1927)	通期
8	立雛図	一幅	山口素絢	江戸時代後期	前期
9	立雛	一幅	長沢芦鳳	江戸時代後期	後期
10	雛祭	二曲一隻	澁谷和子	平成元年(1989)	通期
11	縫腋袍 赤地輪無唐草文	一領		明治時代	通期
12	袷 雲立涌梅丸向尾長鳥文様	一領		明治時代	通期
13	袷 花菱亀甲牡丹丸文様	一領		明治時代	通期



「祇園祭－函谷鉾の名宝－」展示風景



「祇園祭－山鉾巡行の歴史と文化－」展示風景



「祇園祭－長刀鉾の名宝－」展示風景



「祇園祭－四条傘鉾の名宝－」展示風景

3) <京の至宝と文化>ゾーン

III-1 総合展示 ▶ 3) <京の至宝と文化>ゾーン

① 太田喜二郎と藤井厚二—日本の光を追い求めた画家と建築家—

会 期：2019年4月27日(土)～6月23日(日)
 前期展示：4月27日(土)～5月26日(日)
 後期展示：5月28日(火)～6月23日(日)
 概 要：京都の洋画家太田喜二郎(1883～1951)と京都で活躍した建築家の藤井厚二。二人は京都帝国大学建築学科の同僚で、親しく交遊した。本展はこの二人を取り上げ、絵画と建築をクロスさせた新しい視点から構成する展覧会として開催した。太田と藤井が追求した、自然の中で移ろう光をいかに取り入れるか、西洋に学んだ絵画や建築をいかに日本の風土や文化に馴染むものにするかなどをテーマに、二人の仕事を新たな視点から検証した。
 主 催：京都府、京都文化博物館、読売新聞社、美術館連絡協議会
 協 力：株式会社竹中工務店
 協 賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜
 出品資料数：80件
 担当者：植田彩芳子

【関連行事】

- [1] シンポジウム「太田喜二郎と藤井厚二」
 日時：2019年6月2日(日)午後2時～5時
 場所：別館ホール
 パネリスト：石田潤一郎氏(武庫川女子大学客員教授／京都工芸繊維大学名誉教授)、中谷至宏氏(京都市美術館)、松隈章氏(竹中工務店)、山田真規子氏(目黒区美術館)、植田彩芳子(当館学芸員)
 担当：植田彩芳子
 参加者数：108名
- [2] 建築ツアー「藤井厚二を訪ねて」
 ・第1回 日時：5月11日(土)午後1時～6時頃
 場所：喜多邸と聴竹居
 ・第2回 日時：6月8日(土)午後1時～6時頃
 場所：八木邸と聴竹居
 担当：植田彩芳子
 参加者数：それぞれ20名、18名
- [3] ギャラリートーク
 日時：5月24日(金)、6月7日(金)、6月14日(金)午後6時～(30分程度)
 場所：本館2階展示室内
 担当：植田彩芳子
 参加者数：それぞれ8名、15名、2名

【「太田喜二郎と藤井厚二—日本の光を追い求めた画家と建築家—」展 出品資料一覧】

no.	作家名	作品名	制作年	所蔵など	展示期間
1-1	太田喜二郎	自画像	1919-1951年	個人蔵	後期
1-2	太田喜二郎	目黒	1902年9月16日	個人蔵	
1-3	太田喜二郎	多摩川の夕日	1902年11月9日	個人蔵	
1-4	太田喜二郎	荏原郡御殿山にて	1902年10月28日	個人蔵	
1-5	太田喜二郎	築地農商務省	1902年11月6日	個人蔵	
1-6	太田喜二郎	東京より帰還岐阜にて	1902年12月	個人蔵	
1-7	太田喜二郎	黒田清輝筆《裸体・女》模写		個人蔵	
1-8	太田喜二郎	黒田清輝筆《裸体・女》模写		個人蔵	
1-9	太田喜二郎	木蔭の少女	1909年	個人蔵	
1-10	太田喜二郎	窓辺読書	1910年	京都国立近代美術館	
1-11	太田喜二郎	裸体習作	1910年春	個人蔵	
1-12	太田喜二郎	水辺の街	1908-1913年	京都国立近代美術館	
1-13	太田喜二郎	樹陰	1911年	京都市美術館	
1-14	太田喜二郎	蓮の成長の経過デッサン(1)		個人蔵	
1-15	太田喜二郎	蓮の成長の経過デッサン(2)		個人蔵	
1-16	太田喜二郎	サン・ピエール寺(夏の朝)	1910-1911年	姫路市立美術館	
1-17	太田喜二郎	サン・ピエール寺(夕陽)	1910-1911年	姫路市立美術館	

1-19	太田喜二郎	サン・ピエール寺(冬の朝)	1910-1911年	個人蔵	
1-21	太田喜二郎	乳屋の娘	1911年	京都国立近代美術館	前期
1-23	太田喜二郎	花摘図	1911-1912年頃	星野画廊	
1-24	太田喜二郎	バルコンの女	1911-1912年頃	京都市美術館	
1-29	太田喜二郎	斜陽	1915年	個人蔵	後期
1-30	太田喜二郎	帰農	1915年	個人蔵	
1-31	太田喜二郎	小憩	1915年	個人蔵	前期
1-32	太田喜二郎	農婦	1915年	個人蔵	後期
1-35	太田喜二郎	夏の昼	1919年	京都市美術館	前期
1-36	太田喜二郎	田植	1927年	個人蔵	後期
1-37	太田喜二郎	黄海海戦下絵	1934年頃	個人蔵	
1-38	太田喜二郎	鶏	1935年	京都市美術館	後期
1-39	太田喜二郎	雪晴れの港	1951年頃	個人蔵	前期
1-40	太田喜二郎	藤井厚二肖像画	1938年冬	個人蔵	
2-A		太田喜二郎邸			
2-1	藤井厚二	太田邸玄関照明(コードペンダント)	1924年	個人蔵	
2-2		太田邸模型 1/50	2019年	制作：二星大暉 協力：京都工芸繊維大学 松隈洋研究室	
2-3		太田邸 2階平面図 1階平面図 屋根伏図 1/100		京都大学大学院工学研究科建築学専攻	
参考 出品		「太田喜二郎筆<<庭>> 帝国美術院第12回美術展覧会出品」絵葉書		個人蔵	
2-4		太田邸 実測図(想定復原図)	2018年	実測及び作図：古材文化の会	
2-5	藤井厚二	太田邸 増改築のためのスケッチ(ノート)		個人蔵	
2-6	太田喜二郎	寿月庵茶会絵巻	1935年	個人蔵	
2-7	藤井厚二	茶碗 龍膽		個人蔵	
2-8	藤井厚二	茶碗 白梅模様	1935年	個人蔵	
2-9	藤井厚二	茶碗 藤焼 寄せ書き	1936年	個人蔵	
2-10	藤井厚二	茶碗 睡蓮	1935年	個人蔵	
2-11	加藤源之助編輯	『加藤源之助作品集』金港堂書店刊行	1930年6月5日	京都府立京都学・歴史館	
2-12	太田喜二郎	太田喜二郎から藤井厚二宛書簡	1935年10月21日	竹中工務店	
2-13	武田五一	武田五一から太田喜二郎宛書簡	1920年6月23日	個人蔵	
2-14	太田喜二郎	太田喜二郎から藤井厚二宛書簡	1931年2月24日	竹中工務店	
2-15	太田喜二郎	太田喜二郎から藤井厚二宛書簡	1934年6月17日	竹中工務店	
2-16	藤井厚二	藤井厚二から太田喜二郎宛葉書	1923年9月29日	個人蔵	
2-17	藤井厚二	藤井厚二から太田喜二郎宛葉書	1937年7月8日	個人蔵	
3-B		聴竹居 旧藤井厚二自邸 【重要文化財】			
3-1	制作：三浦模型	聴竹居復元模型 1/300	2018年	竹中工務店	
3-2		聴竹居全体模型 1/50	2009年	竹中工務店 制作：京都工芸繊維大学 木村博昭・松隈洋研究室	
3-3	藤井厚二	聴竹居 配置図		京都大学大学院工学研究科建築学専攻	
3-4		聴竹居 実測図	2000年	実測及び作図：竹中工務店 大阪本店設計部	
3-5	藤井厚二	聴竹居 平面図 小屋伏図 東西南北立面図 1/100		京都大学大学院工学研究科建築学専攻	
3-6	藤井厚二	聴竹居 東立面図 1/50		京都大学大学院工学研究科建築学専攻	
3-7	藤井厚二	聴竹居 南立面図 1/50		京都大学大学院工学研究科建築学専攻	
3-8	藤井厚二	聴竹居 平面図		京都大学大学院工学研究科建築学専攻	
3-9	藤井厚二	聴竹居 天井伏図		京都大学大学院工学研究科建築学専攻	
3-10	藤井厚二	聴竹居 玄関展開図		京都大学大学院工学研究科建築学専攻	
3-11	藤井厚二	聴竹居 客室詳細図		京都大学大学院工学研究科建築学専攻	
3-12	藤井厚二	聴竹居 居室展開図		京都大学大学院工学研究科建築学専攻	
3-13	藤井厚二	聴竹居 食事室展開図		京都大学大学院工学研究科建築学専攻	
3-14	藤井厚二	聴竹居 食事室から望む居室の透視図		京都大学大学院工学研究科建築学専攻	
3-15	藤井厚二	聴竹居 客室 枕付肘掛椅子		竹中工務店	

3-16	藤井厚二	聴竹居 食事室 肘掛椅子【重要文化財】		竹中工務店
3-17	藤井厚二	聴竹居 スケッチブック-I		竹中工務店
3-18	藤井厚二	聴竹居 スケッチブック-II		竹中工務店
3-C		石崎庚作郎 建物		
3-19		石崎庚作郎 実測図	2018年	実測及び作図： 第10期京都市文化財マネージャー育成講座5班
3-D		喜多源逸郎 【登録有形文化財】		
3-20		喜多源逸郎 実測図	2018年	実測及び作図：古材文化の会
3-E		小川邸		
3-21		小川邸 実測図	2018年	実測及び作図：古材文化の会
3-22	藤井厚二	大阪朝日新聞社 立面案		竹中工務店
3-23	藤井厚二	大阪朝日新聞社 階段詳細検討図-1		竹中工務店
3-24	藤井厚二	大阪朝日新聞社 階段詳細検討図-2		竹中工務店
3-25		1919(大正8)年発行のパスポート		竹中工務店
3-26	藤井厚二	海外視察日記		竹中工務店
3-27	藤井厚二	海外視察アルバム		竹中工務店
3-28		海外視察中の絵葉書		竹中工務店
3-29	藤井厚二	『日本の住宅』岩波書店(太田喜二郎旧蔵品)	1928年	個人蔵
3-30	藤井厚二	『日本の住宅』岩波書店(藤井厚二旧蔵品)	1928年	竹中工務店
3-31	藤井厚二	『日本の住宅』藤井厚二自筆原稿		竹中工務店

記入のないものは通期展示

② 池大雅

会 期：2019年6月29日(土)～8月25日(日)

前期展示：6月29日(土)～7月28日(日)

後期展示：7月30日(火)～8月25日(日)

概 要：池大雅（1723～1776）は、近世日本の文人画を代表する巨匠の一人である。好奇心旺盛で学識に溢れたこの都市の住人に囲まれ、少年時代から書画に才能を発揮した大雅は、同時代の最新のモードであった中国の文人文化に大きな興味と憧れを抱き、書画家としての人生を歩み始めた。諸国を歴訪して見聞を深め、古今の漢詩、学問に触れ、まだ見ぬ大陸への憧れを自由でおおらかな独特の筆さばきで表現した大雅の作品は、非常に表現主義的、個性的なもので、新たな文化を貪欲に求めていたこの時代に多くの支持者を集めた。一方、彼自身は世俗の名利を意に介すること無く、古の君子、詩人のごとく雅・高潔さを追い求めたと伝えられている。本展では池大

雅美術館より寄贈され、現在京都府が収蔵する池大雅の書画および関連資料の数々をご覧頂いた。

作品件数：16件

担当者：森道彦

【関連行事】

〔1〕講演会「池大雅とその時代」

日時：7月7日(日)午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：森道彦

参加者数：45名

〔2〕ギャラリートーク

日時：7月7日(日)午後2時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：森道彦

参加者数：48名

【「池大雅」展 出品資料一覧】

指定	番号	作者	作品名	材質・技法	形態・員数	制作期	出品期間
	1	伝月峰 ※ 賛：大雅堂定亮	池大雅像	紙本墨画淡彩	1幅	江戸時代 ※明治15年(1882)着賛	通期
	2	野呂介石	池大雅居室図	紙本墨画	1幅	寛政4年(1792)	後期
	3	池大雅	二字書 金山	紙本墨書	1幅	享保10年(1725)頃	前期
	4	池大雅	天産奇葩図巻	紙本墨画	1幅	寛延2年(1749)	通期
	5	池大雅	考工記図解	紙本墨書墨画	1帖	延享2年(1745)	通期
	6	池大雅	高士訪隠図屏風	紙本墨画淡彩	6曲1隻	寛延3年(1750)	後期
	7	池大雅	三酸図	紙本墨画淡彩	1幅	江戸時代	通期
	8	池大雅 (賛)篠崎三島	寿老人像	紙本墨画淡彩	1幅	江戸時代	通期
	9	池大雅 (賛)龍公美	蕙石図	紙本墨画	1幅	江戸時代	前期
	10	池大雅	蕙石図	紙本墨画	1幅	江戸時代	後期
	11	池大雅	天産奇葩図	紙本墨画	1幅	江戸時代	通期
◎	12	池大雅	柳下童子図屏風	紙本墨画淡彩	8曲1隻	江戸時代	前期
	13	池大雅	壬生勸誠僧群詣図巻	紙本墨画	1巻	江戸時代	通期
	14	池大雅	芝草之詩	紙本墨書	1幅	江戸時代	通期
	15	池大雅	般若心経	紙本墨画墨書	1幅	江戸時代	通期
	16		池大雅書状(豹関宛て)				

※ 所蔵は全て京都府(池大雅美術館コレクション)

※ ◎は重要文化財

③ 洛陽三十三所4－信仰のかたち－

会 期：2019年6月29日(土)～8月25日(日)

前期展示：6月29日(土)～7月28日(日)

後期展示：7月31日(水)～8月25日(日)

概 要：平安時代以降、西国三十三所等の観音菩薩巡礼が盛んとなり、京都(洛陽)においても三十三の観音を対象とする巡礼が行なわれるようになった。応仁の乱や明治維新による衰退もあったが、平成17年(2005)に平成洛陽三十三所観音霊場会が結成され、再興されることとなった。今年度は、2015年の再興10周年から4回にわけて開催する展覧会の最終回であった。信仰の対象となった尊像や寺院の歴史を伝える諸資料を展示した。

協 力：平成洛陽三十三所観音霊場会

出品資料数：28件

担当者：長村祥知

【関連行事】

〔1〕開白記念法要

日時：2019年6月29日(土)午前10時30分～

場所：本館2階展示室内

〔2〕ギャラリートーク

日時：8月23日(金)午後6時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：長村祥知、新井美那

参加者数：7名

【「洛陽三十三所4－信仰のかたち」展 出品資料一覧】

番号	資料名	作者等	制作年代	員数	所蔵者	展示期間
1	水月観音像		朝鮮・高麗時代 14世紀	1幅	第2番 新京極 誓願寺	前期
2	地藏十王図		朝鮮・朝鮮時代 万暦8年(1580)	1幅	第2番 新京極 誓願寺	後期
3	善導大師像		南北朝時代 14世紀	1幅	第2番 新京極 誓願寺	後期

4	後柏原天皇繪旨(誓願寺再興)		室町時代 永正6年(1509)	1幅	第2番 新京極 誓願寺	通期
5	誓願寺奉加帳		桃山時代 天正2年(1574)	1帖	第2番 新京極 誓願寺	前期
6	誓願寺奉加帳		桃山時代 16世紀	1帖	第2番 新京極 誓願寺	後期
7	誓願寺縁起絵		室町時代 16世紀	2幅	第2番 新京極 誓願寺	通期
8	豊臣秀吉像		桃山時代 16~17世紀	1幅	第2番 新京極 誓願寺	後期
9	魚籃観音図		中国・明~清時代 16~17世紀	1幅	第2番 新京極 誓願寺	前期
10	三宝荒神図版木		江戸時代	1面	第3番 護浄院	通期
11	諸御所御祈禱御簡雛形	湛海筆	江戸時代 嘉永元年(1848)	1冊	第3番 護浄院	通期
12	鹿革衣		制作年代未詳	1領	第4番 草堂 行願寺	通期
13	行円上人坐像		江戸時代	1軀	第4番 草堂 行願寺	通期
14	胎灌記(阿婆縛抄のうち)		室町時代 永正3年(1506)	1巻	第4番 草堂 行願寺	通期
15	一条革堂縁起	堯恕法親王筆	江戸時代 寛文9年(1669)	1巻	第4番 草堂 行願寺	前期
16	豊臣秀吉朱印状		桃山時代 天正13年(1585)	1幅	第4番 草堂 行願寺	通期
17	徳川家康黒印状		江戸時代 元和元年(1616)	1幅	第4番 草堂 行願寺	通期
18	行願寺修復勸進状		室町時代 (紙背:寛正6年=1465)	1巻	龍谷大学図書館	後期
19	棟札		江戸時代 寛政9年(1797)	1面	第5番 新長谷寺 (真正極楽寺 真如堂)	通期
20	扁額		江戸時代 嘉永2年(1849)	1面	第5番 新長谷寺 (真正極楽寺 真如堂)	通期
21	扁額		近代 明治4年(1871)	1面	第5番 新長谷寺 (真正極楽寺 真如堂)	通期
22	観世音菩薩名号	後水尾天皇宸翰	江戸時代 17世紀	1幅	真正極楽寺 真如堂	通期
23	国阿上人像		室町~桃山時代 16世紀	1幅	第7番 長樂寺	前期
24	白衣観音像	紀広成画	江戸時代 19世紀	1幅	第7番 長樂寺	後期
25	一遍上人像	他阿法爾画	桃山~江戸時代 17世紀	1幅	第7番 長樂寺	前期
26	大和入道親盛見仏房坐像		江戸時代	1軀	第9番 青龍寺	通期
27	洛陽三十三所順礼納札		江戸時代 寛文5年(1665)	1枚	第10番-第14番 清水寺	通期
28	霊元法皇像	絵:風早公雄画 賛:桜町院宸翰	江戸時代 18世紀	1幅	妙法院	後期

*所蔵者欄で「第○番 ~」とあるのは平成洛陽三十三所観音霊場会の札所寺院を指す。

④ 辰野金吾没後100年 文博界隈の近代建築と地域事業

会 期：2019年8月31日(土)~10月27日(日)

概 要：本展覧会では、京都文化博物館界隈の近代建築の歴史とその保存・活用にかかる地域事業を紹介した。2019年は、当館別館（旧日本銀行京都支店）の設計を担った建築家・辰野金吾の没後100年にあつた。そこで、同じく辰野が設計した日本銀行本店と東京駅にかかる諸機関（日本銀行金融研究所貨幣博物館と東京ステーションギャラリー）とも連携して、展覧会を開催した。

協 力：姉小路界隈を考える会、京の三条まちづくり協議会、日本銀行金融研究所貨幣博物館、東京ステーションギャラリー、日本銀行京都支店、ライカジオシステムズ株式会社、株式会社エリジオン

出品資料数：25件

担当者：村野正景

【関連行事】

〔1〕博学社連携シンポジウム 5

三条通の近代洋風建築群—建築・まち・ひとを繋ぐ

日時：2019年9月29日(日)午後2時~5時

場所：別館ホール

講師：和田菜穂子氏(一般社団法人東京建築アクセスポイント代表理事)、以倉敬之氏(まいまい京都代表)、笠原一人氏(京都工芸繊維大学助教)、西村祐一氏(京の三条まちづくり協議会事務局長)、村野正景

参加者：63名

〔2〕講演会

日時：2019年10月5日(土) 午前10時30分～
 場所：本館3階フィルムシアター
 講師：清水重敦氏(京都工芸繊維大学教授)、河上眞理氏(京都造形芸術大学教授)
 参加者：48名

〔3〕近代建築ツアー 三条の近代洋風建築見て歩き

日時：2019年10月6日(日)
 ①午前9時30分～正午、②午後1時30分～4時
 場所：別館界隈の三条通
 講師：一般社団法人京都府建築士会まちづくり委員会および建築物所有・管理者
 参加者：①22名、②22名

〔4〕スマホで三条 まちなみの変遷発見ラリー

日時：2019年9月28日(土)～10月6日(日)
 期間中随時 ①9月28日(土) 午前9時30分～正午
 ②10月5日(土) 午後1時30分～午後4時にワークショップツアーを開催。
 場所：別館界隈の三条通

講師：京の三条まちづくり協議会

協力：立命館大学アート・リサーチセンター、RIOS—DS 人文学オープンデータ共同利用センター、NPO 法人京都景観フォーラム、(一社)京都府建築士会まちづくり委員会

参加者(ワークショップツアー)：①5名、②7名

〔5〕日本銀行京都支店による出前講座

日時：2019年9月21日(土)・22日(日)
 いずれも午前10時～午後5時
 場所：別館2階講義室
 講師：日本銀行京都支店
 参加者数：それぞれ169名、283名

〔6〕ギャラリートーク

日時：9月18日(水)、10月2日(水)、10月16日(水) 午後2時～(30分程度)
 場所：本館2階展示室内
 担当：村野正景
 参加者数：それぞれ20名、10名、8名

【「辰野金吾没後100年 文博界隈の近代建築と地域事業」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	所蔵者
1	旧日本銀行京都支店の建材等資料(レンガ、スレート、銅板、分銅、タイル、リノリウム、避雷針)	明治～昭和時代	京都府
2	拍子木	明治時代	日本銀行京都支店
3	レンガ(大阪窯業、岸和田煉瓦、堺煉瓦)	明治時代	個人蔵
4	建築雑誌331号	大正3年(1914)	京都文化博物館
5	絵葉書類	明治～昭和時代	個人蔵
6	京都府登録博物館登録関係書類	昭和43年(1968)	公益財団法人古代学協会
7	平安博物館絵葉書	昭和時代	公益財団法人古代学協会
8	平安博物館別館新築計画書	昭和45年(1970)	公益財団法人古代学協会
9	近代洋風建築記念切手	昭和時代	公益財団法人古代学協会
10	大きな屋根 山本知克・画	平成元年(1989)	京都府蔵(当館管理)
11	大正時代の三条通模型	昭和時代	京都文化博物館
12	旧第一銀行京都支店の建材等資料(鬼瓦、手摺子、レンガ、金物、把手)	明治時代	みずほ銀行京都中央支店
13	旧第一銀行京都支店の棟札	明治時代	みずほ銀行京都中央支店
14	旧第一銀行京都支店の木槌	明治時代	みずほ銀行京都中央支店
15	中京郵便局の建材資料(レンガ、スレート、化粧金属板)	明治時代	中京郵便局
16	中京郵便局の建築図面	平成時代	中京郵便局
17	中京郵便局の新築関連記録	平成時代	中京郵便局
18	1928ビル 建築図面	昭和時代	株式会社レーサム
19	SACRAビル関連記録	昭和時代	ツカキ株式会社
20	三条通まちづくりの記録	平成時代	京の三条まちづくり協議会
21	松下町町式目	江戸時代	個人蔵
22	姉小路界隈町式目 平成版	平成30年(2018)	姉小路界隈を考える会
23	新風館京都模型	平成時代	NTT都市開発株式会社
24	日本銀行京都出張所建築図面	明治36～39年頃(1903～1906)	個人蔵
25	旧日本銀行京都支店VR	令和元年(2019)	株式会社エリジオン・ライカジオン ステムズ株式会社制作協力

⑤ 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝 9

会 期：2019年11月2日(土)～2020年1月5日(日)
 前期展示：11月2日(土)～12月1日(日)
 後期展示：12月4日(水)～2020年1月5日(日)

協 力：公益財団法人陽明文庫
 出品資料数：24件
 担当者：長村祥知

概 要：陽明文庫は、近衛家に伝わった平安時代以来の貴重な資料を数多く所蔵している。本展では、「帝の代替わりと和歌一日記と宸翰和歌懐紙一」をテーマに、天皇の踐祚・即位を記録した平安・鎌倉時代の貴族日記と、江戸時代の天皇の宸翰和歌懐紙、『春日権現霊験記絵巻』等を展示して、近衛家に伝わった王朝文化の世界を紹介した。

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：12月6日(金)午後6時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：長村祥知

参加者数：12名

【「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝 9」展 出品資料一覧】

番号	指定等	資料名	筆者等	制作期	員数	展示期間
1	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘八年上巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘8年(1011)	1巻	前期
2	国宝	御堂関白記 古写本 寛弘八年巻	藤原師実筆	平安時代 11世紀	1巻	前期
3	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘六年下巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘6年(1009)	1巻	後期
4	国宝	御堂関白記 古写本 長和五年巻	藤原師実等筆	平安時代 11世紀	1巻	後期
5		春日権現霊験記絵巻 巻第十三	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興画	江戸時代 享保20年(1735)	1巻	通期
6		春日権現霊験記絵巻 巻第十四	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興画	江戸時代 享保20年(1735)	1巻	通期
7	重要美術品	和歌懐紙「庭松春久」	中御門天皇宸翰	江戸時代 18世紀	1幅	通期
8	重要美術品	和歌懐紙「春情処々多」	桜町天皇(昭仁親王)宸翰	江戸時代 享保16年(1731)	1幅	通期
9	重要美術品	和歌懐紙「万民祝」	桃園天皇宸翰	江戸時代 宝暦6年(1756)	1幅	通期
10	重要美術品	和歌懐紙「いく春も」	後桜町天皇宸翰	江戸時代 宝暦14年(1764)	1幅	通期
11	重要美術品	和歌懐紙「春松契千年」	後桃園天皇宸翰	江戸時代 明和8年(1771)	1幅	通期
12	重要美術品	古歌懐紙	光格天皇宸翰	江戸時代 18-19世紀	1幅	通期
13	重要美術品	和歌懐紙「七夕管絃」	仁孝天皇宸翰	江戸時代 天保6年(1835)	1幅	通期
14	重要美術品	和歌懐紙「青柳風静」	孝明天皇宸翰	江戸時代 慶応2年(1866)	1幅	通期
15		後桃園天皇宸影		江戸時代 18世紀	1幅	通期
16		渡唐天神図	明正天皇画	江戸時代 17世紀	1幅	通期
17		天子御影図巻		桃山時代 16世紀	1巻	前期
18		大臣御影図巻 上巻		桃山時代 16世紀	1巻	後期
19	重要文化財	中右記 嘉承二年秋冬記抄録		鎌倉時代 13世紀	1巻	後期
20	重要文化財	兵範記(人車記) 保元三年秋記	平信範等筆	平安時代 12世紀	1巻	前期
21	重要文化財	兵範記(人車記) 保元三年冬記	平信範等筆	平安時代 12世紀	1巻	前期
22	重要文化財	猪熊関白記 自筆本 建久九年春記	近衛家実筆	鎌倉時代 建久9年(1198)	1巻	後期
23	重要美術品	色紙手鑑	後水尾天皇宸翰 霊元天皇宸翰	江戸時代 17-18世紀	1帖	通期*
24		和漢色紙帖	近衛信尹筆	桃山時代 17世紀	1帖	通期*

*：丁替え

⑥ 道具と材料の職人譜

会 期：2019年11月2日(土)～12月22日(日)
 前期展示：11月2日(土)～11月24日(日)
 後期展示：11月26日(火)～12月22日(日)
 概 要：歴史資料や美術品に用いられた技術や素材は、かつての社会ともの関わり方、価値観などを語りかける大切な情報である。しかし過去の社会が培ってきた高度な技術やこれを支える道具、適切な原材料は時とともに変わりゆき、今や絶えそうなもの、あるいは既に失われてしまったものが多々ある。本展示では、主に美術工芸品を中心に、古来ものを作り出し支えてきた様々な道具や材料の一端を紹介した。

学部歴史学科、一般社団法人国宝修理装演師連盟、一般社団法人伝統技術伝承者協会

出品資料数：34件
 担当者：長村祥知

【関連行事】

〔1〕学芸員によるギャラリートーク
 日時：11月8日(金)、11月29日(金)、12月13日(金)
 いずれも午後6時～(30分程度)
 場所：本館2階展示室内
 担当：長村祥知、森道彦、京都府立大学学生
 参加者数：それぞれ17名、14名、15名

協 力：京都府教育庁文化財保護課、京都府立大学文

【「道具と材料の職人譜」展 出品資料一覧】

番号	作者など	出品名	制作期	員数	所蔵	展示期間
1	心田清播・ 江西龍派 賛	山水図	(本紙)室町時代(15世紀) (表装・箱)江戸時代(17世紀)	一幅	個人	後期
2		延喜式(刊本)	江戸時代 享保8年(1723) ※成立は平安時代(10世紀)	一冊 (五十冊のうち)	京都府立京都学・歴史館	通期
3		日蓮上人註画讃	(本紙)江戸時代(17世紀)	一卷	京都・妙顕寺	通期
4		七十一番職人歌合絵巻(模本)	江戸時代(18～19世紀) ※成立は室町時代(16世紀)	一卷	京都府(京都文化博物館管理)	通期
5		諸職風俗図屏風	(本紙)江戸時代(17世紀)	六曲一隻	京都・錦天満宮	通期
6		京羽二重	江戸時代 貞享2年(1682)	五冊	京都府立京都学・歴史館	通期
7	後柏原天皇宸翰	三首和歌懐紙	(本紙)室町時代(16世紀) (箱) 江戸時代 寛保3年(1743)	一幅	立命館大学アート・リサーチセンター	前期
8	元信印	束帯天神像	(本紙)室町時代(16世紀) (表装・箱)江戸時代(17～18世紀)	一幅	個人	後期
9	伝 祥啓	白衣観音図	(本紙)室町～江戸時代(15～17世紀) (表装・箱)江戸時代(18世紀)	一幅	個人	前期
10		美濃紙抄製図説(複製本)	現代 昭和12年(1937) ※初版は近代 明治13年(1880)	一冊	京都府立京都学・歴史館	通期
11		紙漉重宝記(複製本)	現代 昭和17年(1942) ※成立は江戸時代 寛政10年(1798)	一冊	京都府立京都学・歴史館	通期
12		唐紙屏風	江戸時代 延宝4年(1676)頃	六曲一隻	京都・勤修寺	通期
13		経軸	平安～江戸時代(12～19世紀)	九点	個人	通期
14		雪舟筆山水図旧箱・旧表装類	(箱)江戸時代(17世紀) (旧表装類)江戸時代 寛文7年(1667)頃	一点	個人	通期
15		建具雛形	江戸時代 嘉永5年(1852)	一冊	京都府(京都文化博物館管理)	通期
16		日蓮聖人曼荼羅本尊	(本紙)鎌倉時代 弘安3年(1280) (表装)江戸時代 延宝2年(1674)	一幅	京都・妙顕寺	通期
17		塹工譜畧	江戸時代 天保15年(1844)	一冊	京都府立京都学・歴史館	前期
18		古今金工便覧	江戸時代 弘化4年(1847)	二冊	京都府立京都学・歴史館	後期
19		甲組類鑑	江戸時代 寛政9年(1797)	一冊	京都府立京都学・歴史館	通期
20		丸台	江戸時代 元治2年(1865)	一台	安達組紐館	通期
21		平家納経巻緒并復元紐	(原品)平安時代(12世紀) (復元品)現代 昭和31年(1956)	一点	安達組紐館	通期

22	櫻烏糸緞織糸	(原品)平安時代(12世紀) (復元品)現代 昭和35年(1960)	一点	安達組紐館	通期
23	濃縹地雲宝尽文緞子(鴻池家伝来)	中国・清時代(17～18世紀)	一点	大阪歴史博物館	前期
24	紺地花唐草文緞子(鴻池家伝来)	中国・清時代(19世紀)	一点	大阪歴史博物館	後期
25	梅笹蝶文金入錦(鴻池家伝来)	中国・清時代(18～19世紀)	三点	大阪歴史博物館	通期※
26	都名所図会	江戸時代(19世紀) ※成立は江戸時代 安永9年(1780)	一冊	京都府(京都文化博物館管理)	後期
27	切本帳	江戸時代～近代(19世紀)	一冊	京都府(京都文化博物館管理)	前期
28	製織品見本	近代 大正6年(1917)	一冊	個人	後期
29	訓蒙図彙	江戸時代(17～19世紀) ※成立は江戸時代 寛文6年(1666)	二冊	京都府(京都文化博物館管理)	通期
30	人倫訓蒙図彙	江戸時代～近代(18～20世紀) ※成立は江戸時代 元禄3年(1690)	七冊	京都府(京都文化博物館管理)	通期
31	今様職人尽百人一首	近代 昭和3年(1928) ※成立は江戸時代(18世紀)	一冊	京都府(京都文化博物館管理)	通期
32	江戸職人歌合	江戸時代 文化2年(1805)	二冊	京都府(京都文化博物館管理)	通期
33	廣益秘事大全	江戸時代 嘉永4年(1851)	五冊	京都府(京都文化博物館管理)	通期
34	表具式法	江戸時代(19世紀) ※成立は江戸時代 寛政11年(1799)	一冊	京都府(京都文化博物館管理)	通期

※一部展示替えあり

⑦ 伊藤久三郎展一夢の中でみた世界

会 期：2020年1月4日(土)～3月8日(日)

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため
2月28日より休室

概 要：伊藤久三郎(1906-1977)は、京都市立絵画専門学校を卒業後上京、シュルレアリスムの影響を受けた画風で注目された。京都に拠点を移した戦後は、モチーフの発するイメージをリズムカルに組み合わせるに抽象画で新境地を開拓する。本展では、京都府が所蔵する伊藤久三郎作品を中心に、向井潤吉や伊谷

賢蔵ら、共に行動美術協会で活躍した作家の作品も併せて紹介した。

出品資料数：15点(資料を除く)

担当者：清水智世

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：2月14日(金)午後6時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：清水智世

参加者数：8名

【「伊藤久三郎展一夢の中でみた世界」展 出品資料一覧】

番号	制作者	資料名	制作年	技法	所蔵
1	伊藤 久三郎	風景	1948	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)
2	伊藤 久三郎	地(75a地)	1975	油彩・キャンバス	大阪成蹊大学 芸術学部
3	伊藤 久三郎	帽子其他	1932	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)
4	伊藤 久三郎	青い蟹	1932	油彩・キャンバス	大阪成蹊大学 芸術学部
5	伊藤 久三郎	辿り行く径	1936	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)
6	伊藤 久三郎	山	1939	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)
7	伊藤 久三郎	村	1940	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)
8	伊藤 久三郎	無題	1952	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)
9	伊藤 久三郎	猜疑	1954	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)

10	伊藤 久三郎	0と1	1969	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)
11	伊藤 久三郎	平	1971	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)
12	向井 潤吉	洛北暮雪	1970	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)
13	伊谷 賢蔵	ブレインカの要塞都市	1964	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)
14	福井 勇	朝霧の静物(亀岡市)	1976	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)
15	齋藤真成	樹	1958	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)

⑧ BEACON 2020

会 期：2020年1月11日(土)～3月8日(日)

＊新型コロナウイルス感染拡大防止のため
2月28日より休室

概 要：1980年代から京都を中心に活動してきた現代美術のユニットKOSUGI+ANDO（小杉美穂子氏・安藤泰彦氏）と映像作家の伊藤高志氏、稲垣貴士氏、哲学者の吉岡洋氏による映像インスタレーション作品《BEACON 2020》を展示した。

「Beacon（ビーコン）」とは、篝火（かがりび）や燈台、標識の意味をもつ言葉である。本作品では、日常の風景を写した映像が、展示室の中央に置かれた回転する台（燈台／Beacon）から投影される。展示空間では、映像、音響、テキストが相互に影響を与えながら、今ここではない場所と現在とを結びつけ、〈記憶〉をめぐる旅へと鑑賞者を誘う。制作チームのメンバーは京都を拠点に活動し、

各分野で高い評価を得てきた美術作家、映像作家、研究者で、今回の展示では、京都を舞台に撮影された映像、音響、テキストが用意され、新作として展示された。

BEACONプロジェクトチーム

KOSUGI+ANDO（小杉美穂子氏・安藤泰彦氏）、伊藤高志氏、稲垣貴士氏、吉岡洋氏

助 成：公益財団法人花王芸術・科学財団

撮影協力：学校法人 聖母女学院、京都鉄道博物館、陸上自衛隊 宇治駐屯地

出品資料数：1点（映像インスタレーション）

担当者：植田憲司

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：2月21日(金)午後6時～(45分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：植田憲司

参加者数：10名

【「BEACON 2020」展 出品資料一覧】

番号	作家名	作品名	制作年	技法	所蔵
1	BEACONプロジェクトチーム	BEACON 2020	2020年	映像インスタレーション	作家蔵

⑨ 三条御倉町 大橋家の歴史と美術

会 期：2020年3月14日(土)～4月19日(日)

＊新型コロナウイルス感染拡大防止のため
3月14日～22日、4月4日～19日まで休室

概 要：御倉町は東西に通る三条通を挟む両側町で、東側は烏丸通、西側は室町通が通る。平安時

代には西三条内裏が所在し、皇族・貴族が集住する地域として知られていた。中世以降は特権的な職商人が居住するエリアとなって都市の中心として重要な役割を担ってきた。

大橋家とは19世紀から現代まで三条御倉

町に所在した旧家で、隣接する西村惣左衛門家店（現・千總）の染織事業を支えてきた。2016年より当館が大橋家の資料に対して総合的に調査をおこない、古文書、絵画、工芸などの優れた文化財を発掘するに至り、京都府への寄贈となった貴重な資料群を本展で紹介することとなった。

出品資料数：60件

担当者：植田彩芳子、西山剛、畑智子

【関連行事】

〔1〕講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

〔2〕ギャラリートーク

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

【「三条御倉町 大橋家の歴史と美術」展 出品資料一覧】

番号	資料名・作品名	作者	材質技法	員数	制作年
1	御条目(町中の儀二付)		紙本墨書	一冊	明暦元年
2	宗門人別改帳		紙本墨書	一冊	延享元年
3	宗門人別改帳		紙本墨書	一冊	延享2年
4	宗門人別改帳		紙本墨書	一冊	延享4年
5	三十番神像		紙本金地著色	一幅	江戸時代 17世紀
6	七字題目	日遠	紙本墨書	一幅	寛永13年(1636)9月13日
7	組用日記		紙本墨書	一冊	文久元年カ
8	町用日記		紙本墨書	一冊	文久2
9	日記		紙本墨書	一冊	元治2年
10	日並日記		紙本墨書	一冊	明治6年(1873)
11	日記		紙本墨書	一冊	明治25年(1892)
12	日記		紙本墨書	一冊	明治26年(1893)
13	大橋家写真		ガラス/紙		
14	七字名号	日政上人	紙本墨書	一幅	天保15年(1844)
15	鬼子母神像	大橋政七	紙本墨書	一幅	
16	山頭旭日五雲隈	大橋重之助	紙本墨書	一幅	明治10年(1877)
17	表彰状	京都府	紙本墨書	一幅	明治10年(1877)
18	書 「順風快帆」	三国幽眠	紙本墨書	一面	明治10年(1877)
19	篤敬忠信	三国幽眠	紙本墨書	一幅	明治8(1875)
20	和歌 山路紅葉	三国幽眠	紙本墨書	一幅	
21	大橋松次郎日記	大橋松次郎	紙本墨書		明治後期～
22	大橋松次郎宛手紙	林忠正ほか	紙本墨書		
23	千切花西村古図杯		漆工	一点	明治24年(1891)11月
24	年賀葉書帖		紙本着色	一冊	
25	千秋帖	芝千秋	紙本墨画	一冊	大正9年(1920)～昭和27年(1952)
26	四季艸花図硯箱	画：猪飼嘯谷		一点	
27	玉椿蒔絵硯箱	神坂祐吉	漆工	一点	
28	長寛写赤絵菓子盆	神坂祐吉	漆工		
29	松葉図菓子盆	画：谷口香嶠	漆工	一点	
30	酢漿草図菓子盆	画：谷口香嶠	漆工	一点	
31	燕子花図丸形菓子器	画：谷口香嶠		一点	
32	雅松図四方飾盆	画：猪飼嘯谷	漆工	一点	
33	雪景図千切形水指	画：谷口香嶠 作：五世吉向松月	陶磁	一点	大正5年(1916)
34	白菊図罐	画：谷口香嶠 作：清水六兵衛	陶磁	一点	大正7年(1918)
35	仁清写亀甲酒次	永楽和全	陶磁	一点	
36	紫交趾阿古多形火入	14代永楽善五郎	陶磁	一点	
37	火鉢	画：木島櫻谷	陶磁	六点	
38	百事意如	今尾景年・宮原易安(1806-85)	紙本着色	一幅	明治前期
39	養拙帖	木島櫻谷	紙本着色	一冊	

40	閑適帖	木島櫻谷	紙本着色	一冊	
41	紅白椿図屏風	芝千秋	紙本着色	二曲一隻	
42	舞楽図衝立	猪飼 嘯谷／谷口 香嶠	紙本着色	一基	
43	祇園祭供の図	谷口 香嶠	紙本着色	一幅	大正4年(1915)頃
44	句意盆踊図	谷口 香嶠	紙本着色	一幅	
45	義経勝浦上陸図	谷口 香嶠	絹本着色	一幅	
46	童子図	谷口 香嶠	絹本着色	一幅	
47	素尊得靈剣図	谷口 香嶠	絹本着色	一幅	
48	谷口香嶠印譜巻		紙本朱肉捺	一卷	
49	内外詣図	猪飼 嘯谷	絹本着色	一幅	大正8年(1919)
50	観音大土図	猪飼 嘯谷	絹本金泥画	一幅	大正12年(1923)
51	内裏雛図	猪飼 嘯谷	絹本着色	一幅	
52	賀茂競馬図	猪飼 嘯谷	絹本着色	一幅	大正12年(1923)
53	即地打図 江戸初期風俗	猪飼 嘯谷	絹本着色	一幅	
54	頼義得清泉図	猪飼 嘯谷	絹本着色	一幅	
55	谷口香嶠書簡(大橋氏宛)	谷口 香嶠	紙本墨書	一幅	
56	山村春霧	山元 春挙	絹本着色	一幅	
57	蓬莱仙境	都路 華香	絹本着色	一幅	
58	薦もみじ	土田 麦麿	絹本着色	一幅	
59	蓮池	菊池 契月	絹本着色	一幅	
60	和靖観梅・帰去来	菊池 契月	絹本着色	対幅	

※所蔵はすべて、京都府(京都文化博物館管理)

4) 3階展示室

III-1 総合展示 ▶ 4) 3階展示室

① ICOM京都開催記念 京の歴史をつなぐ

会 期：2019年8月29日(木)～9月29日(日)
 休館日：月曜日
 会 場：3階展示室
 入場料：一般500円(400円)／大高生400円(320円)
 高校生以下は無料
 ＊()内は20名以上の団体料金
 主 催：京都府、京都文化博物館
 担当者：村野正景、西山剛、橋本章、長村祥知、植田憲司
 入場者：62,328人(1日平均 2149.2人)

【概要】

ICOM京都大会は3年に一度の世界大会で、2019年には、世界の宝を預かる人々がここ京都に集まり、親交を深め、未来の博物館の姿を描き出した。大会のテーマは「文化をつなぐミュージアムー伝統を未来へー」であった。大会では、私たちが目にする豊かな文化遺産がいかにつくりあげられてきたか、またそれが将来

にどう役立つのか、そして博物館はどんな役割を果たせるのか、そんな話題に注目が集まると考えた。そこで本展覧会では、このテーマに沿って、京都府の文化遺産や景観がどんな歴史を経て、いかなる物語が見出され、現代に継承されてきたのかを紹介した。

【展覧会の構成】

第1章 平安京羅城門からRashomonへ

京都では794年に平安京が造営されて、現在の都市の基礎が築かれた。その後平安京は、小説や映画を通じて現在の私たちにも親しまれる京都イメージも生み出した。本章では、平安京から現在に至る姿の変遷と、そこに付与された様々な物語を、羅城門を題材として紹介した。

羅城門模型 1988年製作 当館蔵

平安宮出土考古資料 平安時代 当館蔵

都名所図会 江戸時代 京都府蔵(当館管理)

映画「羅生門」ポスター 昭和時代 当館蔵
第2章 王朝文化の形成と再生

10世紀～11世紀頃、京都では天皇・貴族を中心に優雅な文化が形成された。やがて12世紀以降は武士が存在感を増して鎌倉幕府・室町幕府が成立するが、平安時代に生まれた王朝文化は後世においても重視され、また理想化されて再生し続けた。本章では、古典文学の写本や貴族・武士を描いた絵画などを通して、平安時代以降の京都と王朝文化の諸相を紹介した。

東三条殿復元模型 1965年製作 当館蔵

大島本 源氏物語 室町時代 古代学協会蔵(当館寄託)
藤原俊成筆 日野切 鎌倉時代 京都府蔵(当館管理)

第3章 室町時代 町衆の活躍

室町時代は、文化の担い手として町衆(ちょうしゅう)が活躍する時代である。町衆とは、京都に居住する都市民衆の中で、とくに富裕な人々を指し、戦争の動乱からの復興や、それにともなって成立する自治やあらたな町の制度を構築する上で重要な役割を担った。本章では、中世京都において躍動する町衆とその生活史に光をあてた。

七十一番職人歌合 模本 江戸時代 京都府蔵(当館管理)

三条西殿跡出土猪頭骨 室町時代 当館蔵

第4章 江戸時代 町のいとなみ、人のいとなみ

江戸時代に至っても、京都は活力ある大都市であった。京都には朝廷やそれを構成する多くの公家が居住し、数々の儀式や年中行事が行われた。幕府も京都所司代、町奉行を設置して京都を直轄都市とし、また二条城を築き、行幸、入内など数度の大規模な行列儀式を行った。本展示では、その二条城の姿を明快に描いた新出屏風を展示した(初公開)。併せて最新の技術を用いて本屏風の絵解きを展開した。

また江戸時代に入ると、京都の町々は、町に暮らす上で守るべき規範ともいえる町式目を定めて生活の安定を図り、様々な生業を展開させた。本章では、現在の四条河原町に位置する四条真町に着目し、江戸時代の町とそこに暮らす人々の生活について考えた。

参内図屏風 江戸時代

四条真町文書 江戸時代 当館蔵

第5章 近代—古都・京都への再生—

幕末維新の動乱は京都を2度の戦火に巻き込み、その後の東京への事実上の遷都によって、京都の社会や経済、そして文化は大きな打撃を被った。京都にとっての近代は、復興の槌音から始まった。本章

では、前近代の歓楽街である南座とその周縁に展開された江戸時代の京都の生活文化の断片から説き起こし、幕末維新の混乱期を経て、内国勸業博覧会を開催するなど、近代という新たな時代へと立ち向かっていった京都の様相を紹介し、現在へとつながるその歩みを見つめていった。

南座周辺復元模型 平成3年(1991) 当館蔵

島原太夫の図 三島上龍画 江戸時代後期 京都府蔵(当館管理)

京都新名所図屏風 明治6年(1873) 京都府蔵(当館管理)

平安神宮及び第四回内国勸業博覧会会場模型 昭和63年(1988) 当館蔵

デンチ網 昭和時代初期 京都府蔵(当館管理)

【出品作品数】 74件 (152点)

【関連行事】

〔1〕講演会

日時：9月28日(土)午前10時30分～午後4時

場所：別館ホール

主催：京都府、京都文化博物館

HISTORY OF KYOTO

京の歴史をつなぐ

2019年8月29日(木)～9月29日(日)

【開館時間】午前10時～午後7時30分(入館受付は午後5時30分まで)
【休館日】月曜(祝日を除く)、火曜(祝日を除く)、9月22日(土曜)
【入場料】一般500円・400円、大学生400円・300円
高校生以下無料、中学生、小学生200円以下
【主催】京都府、京都文化博物館
【協力】NPO法人イノヴェンション、NPO法人産地産直推進機構、The Architecture

国際博物館会議 京都大会
ICOM KYOTO 2019 1-7 September

京都文化博物館
760-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0886 FAX.075-222-0889
URL http://www.kyomuseu.or.jp

上：三十八景図 式子内儀(墨田区) 京都文化博物館蔵 下：参内図屏風(複製) 個人蔵

「ICOM京都開催記念 京の歴史をつなぐ」ちらし

共催：公益財団法人古代学協会
講師：石井清司氏(古代学協会)、網伸也氏(近畿大学)、市川創氏(古代学協会)、植山茂氏(古代学協会)、白石純氏(岡山理科大学)、高橋照彦氏(大阪大学)、田中由理氏(元興寺文化財研究所)
参加者数：180名

[2] ギャラリートーク
日時：9月13日(金)、9月20日(金)
午後6時～(30分程度)
場所：3階展示室内
担当：村野正景、西山剛、橋本章、長村祥知、植田憲司
参加者数：それぞれ16名、30名

5) ぶんぱく京都講座

Ⅲ-1 総合展示 ▶ 5) ぶんぱく京都講座

◆ いずれも、場所：別館2階講義室 参加費：500円

① 太田喜二郎の画業と生涯

日時：2019年6月16日(日) 午後1時30分～3時
講師：植田彩芳子 参加者数：30名
概要：近代京都の洋画家・太田喜二郎(1883～1951)については、従来、ベルギーに留学して身につけた明るい点描技法で知られ、近代日本における印象派受容の一例として紹介されてきた。しかし、近年の調査研究の結果、太田喜二郎の画業の全体像や、濱田耕作や内藤湖南、羽田亨、武田五一、藤井厚二ら京都帝国大学関係者と密接な交流があったことが明らかになってきた。本講座では、最新の研究成果をもとに、太田喜二郎の画業と生涯、その交流の様相を紹介した。

② 京都の寺院・宝物と博物館 — 洛陽三十三所展を振り返る —

日時：2019年8月10日(土) 午後1時30分～3時
講師：長村祥知 参加者数：20名
概要：京都(洛陽)において、三十三の観音を対象とする巡礼が行われていた歴史を背景に、2005年、平成洛陽三十三所観音霊場会が再興された。当館では2015年から2019年まで、霊場会の協力のもと、4回に分けて札所寺院が所蔵する寺宝を紹介してきた。
資料を管理し、調査し、その意義を伝え、蓄積するという現代の博物館の役割は、歴史の中で寺院が果たしてきた役割に通じる。
本講座では、4回の展示の試行錯誤を振り返って、改めて新発見資料の意義や洛陽三十三所の特質とともに、寺宝・資料を後世に伝えるという営為を考えた。

③ 記憶・映像・装置—「BEACON」を てがかりに「保存」について考える

日時：2020年1月25日(土) 午後1時30分～3時
講師：植田憲司 参加者数：4名
概要：「BEACON2020」展では、京都を中心に活動する現代美術のユニットKOSUGI+ ANDO(小杉美穂子氏、安藤泰彦氏)と伊藤高志氏、稲垣貴土氏、吉岡洋氏による映像インスタレーション「BEACON」シリーズの新作を展示した。
「Beacon」とは、篝火(かがりび)や灯台という意味をもつ言葉で、本作品シリーズでは、回転する台=灯台(映像プロジェクター)から日常の風景を写した映像が展示室の壁に投影される作品である。
この講座では、新作を紹介しながら、写された京都の何気ない日常の風景に潜む何ものかの痕跡/記憶にまつわるトピックを取り上げ、また、テクノロジーを使ったアート、いわゆるメディアアート作品の保存に関する課題、問題点を検討した。

④ 町人の文化史 三条御倉町・大橋家を素材に

日時：2020年3月27日(金)
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

Ⅲ-2 特別展示

Ⅲ-2 特別展示

① 光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界

会 期：2019年4月27日(土)～6月9日(日)
[38/44日間]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般1300円(1100円)／大高生1000円
(800円)／中小生500円(300円)／
ペアチケット2200円

* ()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、産経新聞社、関西テレビ放送

後 援：公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人
京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

特別協力：光ミュージアム

監 修：鈴木浩平(美術史家)、故・永田生慈(美術史
・北斎研究家)

企画協力：アートシステム

担当者：洲鎌佐智子、森道彦

総入場者：29,654人(1日平均 約760人)

・北尾重政「月を見る美人」

・溪斎英泉「立ち美人」

第3章 上方と地方で描かれた肉筆浮世絵

京・大阪の上方の浮世絵師のものを中心に、名古屋
や九州で描かれた肉筆浮世絵も紹介する。

・月岡雪鼎「遊女」

・吉原真龍「紅葉の下」

【出品作品数】

111点

【関連行事】

〔1〕講演会「美人画に描かれた姿態美と表現について」

日時：4月27日(土)午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：鈴木浩平氏(美術史家・本展監修)

参加費：無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要)

参加者数：100名

【概要】

肉筆浮世絵は量産される錦絵の版画とちがい、浮世絵師が絹本、紙本に直接描く一点ものの作品のこと。したがって作品も極端に少なく稀少で、絵師の力量や筆遣いが直接に窺えるという点においてもたいへん見応えのあるものである。本展では、国内でも有数の肉筆浮世絵コレクションを擁する、岐阜県高山市の光ミュージアム所蔵の珠玉の名品のなかから、美人画を中心に111点を厳選し紹介したもの。同コレクションがこれほどの規模で一挙公開されるのは初めての貴重な機会となった。

【展示構成と主な出品作品】

第1章 肉筆浮世絵の展開

江戸の浮世絵が定着しはじめた17世紀後半から18世紀後半頃までの著名な浮世絵師の作品で、この年代の特徴を概観する

・宮川長春「見立琴高仙人」

第2章 百花繚乱 多彩な作品群

葛飾北斎、歌川豊国、歌川広重、歌川国芳などの葛飾派、歌川派などの多彩華麗な浮世絵の世界を概観する

・葛飾北斎「日・龍・月」



「光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界」ちらし

〔2〕講演会「肉筆美人画の夢うつつ」

日時：5月12日(日)午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：中山喜一郎氏(福岡市美術館館長)

参加費：無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要)

参加者数：71名

〔3〕ワークショップ「浮世絵うちわを作ろう」

日時：5月5日(日・祝)①午前10時30分～12時30分

②午後2時～4時

場所：3階やすらぎコーナー(展示室内)

材料費：300円

(ただし材料費のほか本展覧会入場券[半券可]が必要)

参加人数：①20名 ②22名

〔4〕学芸員によるギャラリートーク

日時：5月17日(金)、5月31日(金)

午後6時～(30分程度)

場所：4階・3階展示室内

担当：洲鎌佐智子

参加者数：それぞれ56名、83名

② 横山華山展

会期：2019年7月2日(火)～8月17日(土)

[44日/47日]

休館日：7月8日、22日、29日

会場：4階・3階展示室

入場料：一般1400円(1200円)／大高生1100円
(900円)／中小生500円(300円)

* ()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主催：京都府、京都文化博物館、日本経済新聞社、
テレビ大阪、BSテレビ東京、京都新聞

企画協力：日本航空

協賛：野崎印刷紙業

担当者：長村祥知、清水智世、西山剛、橋本章

入場者：35,277人(1日平均 802人)

【概要】

横山華山(1781/4～1837)は、江戸時代後期に京都で活躍した絵師である。幼少の頃から曾我蕭白の絵に触れて独学し、岸駒に入門した後、呉春に私淑するなど、多くの流派の画法を身につけ、絵の幅を広げた。伝統や形式を重んじる諸画派には属さず、自由な画風と筆使いで人気を博し、その名声は日本中に広がっていった。夏目漱石の小説に名前が登場するなど明治・大正期までは世間に知られた存在だった。華山は人物画、花鳥画、山水画などの幅広い画題に秀でていたが、中でも風俗画や祭礼図は真骨頂で細やかな描写が特徴である。本展では上下巻あわせて30mに及ぶ晩年の大作《祇園祭礼図巻》を一挙に公開。ボストン美術館や大英博物館に渡った海外の作品も里帰りした。



「横山華山展」ちらし

【展覧会の構成】

- 1 蕭白を学ぶー華山の出发点
- 2 人物ーユーモラスな表現
- 3 花鳥ー多彩なアニマルランド
- 4 山水ー華山と旅する名所
- 5 風俗ー人々の共感
- 6 描かれた祇園祭ー《祇園祭礼図巻》の世界

【主な出品作品】

蝦蟇仙人図（曾我蕭白、ボストン美術館蔵）
寒山拾得図（横山華山、ボストン美術館蔵）
群仙図屏風（横山華山、東京国立博物館蔵）
龍虎図屏風（横山華山、ハーバード大学附属美術館蔵）
花洛一覽図（横山華山、京都市歴史資料館蔵）
紅花屏風（横山華山、山形美術館蔵）
祇園祭礼図巻（横山華山、個人蔵）

【出品作品数】

約120点

【関連行事】

〔1〕講演会「《祇園祭礼図巻》と祇園祭の歴史」

日時：7月6日（土）午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：吉田雅子氏（京都市立芸術大学教授）、八反裕太郎氏（本展監修・潁川美術館学芸員）、橋本章（当館学芸員）

参加費：無料（ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要）

参加者数：147名

〔2〕講演会「忘れられた天才絵師」

日時：7月13日（土）午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：森道彦

参加費：無料（ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要）

参加者数：115名

〔3〕講演会「京と東北をつなぐ紅花の風景」

日時：8月10日（土）午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：土生和彦氏（宮城県美術館学芸員）

参加費：無料（ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要）

参加者数：104名

〔4〕「祇園祭宵山記念」特別観覧会

日時：7月16日（火）午後5時30分～7時45分

場所：5階及び4階・3階展示室内

講師：八反裕太郎氏（潁川美術館学芸員）

参加費：1600円（税込、絵葉書付）

参加者数：58名

〔5〕ギャラリートーク

日時：7月19日（金）、26日（金）、8月2日（金）

午後6時～（30分程度）

場所：3階・4階展示室内

担当：森道彦

参加者数：それぞれ56名、58名、59名

③ ICOM京都大会開催記念 東京富士美術館所蔵 百花繚乱 ニッポン×ビジュツ展

会 期：2019年8月25日（日）～9月29日（日）

[50日/58日]

休館日：月曜日（ただし祝日は開館、翌日休館、
9月2日は臨時開館）

会 場：4階展示室

入場料：一般1200円(1000円) / 大高生800円
(600円) / 中小生400円(300円)

*（ ）内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞、
テレビ大阪

後 援：公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人
京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

協 賛：株式会社ローソンエンタテインメント

企画協力：東京富士美術館

担当者：植田彩芳子

入場者：80,475人（1日平均 2514.8人）

【概要】

本展は、2019年に開催されるICOM国際博物館会議京都大会を記念して、東京富士美術館が所蔵する3万点のコレクションの中から、日本美術の名品を展覧した。

東京富士美術館が所蔵する日本美術作品は、平安時代から近現代に至る多様な分野にわたる。本展では千年の歴史の中で育まれてきた日本文化の豊穡な芸術世界のエッセンスをコンパクトにわかりやすく楽しむことができるように「カワイイ」「サムライ」「デザイ

④ みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ—線の魔術

会 期：2019年10月12日(土)～2020年1月13日(月・祝)
[75日/94日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般1500円(1300円)／大高生1200円
(1000円)／中小生500円(300円)

* ()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、ミュシャ財団、
読売テレビ、ローソンエンタテインメント

後 援：チェコ共和国大使館、チェコセンター、
チェコ政府観光局、公益社団法人京都府観光
連盟、公益社団法人京都市観光協会、KBS京
都、エフエム京都

協 賛：大成建設、光村印刷、損保ジャパン日本興亜

協 力：日本航空、日本通運

企画協力：NTVヨーロッパ

担当者：清水智世

入場者：57,070人(1日平均 760.9人)

【概要】

2019年はアルフォンス・ミュシャ(1860-1939)がプラハで逝去してからちょうど80年という節目にあたる。世紀末のパリでグラフィック・アーティストとして成功しアール・ヌーヴォーの旗手となったミュシャの作品は、今日でも世界中で揺るぎのない人気を誇る。ミュシャ財団監修による本展は、ミュシャ幼少期の貴重な作品、自身の蔵書や工芸品、20代のころ手掛けたデザインやイラスト、そしてミュシャの名を一躍有名にしたポスターなどを通じて、ミュシャの原点と作品の魅力に迫った。さらに、ミュシャ作品から影響を受けた明治の文芸誌の挿絵から、1960-70年代のイギリス・アメリカを席卷したグラフィック・アート作品、現代の日本のマンガ家やイラストレーターの作品を展示し、時代や国を超えて強い影響を与え続けるミュシャの秘密に迫った。

【展示会の構成】

- 第1章 序—ミュシャ様式へのインスピレーション
- 第2章 ミュシャの手法とコミュニケーションの美学
- 第3章 ミュシャ様式の「言語」
- 第4章 よみがえるアール・ヌーヴォーと
カウンターカルチャー
- 第5章 マンガの新たな流れと美の探求

【主な出品作品】

- アルフォンス・ミュシャ《磔刑図》1868年、ミュシャ財団
- アルフォンス・ミュシャ《ジスモンダ》1894年、ミュシャ財団
- アルフォンス・ミュシャ《ジョブ》1896年、ミュシャ財団
- アルフォンス・ミュシャ《モナコ・モンテカルロ》1897年、ミュシャ財団
- アルフォンス・ミュシャ《ヒヤシンス姫》1911年、ミュシャ財団
- アルフォンス・ミュシャ《闘志(ヤン・ジシュカ)：市長ホールのパンデントの画のための大型習作》1911年、ミュシャ財団

【出品作品数】

249件

ミュシャからマンガへ—線の魔術
Timeless Mucha Mucha to Manga - Magic of Line

2019. 10月12日(土)～2020. 1月13日(月・祝)

10時～18時

京都文化博物館 みんなのミュシャ

〒604-0183 京都市中京区三条堀船
TEL: 075-222-2666 FAX: 075-222-2667
URL: http://www.kyomuseum.jp

「みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ—線の魔術」ちらし

【関連行事】

- 〔1〕特別講演会「チェコ時代のミュシャー
《スラヴ叙事詩》とその周辺」
日時：11月9日(土)午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：小野尚子氏(兵庫県立美術館学芸員)
参加費：無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：115名
- 〔2〕特別講演会「日本のミュシャ・一條成美と
明治のアール・ヌーヴォー」
日時：11月23日(土・祝)午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：大塚英志氏(国際日本文化研究センター教授)

- 参加費：無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者：90名
- 〔3〕イブニングトーク
日時：10月19日(土)①午後5時～②午後6時～
場所：7階サロン
講師：畑智子
参加費：3,800円(税込、本展入場券付)
参加者：79名
- 〔4〕ギャラリートーク
日時：10月25日(金)、12月20日(金)
場所：4階・3階展示室内
担当：清水智世
参加者数：それぞれ45名、55名

⑤ 京都文化カプロジェクト関連事業 京都祇園祭—町衆の情熱・山鉦の風流—

会 期：2020年3月24日(火)～5月17日(日)
[48日/55日]
*新型コロナウイルス感染拡大防止のため
4月3日より休室

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般1500円(1300円)／大高生1100円
(900円)／中小生500円(300円)
*()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、公益財団法人祇園祭山鉦連合会、京都新聞、朝日放送テレビ、日本経済新聞社

共 催：京都市

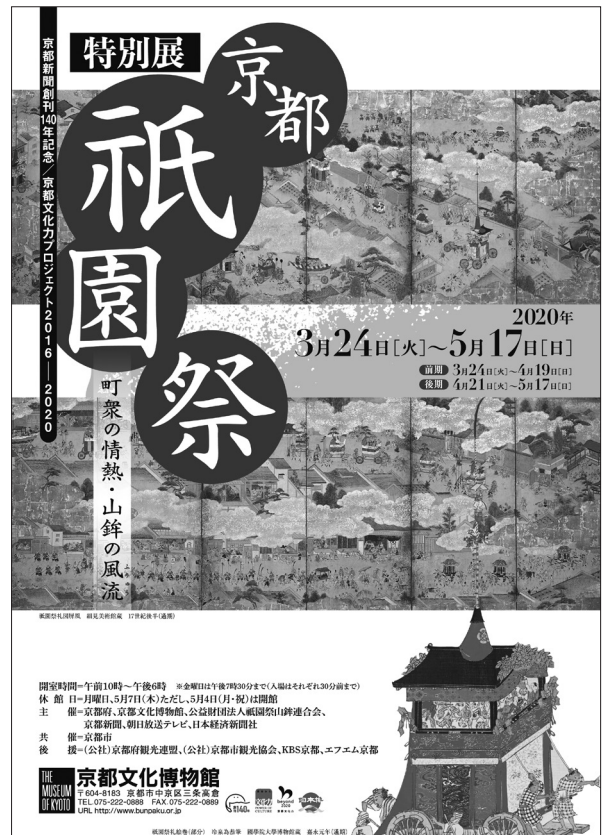
後 援：公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

担当者：橋本章、洲鎌佐智子

入場者：1,383人(1日平均 138人)

【概要】

祇園祭の山鉦巡行は、京都の夏を彩る風物詩として長く親しまれてきた。祇園祭の源泉は千年以上前にさかのぼり、都の安寧を脅かす疫神の退散を願った祭儀に由来するとされている。それから幾多の年月を経て行くなかで、祭礼にはさまざまな変化がもたらされ、およそ七百年前には山や鉦の姿が祇園祭に登場するようになる。その背景にあったのは「風流(ふりゅう)」



「京都祇園祭—町衆の情熱・山鉦の風流—」ちらし

と呼ばれた当時の美意識の高まりであった。その担い手となったのは、後に町衆と総称される都の経済を支えた商工業者たちで、彼らの情熱は、風流の気風によって祇園祭の山鉦巡行をより盛大なものへと成長させてゆく。

戦乱の時代を経て江戸時代へと世の中が移り変わってゆくと、毎年のように作り替えられていた祇園祭の山鉦の趣向は様式化が進むが、その一方で本体に飾られる装飾品はより豪華なものへと発展してゆく。町衆の中に受け継がれた風流の心意気は、都の経済成長と技術革新に支えられ、その文化力の影響を活かしながら、山鉦に工芸美を追求した姿を反映させてゆく。西陣に代表される京の染織技術の発展の成果を応用した懸装品や、都の金工師らによる職人技をふんだんに盛り込んだ美しい飾金具、そして京都で活躍した一流の絵師たちが山鉦に描いた作品など、町衆が注入したその情熱は、祇園祭の山鉦を「動く美術館」と称されるまでに高めていったのである。

この展覧会では、日本を代表する祭りとして世界に認められた京都祇園祭の山鉦の美の姿を紹介した。

【展覧会の構成と主な出品作品】

序章 描かれた山鉦巡行

- ・祇園祭礼図屏風 17世紀後半 細見美術館
- ・祇園祭礼絵巻 冷泉為恭筆 嘉永元年(1848) 國學院大學博物館
- ・京都市指定文化財 祇園祭礼図屏風 海北友雪筆 明暦年間(1655～58) 公益財団法人八幡山保存会

第1章 記録される祇園祭と山鉦巡行

- ・京都市登録文化財 「御山鋤金物仕様積書」 文政12年(1829) 公益財団法人北観音山保存会
- ・京都市登録文化財「祇園会占出山神具入日記」 宝暦11年(1761) / 文政4年(1821) 一般財団法人占出山保存会

第2章 山鉦を彩る～飾り金具の競演～

- ・重要文化財 黒韋威肩白胴丸 大袖喉輪付 室町時代 公益財団法人浄妙山保存会
- ・重要文化財 黒韋威肩白胴丸 大袖付 室町時代 公益財団法人橋弁慶山保存会
- ・鉦頭 長刀 平安城住三条長吉作 大永2年(1522) 公益財団法人長刀鉦保存会
- ・重要有形民俗文化財 欄縁 黒漆塗「三十六禽之図」鍍金金具付 菱川清春下絵 天保7年(1836) 公益財団法人長刀鉦保存会

第3章 山鉦を飾る～懸装品の美～

- ・重要文化財 函谷鉦飾毛綴 16世紀 公益財団法人函谷鉦保存会

- ・重要文化財 長浜祭鳳凰山飾毛綴 16世紀 祝町組鳳凰山
- ・重要文化財 鶏鉦飾毛綴 16世紀 公益財団法人鶏鉦保存会
- ・重要文化財 鯉山飾毛綴 16世紀 公益財団法人鯉山保存会

第4章 神格化される祇園祭の山鉦

- ・重要文化財 綾地締切蝶牡丹文様片身替小袖 天正17年(1589) 公益財団法人芦刈山保存会
- ・重要有形民俗文化財 楊柳観音像 江戸時代 公益財団法人北観音山保存会
- ・重要有形民俗文化財 白楽天御神体人形 頭部・明暦3年(1657) / 体部・寛政6年(1794) 公益財団法人白楽天山保存会
- ・京都市指定有形民俗文化財 大金幣 文化10年(1813) 公益財団法人四条町大船鉦保存会

第5章 近代化と祇園祭の山鉦

- ・重要有形民俗文化財 見送 白綴地墨画孟宗竹藪林図 竹内栖鳳筆 昭和15年(1940) 孟宗山保存会
- ・重要有形民俗文化財 妻飾 木彫彩色丹頂鶴 大正6年(1917) 公益財団法人放下鉦保存会
- ・妻飾下絵 幸野樞嶺筆 明治23年(1890) 公益財団法人放下鉦保存会
- ・重要有形民俗文化財 軒裏絵 金地四季草花図 今尾景年筆 大正7年(1918) 公益財団法人岩戸山保存会

終章 そして新しい時代へ

- ・御神体人形図 天保2年(1831) 公益財団法人鷹山保存会

別館展示

- ・郭巨山 公益財団法人郭巨山保存会
- ・橋弁慶山 公益財団法人橋弁慶山保存会

【出品作品数】

150点

【関連行事】

〔1〕能楽特別講演会「祇園祭の山鉦に込められた物語」

日時：3月28日(土)午後2時～4時

場所：別館ホール

出演：金剛龍謹師(能楽金剛流若宗家)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

〔2〕記念シンポジウム

「祇園祭～山鉦を受け継ぎ、その文化を守ること～」

日時：3月29日(日)午後1時30分～3時

場所：別館ホール

パネリスト：久保智康氏(京都国立博物館名誉館)

員・叡山学院教授)、藤井健三氏(西陣織物館顧問)、村上忠喜氏(京都産業大学文化学部教授)

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

〔3〕「祇園囃子の演奏とお囃子体験会」

日時：2020年4月19日(日)午後1時～3時

場所：本館6階和室

出演：公益財団法人船鉾保存会囃子方

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

〔4〕記念講演会「京都祇園祭の魅力」

日時：4月11日(土)午前10時30分～正午

場所：3階フィルムシアター

講師：橋本章(当館学芸員)

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

〔5〕ワークショップ「キミだけの山鉾模型をつくろう!」

日時：5月9日(土)午後1時～3時

場所：3階やすらぎコーナー

担当：洲鎌佐智子(当館学芸員)

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

〔6〕ギャラリートーク

日時：3月27日(金)、4月3日(金)、4月10日(金)、
4月17日(金)、4月24日(金)

いずれも午後6時～(30分程度)

場所：3階・4階展示室内

担当：橋本章、洲鎌佐智子

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑥ Kyoto Art for Tomorrow 2020—京都府新鋭選抜展—

会 期：2020年1月25日(土)～2月9日(日)

[14日/16日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：3階展示室、別館ホール

入場料：3階展示室…一般500円(400円)/大学生
400円(320円)/高校生以下無料

別館ホール…無料*()内は20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館

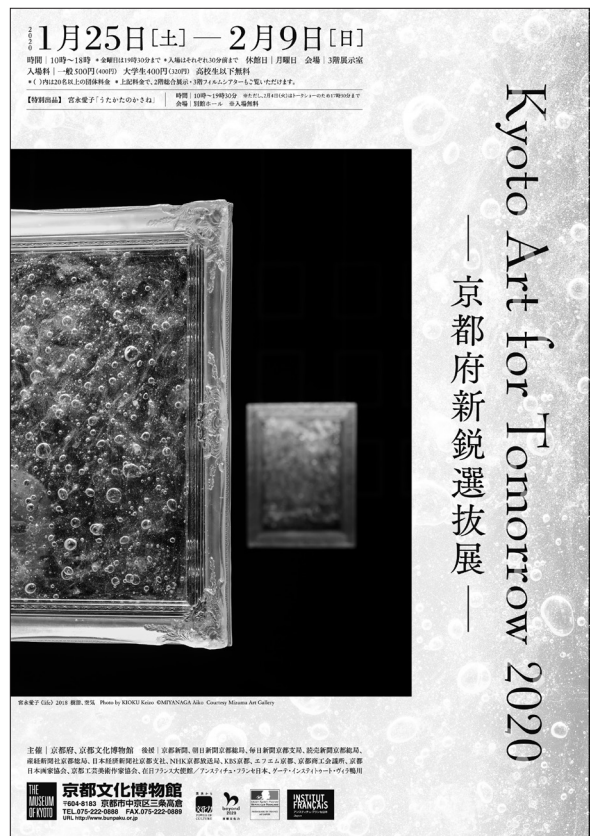
後 援：京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都商工会議所、京都日本画家協会、京都工芸美術作家協会、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ関西、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

担当者：林智子

入場者：29,994人(1日平均 2,142人)

【概要】

本展は、京都を中心に活動する新進若手作家を紹介する展覧会として60年以上にわたる長い歴史を有している。本年は、150名を超える推薦作家から選考委員により選抜された若手作家40名の作品を展示した。別館ホールでは、特別出品として、京都出身で国際的に活躍する美術家である宮永愛子氏の「うたかたのかさね」を紹介した。



「Kyoto Art for Tomorrow2020—京都府新鋭選抜展—」ちらし

【出品作家】

荒川朋子、イガわ淑恵、井尻杏那、伊藤学美、井上裕加里、今井完眞、江川恵、河野愛、菊池和晃、菊池ルイ、貴志在介、来田広大、葛本康彰、顧洛水、小出麻代、高資婷、幸山ひかり、小嶋晶、小林椋、近藤大祐、阪本結、白井聡子、新宅 加奈子、大東真也、高畑紗依、武田めぐみ、田辺桂、中村潤、西村涼、橋本知成、松延総司、松本さやか、松元悠、水田寛、三橋卓、宮本 大地、森田具海、柳瀬安里、山岡明日香、若林亮

【特別出品作家】

宮永愛子「うたかたのかさね」

1974年京都生まれ。2008年東京藝術大学大学院修士課程修了。日用品をナフタリンでかたどったオブジェや、塩、陶器の貫入音や葉脈を使ったインスタレーションなど、気配の痕跡を用いて時を視覚化する作品で注目を集める。2013年「日産アートアワード」初代グランプリ受賞。主な個展に「宮永愛子：漕法」高松市美術館（香川、2019）、「みちかけの透き間」大原美術館有隣荘（岡山、2017）、「宮永愛子：なかそら一空中空」国立国際美術館（大阪、2012）など。

【出品作品数】

40点、特別出品作1点

【関連行事】

〔1〕対談 宮永愛子×青木淳

日時：2月4日(火)午後6時15分～7時30分

場所：別館ホール

講師：宮永愛子氏(特別出品作家)、青木淳氏(建築家・京都市京セラ美術館館長)

参加費：無料(ただし、当日先着順)

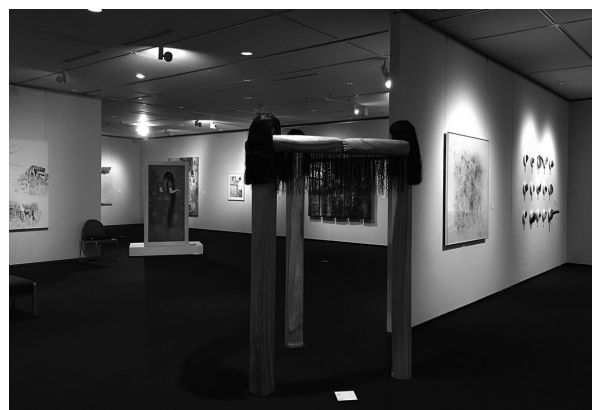
参加者数：60名

〔2〕出品作家によるギャラリートーク

日時：1月26日(日)、2月2日(日)午後2時～3時

場所：3階展示室内

参加者数：それぞれ55名、50名



「Kyoto Art for Tomorrow2020—京都府新鋭選抜展—」会場風景

*2019(令和元)年度特別展一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均	形態
北野天満宮 信仰と名宝—天神さんの源流—	2019.4.1(2.23)～4.14	12	10,578	882	共催
		(44)	(32,792)		
美を競う 肉筆浮世絵の世界	2019.4.27～6.9	39	29,654	760	共催
横山華山展	2019.7.2～8.17	44	35,277	802	共催
ICOM京都大会開催記念 百花繚乱 ニッポン×ビジュツ展	2019.8.25～9.29	32	80,475	2,515	共催
みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ—線の魔術—	2019.10.12～2020.1.13	75	57,070	761	共催
kyoto Art for Tomorrow 2020-京都府新鋭選抜展-	2020.1.25～2.9	14	29,994	2,142	委託
京都文化力プロジェクト関連事業 京都祇園祭—町衆の情熱・山鉦の風流—	2020.3.24～3.31(5.17) ※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言自粛要請による一部休館(2020.4.4～) 中止(2020.5.6)	7	985	141	共催
		(10)	(1,383)		
計7件		223	244,033	1,094	

※()内は、展覧会の会期全部の日数及び入場者数

*2019(令和元)年度特別展関連イベント一覧

開催日時	展覧会名	関連行事	講師・所属等 その他
2019.4.27	美を競う 肉筆浮世絵の世界	講演会「美人画に描かれた姿態美と表現について」	鈴木浩平氏(美術史家・本展監修者)
5.5	美を競う 肉筆浮世絵の世界	ワークショップ「浮世絵団扇を作ろう」	洲鎌佐智子(当館学芸員)
5.12	美を競う 肉筆浮世絵の世界	講演会「肉筆美人画の夢うつつ」	中山喜一朗氏(福岡市美術館館長)
5.17	美を競う 肉筆浮世絵の世界	ギャラリートーク	森道彦氏
5.31	美を競う 肉筆浮世絵の世界	ギャラリートーク	洲鎌佐智子(当館学芸員)
7.6	横山華山展	講演会「『祇園祭礼図巻』と祇園祭の歴史」	吉田雅子氏(京都市立芸術大学教授) 八反裕太郎氏(本展監修・瀬川美術館学芸員) 橋本章(当館学芸員)
7.13	横山華山展	講演会「忘れられた天才絵師」	森道彦氏
7.16	横山華山展	「祇園祭宵山記念」特別観覧会	八反裕太郎氏(瀬川美術館学芸員)
7.19	横山華山展	ギャラリートーク	森道彦氏
7.26	横山華山展	ギャラリートーク	森道彦氏
8.2	横山華山展	ギャラリートーク	森道彦氏
8.10	横山華山展	講演会「京と東北をつなぐ紅花の風景」	土生和彦氏(宮城県美術館学芸員)
9.1	ICOM京都大会開催記念 東京富士美術館所蔵 百花繚乱 ニッポン×ビジュアル展	記念講演会「AIとVRによる源氏絵の研究 と鑑賞」+灯明で見る「源氏物語図屏風」 のVR鑑賞体験	稲本万里子氏(恵泉女学園大学 人文学部 教授) 小長谷明彦氏(東京工業大学 情報理工学院 教授)
9.7	ICOM京都大会開催記念 東京富士美術館所蔵 百花繚乱 ニッポン×ビジュアル展	特別講演会「饒舌館長『若冲と北斎・ 其一』を口演す」	河野元昭氏(静嘉堂文庫美術館館長)
8.25	ICOM京都大会開催記念 東京富士美術館所蔵 百花繚乱 ニッポン×ビジュアル展	スペシャルギャラリートーク	鴨木年泰(東京富士美術館学芸員) 聞き手 植田彩芳子(当館学芸員)
10.19	みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ —線の魔術	イベントトーク	畑 智子(当館学芸員)
10.25	みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ —線の魔術	ギャラリートーク	清水智世(当館学芸員)
11.9	みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ —線の魔術	講演会「チェコ時代のミュシャ —《スラヴ叙事詩》とその周辺」	小野尚子氏(兵庫県立美術館学芸員)
11.23	みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ —線の魔術	講演会「日本のミュシャ・ 一條成美と明治のアール・ヌーヴォー」	大塚英志氏(国際日本文化研究センター教授)
12.20	みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ —線の魔術	ギャラリートーク	清水智世(当館学芸員)
1.26	Kyoto Art for Tomorrow 2020 —京都府新鋭選抜展—	ギャラリートーク	展覧会出品作家
2.2	Kyoto Art for Tomorrow 2020 —京都府新鋭選抜展—	ギャラリートーク	展覧会出品作家
2.4	Kyoto Art for Tomorrow 2020 —京都府新鋭選抜展—	対談 宮永愛子×青木淳	宮永愛子氏(特別出品作家) 青木淳氏(建築家・京都市京セラ美術館館長)
	京都文化力プロジェクト関連事業 京都祇園祭 —町衆の情熱・山鉾の風流—	講演会・ギャラリートーク他	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

Ⅲ-3 映画

1) 常設上映

上映期間	テーマ	作品名	日数	回数	鑑賞者
2019.4.2~4.30	映画が伝える、名もなく、貧しく、そして美しい生活	一人息子／綴方教室／土／馬／素晴らしき日曜日／裸の島／生きる／喜びも悲しみも幾歳月／にあんちゃん／生きる／名もなく貧しく美しく／キューボラのある街／サムライの子／湖の琴	26	52	3,091
2019.5.1~6.6	没後50年 映画監督・成瀬巳喜男の世界	浮雲／山の音／鶴八鶴次郎／妻よ薔薇のやうに／夜ごとの夢／噂の娘／女人哀愁／おかあさん／妻／夫婦／秋立ちぬ／あにいうと／晩菊／稲妻	27	54	3,445
2019.5.22~5.26	芦屋小雁映画祭り	喜劇 出たとこ勝負(旧題：ちんじらじら物語／続 番頭はんと丁稚どんの上映とトーク／続々 番頭はんと丁稚どんの上映とトーク／喜劇 団地親分／女殺し油地獄	5	14	563
2019.6.7~6.30	EUフィルムフェスティバル2019 映画で旅するヨーロッパ	ヤン・パラフ／デス・バレット／バルト・キングダム／ウェスタン／スーパージャンプ・リターンズ／人生はトランペット／ブラッディ・ミルク／キオスク／撃たないで！／心と体と／修道士は沈黙する／ロミー・シュナイダー ～その光と影～／小さな同志／無限のガーデン／エッシャー無限の旅／イヴァン／クイーン・オブ・アイルランド／野性のルーマニア／古代の森／ウォーター・パーク／恐怖の設置／いかにしてフェルナンド・ベソアはポルトガルを救ったか／さようならが言えなくて／いつも心はジャイアント／イレブン・ミニッツ(6/18のみ上映&ゲストトーク)	21	42	4,009
2019.7.2~7.31	追悼 映画女優・京マチ子	羅生門／偽れる盛装／雨月物語／赤線地帯／いとはん物語／地獄花／悲しみは女だけに／鍵／次郎長富士／甘い汗／他人の顔／ある映画監督の生涯 溝口健二の記録／	24	47	4,422
2019.7.16,7.17,7.24	祇園祭記念特別上映	祇園祭	3	6	658
2019.8.1~8.4	第25回京都国際子ども映画祭	ジム・ボタンの機関車大旅行／はじめての別れ／こどもしよくどう／短編アニメA+短編映画A(6作品：パパ／モリモリ島のモーグとペロル(8/3上映&ゲストトーク)／ゼブラ／もの大きさ／本当のこと／スーパーヒーローズ)短編アニメB+短編映画B(6作品：アイスクリームの恋／サタデイズアパートメント／ツリー／息切れ／#いじめのこと(8/2上映&ゲストトーク)／天使の鏡(こども食堂以外は生吹き替えでの上映)	4	10	814
2019.8.5~8.29	銀幕が汗をかく一映画で感じる夏	人情紙風船／原爆の子／風の中の子供／野良犬／祇園囃子／太陽の季節／肉弾／狂った果実／流れる／どたんば／張込み／喜劇 駅前旅館(8/15夜の部、台風のため臨時休映)	23	45	2,916
2019.8.30~9.1	日本映像学会関西支部第41回夏期映画ゼミナール 2019 大谷巖特集一音の世界	東海水滸伝(改題：東海二十八人衆)／西陣の姉妹／雨月物語／噂の女／源氏物語 浮舟／初春狸御殿／不知火検校／新座頭市 破れ！唐人剣／竜馬を斬った男(9/1上映とシンポジウム)	3	9	812
2019.9.2~9.15	【ICOM京都大会開催記念】映画が描く京都ー風土・文化・歴史	京都府の茶業／続 京都府の茶業／疎水 流れに沿って／西陣／祇園小唄 絵日傘 舞ひの袖／祇園小唄 絵日傘 狸大尽／祇園の姉妹／西陣の姉妹／古都／祇園祭	13	26	1,199
2019.9.16~9.29	【生誕110年記念】映画監督 山中貞雄の世界	丹下左膳余話 百万両の壺／右門一番手柄 南蛮幽霊／磯の源太 抱猿の長脇差／怪盗白頭巾／大菩薩峠／戦国群盗伝／河内山宗俊／人情紙風船／その前夜	12	24	1,072
2019.10.1~10.13	【生誕100年記念】映画でみる水上勉の世界	雁の寺／越前竹人形／五番町夕霧楼／越後つづいし親不知／飢餓海峡／はなれ瞽女おりん	12	23	1,527
2019.10.8	【ベルリンの壁崩壊30年記念企画】東ドイツ映画の上映とトーク	『ソロシンガー』上映とトーク	1	1	95
2019.10.14~10.25	“芸術”を記録するーアート・フィルムの世界	中村鷹治郎 舞台のおもかげ／文案 伽羅先代萩／文案／創る・本郷新の世界／彫る・棟方志功の世界／京舞・四世 井上八千代	10	20	495
2019.10.26~11.4	第11回京都ヒストリカ国際映画祭	カツベン！／祇園小唄 絵日傘 舞ひの袖／煙突屋ペロー／くもとちゅうりっぷ／桃太郎 海の神兵／アンデルセン童話 にんぎょ姫／白蛇伝／少年猿飛佐助／わんわん忠臣蔵／ミステリー・オブ・ザ・ナイト／子連れ狼 子貸し腕貸しつかまつる／カーミラー 魔性の客人／子連れ狼 三途の川の乳母車／子連れ狼 死に風に向う乳母車／ダムゼル とらわれのお嬢さん／子連れ狼 冥府魔道／トゥンパード／太陽の王子 ホルスの大冒険／長靴をはいた猫／檜山節考／薄氷の上のゼン／シャトー・イン・パリ／夏の踊り子(第11回京都映画企画市報告上映会)別館上映：『涼宮ハルヒの消失』『劇場版 響け！ユーフォニアム』『映画 けいおん!』『たまこラブストーリー』『IN THE CAVE』(鑑賞者165名) *『IN THE CAVE』に関しては鑑賞者数のカウントに入っていない	9	29	2,083

2019.11.6～11.29	映画にみる怪異と恐怖の世界	渋川伴五郎／有馬猫／番町皿屋敷 お菊と播磨／美女と怪竜／蜘蛛巣城／東海道四谷怪談／おとし穴／大魔神／怪談累が淵／修羅	20	40	1,514
2019.11.15	映画の復元と保存に関するワークショップ 2019 関連上映	泥の河／夢みるように眠りたい	1	2	76
2019.11.30～12.1	京まちなか映画祭2019 日本の音楽好事家による邦画セレクション	歌麿をめぐる五人の女／につぼんのお婆あちゃん／合葬／顔役／日本のいちばん長い日	2	5	351
2019.12.3～12.27	新天地を夢みて 戦後日活繁盛記	警察日記／こころ／女中ッ子／幕末太陽傳／ギターを持った渡り鳥／競輪上人行状記／につぼん昆虫記／肉体の門／赤い殺意／日本列島／けんかえれじい	22	44	2,511
2020.1.4～2.2	新春 映画歌合戦	マダムと女房／雪之丞変化[総集編]／浅草の灯／愛染かつら[総集編]／鴛鴦歌合戦／青い山脈／続・青い山脈／君の名は第一部／君の名は 第二部／君の名は 第三部／新諸国物語 笛吹童子／ビルマの豎琴／ひばり捕物帖 かんざし小判	26	51	2,531
2020.2.4～2.29	スリルとサスペンスを味わうー硬派推理映画の魅力	野良犬／真昼の暗黒／張込み／黒い画集 あるサラリーマンの証言／ゼロの焦点／誇り高き挑戦／黒の試走車／天国と地獄／白と黒／白い巨塔	18	34	1,898
2020.2.12	文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト 2019年度 合評上映会	あなたみたいにな、なりたくない。／Le Cerveau -セルヴォ／魚座どうし	1	1	52
2020.2.14	日本映画テレビ技術協会京都支部 受賞作品を見る会	泣き虫しょったんの奇跡 上映とトーク	1	1	76
2020.2.21～2.23	第22回京都国際学生映画祭 上映と開会式と授賞式	Aプログラム：The Shepherd／リベンジ！／AFTER THE RAIN／TILL THE END OF THE WORLD Bプログラム：／TERROR／No Gravity／中村屋酒店の兄弟／Just in Time Cプログラム：The Stained Club／She-Pack／羊と蜜柑と日曜日／Untamed Dプログラム：ひとひら／One Way Ticket／捨てられた種／Kippah 特別企画①ギャングよ 向うは晴れているか②嵐電（各回上映後、監督によるトークあり）	3	11	431
2020.3.1～3.31	高峰秀子没後10年 デコちゃんの映画渡世子役から少女スター、そして女優へ	東京の合唱／花籠の歌／綴方教室／樋口一葉／馬／細雪／宗方姉妹／カルメン故郷に帰る／雁／女の園／二十四の瞳／浮雲／喜びも悲しみも幾年月	0	0	0

*新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため臨時休館(2020年2月28日(金)～5月19日(火))

*現段階(7月10日)ではヒストリ映画祭の別館上映の鑑賞者数はシアターの鑑賞者数にカウントしていない

2) 特別企画・共催事業

III-3 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

① 2019年度共催上映等の実績

◆ 芸能生活70周年記念 芦屋小雁映画祭り

期間：2019年5月22日～26日

共催：特定非営利活動法人映像産業振興機構

会場：本館3F フィルムシアター

内容：『続 番頭はんと丁稚どん』『喜劇 団地親分』

等の上映と、大村崑氏、芦屋小雁氏による講演。

鑑賞者数：563人(113人／1日)

『ヤン・パラフ』『デス・バレット』『バルト・キングダム』『ウェスタン』『人生はトランペット』等28作品の上映と、石川慶氏(映画監督)、イエジー・スコリモフスキ氏(『イレブン・ミニッツ』監督)によるトーク。

鑑賞者数：4,009人(191人／1日)

◆ EUフィルムデーズ2019 in京都

期間：2019年6月7日～30日

共催：欧州連合代表部、欧州連合加盟国大使館・文化機関

会場：本館3F フィルムシアター

内容：EU代表部が加盟各国から集めた映画作品

◆ 第25回 京都国際子ども映画祭

期間：2019年8月1日～4日

共催：キンダーフィルムフェストきょうと

会場：本館3F フィルムシアター

内容：世界各国で製作される子ども映画を、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティショ

ンを行う。『ジム・ボタンの機関車大旅行』『はじめての別れ』『こどもしょくどう』等12作品の上映と監督によるトーク。

鑑賞者数：814人(204人／1日)

◆【ベルリンの壁崩壊30年記念企画】

東ドイツ映画の上映とトーク

期間：2019年10月8日

共催：大阪ドイツ文化センター

協力：DEFA 財団

会場：本館3F フィルムシアター

内容：『ソロシガー』の上映と、アンドレアス・ドレーゼン監督による講演。

鑑賞者数：95人(95人／1日)

◆ 第11回 京都ヒストリカ国際映画祭

期間：2019年10月26日～11月4日

主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会〔京都府、東映京都撮影所、松竹撮影所、京都文化博物館、立命館大学、東映京都スタジオ、巖本金属、ディレクターズ・ユニブ〕

共催：KYOTO CMEX 2016

会場：本館3F フィルムシアター、別館ホール

内容：『カツベン！』『くもとちゅうりっぷ』『太陽の王子 ホルスの大冒険』『たまこラブストーリー』『IN THE CAVE』等31作品の上映と、小田部羊一氏

(アニメーター・作画監督)、勝間田具治(アニメーション監督)、清水慎治氏(プロデューサー)、堀川憲司氏(アニメプロデューサー)、梶井省志氏(『カツベン！』企画)、マルゲリータ・フェッリ氏(映画監督)、エレオノーラ・コンティ氏(女優)、アミール・ナデリ氏(映画監督)らによるトーク。

鑑賞者数：2,587人(287／1日)

◆ 京まちなか映画祭2019

日本の音楽好事家による邦画セレクション

期間：2019年11月30日～12月1日

共催：京まちなか映画祭実行委員会

会場：本館3F フィルムシアター

内容：『歌麿をめぐる五人の女』『にっぽんのお婆ちゃん』『合葬』『顔役』『日本のいちばん長い日』の上映と、バンヒロシ氏、岸野雄一氏のトーク。

鑑賞者数：351人(176／1日)

◆ 第22回 京都国際学生映画祭

期間：2020年2月21日～23日

主催：公益財団法人大学コンソーシアム京都

会場：本館3F フィルムシアター

内容：『ひとひら』『One Way Ticket』『捨てられた種』『Kippah』『ギャングよ向うは晴れているか』『嵐電』等の上映と出品監督によるトーク。

鑑賞者数：431人(144／1日)

② 映画製作者・研究者・専門家向け普及事業

◆ 日本映像学会関西支部第41回夏期映画ゼミナール
大谷巖特集－音の世界－

期間：2019年8月30日～9月1日

共催：日本映像学会関西支部

会場：本館3F フィルムシアター

内容：『東海水滸伝』『西陣の姉妹』『雨月物語』『噂の女』『初春狸御殿』等10作品の上映と伊豆田千加氏(映画研究者)、長門洋平氏(映画研究者)、白井史人氏(映画研究者)、遠藤賢治氏(大阪芸術大学)によるシンポジウム。

鑑賞者数：812人(271人／1日)

◆ 第12回 京都フィルムメーカーズラボ
(Kyoto Filmmakers Lab 2019)

期間：2019年10月29日～11月1日

主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会〔京都府、東映京都撮影所、松竹撮影所、京都文化博物館、立命館大学、東映京都スタジオ、巖本金属、ディレクターズ・ユニブ〕

共催：第32回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館 - 大阪、KYOTOCMEX 実行委員会

協力：京都クロスメディア推進戦略拠点

会場：東映京都撮影所、松竹撮影所、本館3F フィルムシアター、別館ホール

内容：世界各国から若手映画作家を招き、東映、松

竹の両撮影所で5分の短編時代劇2作品を製作する合宿形式のワークショップ(公用語:英語)。web公募の結果、58カ国334名の応募。審査の結果、外国人16カ国25名、日本人15名が審査を通過(日本、インド、アルゼンチン、フィリピン、中国、香港、カナダ、アメリカ、ルーマニア、インドネシア、タイ、南アフリカ、ポーランド、トルコ、マレーシア、イラン、オーストラリア)。東映、松竹の京都撮影所で安藤清人(照明監督/東映)、溝口豊(プロデューサー/松竹)監修の時代劇製作ワークショップを開催。参加人数:40名

◆京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション

期間:2019年11月1日~4日

主催:京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会[京都府、東映京都撮影所、松竹撮影所、京都文化博物館、立命館大学、東映京都スタジオ、巖本金属、ディレクターズ・ユニブ]

共催:第32回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館-大阪、KYOTOCMEX 実行委員会

協力:京都クロスメディア推進戦略拠点

会場:本館3Fフィルムシアター、別館ホール、東映京都撮影所、松竹撮影所、旧武徳殿

内容:京都フィルムメーカーズラボ参加者、ヴァレンティーナ・ベッローモ(ヴェネツィア国際映画祭ビエンナーレ・カレッジ・シネマキュレーター)、アミール・ナデリ(映画監督)、國實瑞恵(プロデューサー)、エリック・ニアリ(プロデューサー)、エレナ・ポラッキ(ヴェネチア映画祭プログラマー)、ピムパカー・トーウィラ(監督/プログラムディレクター)、イヴァ

ン・ジェルゴレット(監督)、セドリック・イド(監督、俳優)によるトーク。

鑑賞者数:852人(213人/1日)

◆第14回映画の復元と保存に関するワークショップ

期間:2019年11月15日

共催:第14回「映画の復元と保存に関するワークショップ」実行委員会

会場:本館3Fフィルムシアター

内容:『泥の河』『夢みるように眠りたい』の上映と小栗康平氏(映画監督)、林海象氏(映画監督)、森脇清隆の講演。

鑑賞者数:76人(76人/1日)

◆文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト

2019年度合評上映会

期間:2020年2月12日

共催:特定非営利活動法人映像産業振興機構

会場:本館3Fフィルムシアター

内容:『あなたみたいに、なりたくない。』『Le Cerveau -セルヴォ』『魚座どうし』の上映と監督のトーク。

鑑賞者数:52人(52人/1日)

◆日本映画テレビ技術協会京都支部 受賞作品を見る会

期間:2020年2月14日

共催:日本映画テレビ技術協会

会場:本館3Fフィルムシアター

内容:『泣き虫しょったんの奇跡』の上映と村上雅樹氏(編集技師)によるトーク。

鑑賞者数:76人(76人/1日)



「京都ヒストリカ国際映画祭」



「京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション」

③ 大学生向け普及事業

◆ インターンシップの受け入れ

令和元年度 前期 立命館大学（映像学部2名）

3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50

点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。2019年度は下記のテーマで展示した。

【映像ギャラリー展示資料一覧】

期 間	テ ー マ
2019.4.2～30	映画が伝える、名もなく、貧しく、そして美しい生活
2019.5.1～6.6	没後50年 映画監督・成瀬巳喜男の世界
2019.5.22～5.26	芦屋小雁映画祭り
2019.6.7～6.30	EUフィルムデーズ2019映画で旅するヨーロッパ
2019.7.2～7.31	追悼 映画女優・京マチ子
2019.8.1～8.4	第25回京都国際子ども映画祭
2019.8.5～8.29	銀幕が汗をかくー映画で感じる夏
2019.9.16～9.29	【生誕110年記念】映画監督 山中貞雄の世界
2019.10.1～10.13	【生誕100年記念】映画でみる水上勉の世界
2019.10.26～11.4	第11回京都ヒストリカ国際映画祭
2019.11.6～11.29	映画にみる怪異と恐怖の世界
2019.12.3～12.27	新天地を夢みて 戦後日活繁盛記
2020.1.4～2.2	新春 映画歌合戦
2020.2.4～2.29	スリルとサスペンスを味わうー硬派推理映画の魅力
2020.2.21～2.23	第22回京都国際学生映画祭 上映と開会式と授賞式
2020.3.1～3.31	高峰秀子没後10年 デコちゃんの映画渡世 子役から少女スター、そして女優へ

III - 4 その他

◆【総合展の小中高校生の入場料の無料化】

2008年度の開館20周年を機に、次世代を担う子供たちに京都の歴史や文化・芸術に身近に親しんでいただくことを目的として、小中高生の常設展入場料の無料化を始めた。2019年度は3,764名の子供が入場した。

◆【夜間開館の実施】

来館者の利便性をより高めることを目的として、2008年6月から特別展の開館時間の延長を開始した。毎週金曜日に限り、閉室時間を午後6時から午後7時30分とした。また、各特別展会期中の数回、金曜日の夜間開館にあわせて午後6時から30分程度でギャラリートークを開催している。2019年度の夜間開館入場者は2,511名であった。

Ⅲ-5 京都学・歴彩館における展示

Ⅲ-5 京都学・歴彩館における展示

① 対(つい)展

会期：2019年4月13日(土)～6月9日(日)

[78日/86日]

休館日：4月29日(月・祝)～5月4日(土・祝)、

5月6日(月・振休)、5月8日(水)

会場：京都府立京都学・歴彩館 1階展示

入場料：無料

主催：京都府、京都文化博物館、

京都府立京都学・歴彩館

担当者：清水智世

入場者：1,494人(1日平均 19.2人)

【概要】

美術作品には「対(つい)」で成り立つものが多く存在しています。双屏風や双幅といった、組み合わせで成り立つ作品の形式にとどまらず、描かれるモチーフ、使用された色、作品の構成、人間関係や社会的発言など、多様に広がります。本展では、京都府が所蔵する60年代以降の美術作品を「対」というコンセプトを通して読み解きました。

【主な出品作品】

麻田浩《北山杉》1986年

麻田辨白《梅尾》1973年

幸田春耕《こうぼね》1971年

小牧源太郎《印相婆藪(vasu)》1965年

黒崎彰《迷彩譜10》1978年

伊庭靖子《Untitled》2000年

中原史雄《東風緑彩17-3》2017年

児玉靖枝《a Blue Landscape》1991年

【出品作品数】 17点

【関連行事】

〔1〕学芸員によるギャラリートーク

日時：4月26日(金)、5月29日(水)

午後2時30分～(30分程度)

場所：1階展示室内

担当：清水智世

ゲスト：中原史雄氏(5月29日)

参加者数：それぞれ9名、53名



「対」で見る
「個」を感じる

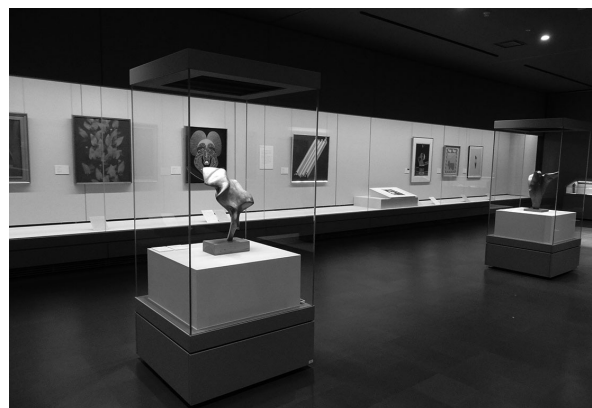
対 展
Pair, Set, Relationship,
Homage, Antonym, Opposition,
Complementary Color,
Symmetry, 2019.4.13 sat - 6.9 sun

時間：平日9:00～18:00 土日9:00～17:00 休館日：4月29日(月・祝)～5月4日(土)、5月6日(月)、5月8日(水)
会場：京都府立京都学・歴彩館 1階展示室 主催：京都府、京都文化博物館、京都府立京都学・歴彩館
京都学 京都学 学芸員 清水智世 075-221-4431

左上から順に：小山 由孝(複製)1973年、小山 由孝(複製)1973年、小牧 源太郎(印刷複製(vasu))1965年
右上から順に：有田 浩《Onka Club》1967年、麻田 辨白《梅尾》1973年、伊藤 久三郎《02-13》1969年

京都府立京都学・歴彩館
KYOTO UNIVERSITY LIBRARY AND MUSEUM

「対(つい)展」ちらし



「対(つい)展」会場風景

② 柔らかい陶 —市川廣三・宮下善爾の心象風景—

会 期：2020年1月11日(土)～3月8日(日)

[55日/58日]

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため

2月28日より休室

休館日：祝日、第2水曜日

会 場：京都府立京都学・歴彩館 1階展示室

入場料：無料

主 催：京都府、京都文化博物館、
京都府立京都学・歴彩館

担当者：洲鎌佐智子

入場者：1,773人（1日平均 32.2人）

【概要】

やきものに柔らかさを表現し人々の心の奥深く印象づけることができるのかを追い求めた京都の二人の陶芸家、市川廣三と宮下善爾の作品を京都府所蔵品から紹介。市川は磁器ものを主に、蛙や魚などがいる具象的な近景の景色をピンポイントで表現し、泥の柔らかく自然な痕跡を残すことによって、懐かしくも温かい心の風景を浮かびあがらせる。宮下は主として陶器を手がけ、多彩な色土で生み出したグラデーションで、ときに山々が織りなす広大な遠景として、またときに風や光という抽象的な心の景色として、見る人の心情にその捉え方を委ねながら迫ってくる。本展は、二人がつかみとったやきものの手法や表現を楽しんでいたかどうかというもの。

【主な出品作品】

市川廣三《閑日》1981年、京都府蔵（京都文化博物館管理）

市川廣三《白磁壺「夏の夢」》1996年、京都府蔵（京都文化博物館管理）

宮下善爾《はじまりとおわり》1983年、京都府蔵（京都文化博物館管理）

宮下善爾《海に立つ》2002年、京都府蔵（京都文化博物館管理）

【出品作品数】 40点

【関連行事】

〔1〕学芸員によるギャラリートーク

日時：1月16日(木)、2月6日(木)、2月27日(木)

午後2時30分～(30分程度)

場所：1階展示室内

担当：洲鎌佐智子

参加者数：それぞれ52名、27名、17名



「柔らかい陶 —市川廣三・宮下善爾の心象風景—」ちらし



「柔らかい陶 —市川廣三・宮下善爾の心象風景—」会場風景

Ⅳ 調査研究活動

Ⅳ-1 学芸員の活動

1) 研究

【博物館研究費による研究】

- 畑 智子 ・明治期京都の工芸工房について
植田彩芳子 ・近代京都絵画に関する総合的研究—小川千甕、太田喜二郎ほか—
村野正景 ・当館所蔵考古資料の再整理 5
長村祥知 ・平安博物館蒐集文献史料の研究 2
植田憲司 ・タイムベースト・メディア作品の保存と修復に関する調査
清水智世 ・近現代京都の作家に関する総合的研究③

【外部研究費・共同研究費等による研究】

- 植田彩芳子 ・公益財団法人鹿島美術財団(美術に関する調査研究助成)「太田喜二郎の研究」
西山 剛 ・歴史系博物館における差別表象(世界人権問題研究センター個人研究助成)

2) 出講・委嘱

- 畑 智子 ・第19回福知山市佐藤太清賞公募美術展 審査員
・第65回全関西美術展 審査員
・第33回京都芸術祭 美術部門 国際交流展 審査員
・京都日本画新展2020 審査員
・「美連協奨励賞」推薦委員
森脇清隆 ・文化庁メディア芸術アーカイブ推進支援事業協力者会議委員
・文化庁京都ノンフィルム資料アーカイブ検討委員
・文化庁障害者による文化芸術活動の推進に向けた情報発信事業企画案選定委員
・京都市コンテンツ産業振興に向けた有識者懇談会委員
・京都ヒストリカ国際映画祭実行委員
・大阪アジア映画祭短編部門審査委員
・京都国際学生映画祭企画検討委員
洲鎌佐智子 ・滋賀県文化財保護審議員
・京都国立近代美術館令和元年度第1回、第2回美術作品購入評価員
・京都国立博物館買取・寄贈評価委員
・令和元年度京都市美術館寄贈品等評価会議委員
・滋賀県立陶芸の森陶芸作品収集審査会委員
・滋賀県立陶芸の森ゲストアーティスト選考委員

- 西山 剛 ・東京大学史料編纂所 画像史料解析センター 共同研究員
・世界人権問題研究センター 登録研究員
・北野天満宮 北野文化研究所 特別研究員
橋本章 ・日本民俗学会代32期評議員
・京都民俗学会理事／企画委員長
・京都府祭り行事調査事業詳細調査専門調査員
長村祥知 ・東京大学史料編纂所共同研究員
・伊賀市文化財保護審議会委員
・聖護院史料研究所客員研究員
大矢敦子 ・立命館大学アート・リサーチセンター 客員協力研究員
植田憲司 ・京都現代写真作家展 京都写真ビエンナーレ 審査員
・きょうと障害者文化芸術推進機構 検討部会構成員
・日本記号学会 理事・編集委員

3) 業績

① 論文・著作

- 畑 智子
- ・「ミュシャの装飾文様と日本の七宝について」(『みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ』展図録／2019年7月)
 - ・「Traditional Culture of Japan」(『Encyclopedia of East Asian Design』所収、Ed. Haruhiko Fujita and Christine Guth, Bloomsbury Visual Arts, London, 2020年)
 - ・「明治初期の七宝—明石家旧蔵資料から」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第32集所収／2020年3月)
- 森脇清隆
- ・「今こそ語り合おう京都アニメーション、そして京都がアニメ文化に刻んだ足跡を深掘りする」(第11回京都ヒストリカ国際映画祭カタログ、2019年10月)
- 林 智子
- ・「京都府収蔵品の法衣について」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第32集所収／2020年3月)
- 植田彩芳子
- ・「太田喜二郎と藤井厚二」(『太田喜二郎と藤井厚二 日本の光を追い求めた画家と建築家』／青幻舎／2019年4月)
 - ・「木島櫻谷筆〈猛鷲図〉をめぐる」(『千總文化研究所 年報』創刊号／2020年1月)
 - ・「津田青楓と日本画家—竹川友廣、谷口香嶠について—」(『背く画家 津田青楓とあゆむ明治・大正・昭和』／芸艸堂／2020年2月)
 - ・「都路華香筆《埴輪》と野見宿禰伝承」(『須田記念 視覚の現場』2号／2020年3月)
- 西山 剛
- ・「中近世における八瀬童子の職能と存在形態」(『世界人権問題研究センター研究紀要』第24号／世界人権問題研究センター／2019年7月)
 - ・「近世における洛中洛外図屏風の受容」(杉森哲也編『シリーズ三都 京都巻』／東京大学出版会／2019年7月)
 - ・「近世北野社の一視角—「洛外名所図屏風 北川家本」の紹介—」(『東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信』第88号／東京大学史料編纂所／2020年1月)
- 村野正景
- ・「『四条真町文書』(京都文化博物館蔵)の特色」[共著](京都文化博物館研究紀要『朱雀』第32集所収／2020年3月)
 - ・『I Simposio de arqueología pública en El Salvador, 2018. Más allá de la arqueología: Arqueología Pública』(共編／Departamento de Arqueología, SEC y Universidad de Estudios Extranjeros de Kioto／2019年10月)
 - ・「ミュージアムの社会貢献としての学校所在資料の発掘と活用」(『Link：地域・大学・文化』Vol.11所収／神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター／2019年12月)
 - ・「高等学校と博物館の連携による学校資料の活用」(和崎光太郎・村野正景編『シンポジウム学校資料の活用を考える—学校資料の価値と可能性—I・II講演録』所収／京都歴史文化施設クラスター実行委員会／2020年1月)
 - ・「学校所在資料の価値体系とその活用」(和崎光太郎・村野正景編『シンポジウム学校資料の活用を考える—学校資料の価値と可能性—I・II講演録』所収／京都歴史文化施設クラスター実行委員会／2020年1月)
 - ・『学校の文化資源の「創造」—京都府立鴨沂高等学校所在資料の発見と活用』I—』(編著／学校資料研究会・京都府立鴨沂高等学校京都文化科／2020年3月)
 - ・「「学校所在資料」という概念の意義—資料のステークホルダーの把握に向けた概念準備—」(『資料と公共性：2019年度研究成果年次報告書』所収／九州大学大学院人文科学研究院／2020年3月)
 - ・「文化財の価値体系とその活用～ミュージアムの動向を踏まえて～」(『公立埋文協会報』64号所収／全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会／2020年3月)
 - ・「重要文化財 旧日本銀行京都支店の保存・活用」に資する新たな手法」(『文化財

橋本 章

- レポート』No.33所収／公益財団法人京都文化財団／2020年3月)
- 書評 森隆男編『住の民俗事典』(『京都民俗』第37号／京都民俗学会／2019年11月30日)
 - 「「謀反人」から「悲劇の武将」へ英雄譚の誕生」(『湖国と文化』170号／滋賀県文化体育振興事業団／2020年1月1日)
 - 「伝承・伝説のなかの光秀」(『麒麟がくるー明智光秀とその時代ー』／NHK出版／2020年1月5日)
 - 書評 室井康成著『事大主義～日本・朝鮮・沖縄の「自虐と侮蔑」』(『日本民俗学』第302号／日本民俗学会／2020年3月)
 - 『京都祇園祭一町衆の情熱・山鉦の風流一』(思文閣出版／2020年3月24日)
 - 「『平安通志』と『承久軍物語』」(野口実編『承久の乱の構造と展開』戎光祥出版／2019年4月)
 - 「木曾義仲と大夫房覚明」(樋口州男・戸川点・野口華世・小林風・中村俊之編『歴史の中の人物像ー二人の日本史ー』小径社／2019年4月)
 - 「因幡堂平等寺の歴史」(龍谷大学龍谷ミュージアム『因幡堂平等寺』龍谷大学龍谷ミュージアム・京都新聞・毎日新聞社／2019年4月)
 - 「京都の観音巡礼札所・寺宝と博物館ー「洛陽三十三所」展の軌跡とあわせて」ほか(平成洛陽三十三所観音霊場会・京都府京都文化博物館監修／長村祥知

長村祥知

- 編『京都観音めぐり 洛陽三十三所の寺宝』勉誠出版／2019年6月)
- 「承久の乱と歴史叙述」(松尾葦江編『軍記物語講座 1 武者の世が始まる』花鳥社／2020年1月)
 - 「個人蔵「補任切」(藤原俊成筆『公卿補任』保安二年条断簡)」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第32集所収／2020年3月)
 - 「『参内図屏風』と遠めがね」(『京の歴史をつなぐ』図録／京都文化博物館／2019年8月)
 - 「コラム 橋と引込線 日常に埋もれた遺構」(『BEACON 2020』図録／京都文化博物館／2020年1月)
 - 「コラム 津田青楓洋画塾の七年」(『背く画家 津田青楓とあゆむ明治・大正・昭和』展図録／練馬区立美術館／芸艸堂／2020年2月)
 - 「小牧源太郎の「稲荷図」シリーズ(1947～1948)ー稲荷と狐と巨母」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第32集所収／2020年3月)
 - 「〔作品紹介〕石川県立歴史博物館蔵《六玉川歌意図屏風》ー地方における鶴澤派門人の活躍についてー」(『京都美術史学』第1号所収／京都美術史学会／2020年1月)
 - 「勝山家三代の肖像画についてー勝山琢舟・琢道・琢如像一」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第32集所収／2020年3月)

植田憲司

清水智世

有賀 茜

② 発表・講演

畑 智子

- 「The Influence of Japanese Decorative Art Works on Western Countries in the 19th CenturyーThe Case of James L. Bowes Collection」(ICOM 京都、ICDAD／京都府立大学／2019年9月3日)
- 「ミュシャの生きたチェコ」『みんなのミュシャーミュシャからマンガへ』展講演会、京都文化博物館7階サロン(イヴェニングトーク)／2019年10月19日

森脇清隆

- 立命館大学地域コンテンツ創造論「博物館と地域文化振興」(講師、立命館大学、2019年5月17日)
- 第11回京都ヒストリカ国際映画祭「アニメーションづくりの魅力ー富山からの発信」(コーディネーター、京都文化博物館、2019年10月27日)
- 映画の復元と保存に関するワークショップ『泥の河』デジタルリマスタリングー小

栗監督を迎えて」(コーディネーター／京都文化博物館／2019年11月15日)

・KBS 京都ラジオ・さらピン！キョウト「京都の映画・映像文化の保存と振興について」(講師／KBS 京都ラジオ／2019年11月20日)

・「京都の映画文化・産業の歴史と京都アニメーション」(講師／関西外国語大学／2019年12月16日)

植田彩芳子 ・「太田喜二郎と藤井厚二」(展覧会「太田喜二郎と藤井厚二」／於：目黒区美術館／2019年7月13日)

・「太田喜二郎研究—京都帝国大学関係者との交流を中心に—」(明治美術学会第2回例会／於：京都工芸繊維大学／2019年8月31日)

西山 剛 ・「民衆史からみる中世の駕輿丁と行幸」(民衆史研究会シンポジウム「民衆の視点から「天皇」を考える」／於：早稲田大学／2019年12月21日)

村野正景 ・「学校所在資料の価値体系とその活用—京都の事例—」(シンポジウム 学校資料の活用を考える—学校資料の価値と可能性— II／於：京都市学校歴史博物館／2020年1月11日)

・「Resultados del primer Simposio de Arqueología Pública en El Salvador, a partir del análisis de la percepción del público asistente」(VIII Congreso Centroamericano de Arqueología en El Salvador／於：Museo Nacional de Antropología／2019年11月14日)

・「文化財の価値体系とその活用—ミュージアムの動向を踏まえて—」(令和元年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会第32回研修会／於：福岡市埋蔵文化財センター／2019年10月17日)

・「Discussing the Roles of the Museum of Kyoto in Contemporary Society」(CAMOC—ICOM 2019 offsite meeting／於：京都文化博物館／2019年9月5日)

・「学校所在考古資料をいかに活用するか」(日本考古学協会第85回総会／於：駒澤大学／2019年5月19日)

・「中米のパブリック考古学と博物館学の動向」(シンポジウム 公共歴史学、公

共考古学の射程：歴史実践と資料／於：九州大学／2019年4月13日)

橋本 章 ・「《祇園祭礼図巻》と祇園祭の歴史」(「横山華山展」開催記念講演会／於：京都文化博物館3階フィルムシアター／2019年7月6日)

・「I 山鉾」(京都市学校歴史博物館リレー講座「明治2年の京都」／於：京都市学校歴史博物館／2019年7月7日)

・「祇園祭と長浜曳山祭をつなぐタペストリーの軌跡」(特別展「京都祇園祭」をもっと楽しむための連続講座 第一回／於：京都新聞文化ホール／2020年2月14日)

・「祭りの復興に向けて—祇園祭 懸装品の復元新調」(特別展「京都祇園祭」をもっと楽しむための連続講座 第3回／於：京都新聞会議室／2020年3月6日)

長村祥知 ・「因幡堂平等寺の中世・近世」(龍谷ミュージアム企画展「因幡堂平等寺」記念講演会／於：龍谷大学大宮学舎／2019年6月2日)

・「京都の寺院・宝物と博物館—洛陽三十三所展を振り返る—」(ぶんぱく京都講座／於：京都文化博物館／2019年8月10日)

・「平安時代後期の京都と美濃源氏」(博物館学芸講座／於：岐阜県博物館／2020年1月26日)

大矢敦子 ・「フィルムアーカイブの仕事と役割」(京都府デジタルリマスター人材育成事業／於：京都文化博物館／2019年10月26日)

植田憲司 ・Conservation and Restoration of Time-based Media Art—Theoretical Concept and Case Study of Japanese Artist's Work (CIDOC 2019 annual conference, ICOM Kyoto 2019/Inamori Memorial Hall, Kyoto Prefectural University/Oct. 3, 2019)

・京都現代写真作家展 京都写真ビエンナーレ 講評(京都府、京都現代写真作家展実行委員会／於：京都文化博物館／2019年12月15日)

・第2回肖像権ガイドライン円卓会議 登壇者(デジタルアーカイブ学会関西支部・デジタルアーカイブ学会法制度部会／於：同志社大学／2020年2月15日)

V-1 出版物

1) 研究紀要『朱雀』

【『朱雀』第32集】

発行：京都文化博物館

発行日：2020年3月31日

印刷：株式会社石田大成社

体裁：A4判、84ページ

編集担当：畑智子、木村千尋

掲載記事：

〔論考〕

・有賀 茜

勝山家三代の肖像画について

ー勝山琢舟・琢道・琢如像ー

・清水智世

小牧源太郎の「稲荷図」シリーズ（1947～1948）

ー稲荷と巨母ー

〔研究ノート〕

・村野正景

小学校と考古学の関わりについての事例研究

ー京都市立北白川小学校所在資料を題材にー

〔資料紹介〕

・林 智子

京都府収蔵品の法衣について

・畑 智子

明治初期の七宝ー明石家旧蔵資料から

・長村祥知

個人蔵「補任切」

（藤原俊成筆『公卿補任』保安二年条断簡）

〔研究ノート〕

・西山 剛、小出祐子

『四条真町文書』（京都文化博物館蔵）の特色

ー資料紹介を兼ねてー

2) 年報

【京都文化博物館2018(平成30)年度年報】

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2019年10月31日

印刷：株式会社吉川印刷工業所

体裁：A4判、74ページ

編集担当：林 智子、木村千尋

3) 展覧会図録

【太田喜二郎と藤井厚二

ー日本の光を追い求めた画家と建築家ー】

体裁：タテ25.7cm×ヨコ18.2cm、148ページ

編集：山田真規子、加藤絵美、降旗千賀子（目黒区美術館）

植田彩芳子（当館学芸員）

松隈章（竹中工務店）

古屋歴（青幻舎）

発行：株式会社青幻舎

発行日：2019年5月1日

印刷：株式会社山田写真製版所

製本：有限会社篠原紙工

【京都観音めぐり 洛陽三十三所の寺宝】

体裁：タテ25.7cm×ヨコ18.4cm、254ページ

監修：平成洛陽三十三所観音霊場会・

京都府京都文化博物館

編集：長村祥知（当館学芸員）

発行：勉誠出版株式会社

発行日：2019年6月29日

印刷：太平印刷社

【ICOM京都大会開催記念 京の歴史をつなぐ】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ22.5cm、72ページ

編集：京都文化博物館

発行：京都文化博物館

発行日：2019年8月29日

印刷：株式会社スイッチ・ティフ

【令和の職人譜 文化財修理の道具と材料】

体 裁：タテ29.7cm×ヨコ22.5cm、16ページ
 編 集：森道彦（京都国立博物館）
 長村祥知（当館学芸員）
 発 行：京都文化博物館、
 京都歴史文化施設クラスター実行委員会
 発行日：2019年11月1日
 印 刷：株式会社スイッチ・ティフ+クラフティ
 デザイン

【Kyoto Art for Tomorrow 2020—京都府新鋭選抜展—】

体 裁：タテ29.7cm×ヨコ21cm、39ページ
 編 集：京都府、京都文化博物館
 発 行：京都府、京都文化博物館
 発行日：2020年1月
 印 刷：ニューカラー写真印刷株式会社

【道具と材料の職人譜】

体 裁：タテ29.7cm×ヨコ22.5cm、48ページ
 編 集：森道彦（京都国立博物館）
 中野慎之（文化庁）
 長村祥知（当館学芸員）
 発 行：京都文化博物館
 発行日：2019年11月1日
 印 刷：株式会社スイッチ・ティフ

【京都祇園祭—町衆の情熱・山鉦の風流—】

体 裁：タテ25.7cm×ヨコ18.1cm、249ページ
 編 集：京都文化博物館
 発 行：思文閣出版
 発行日：2020年3月24日
 印 刷：図書印刷 同朋社

V-2 音楽会

◆いずれも、主催：京都文化博物館、会場：当館別館ホール

① 祇園祭協賛事業 祇園祭ミュージアムコンサート

【祇園祭ミュージアムコンサート】

日時：2019年7月14日、15日
 演奏者：
 ◎7月14日 午後1時～午後8時
 京都市立京都御池中学校吹奏楽部（吹奏楽）
 福田彩乃&東坂萌里（サクソフォン、ピアノ）
 Pukamaikalā（プカマイカラー／ハワイアンフラ〔古典〕）
 わらく堂 with やま。（ピアノ弾き語り）
 京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部（吹奏楽）
 Duo董（ピアノデュオ）
 満月堂（フォーク）
 ◎7月15日 午後1時～午後8時
 プレス（ゴスペル）
 カケラバンク（櫻井幹也&伊藤弘・弾き語り）
 三条 JEUGIA Quartet（クラシック・POPS 他）
 The Juke Box（ザ・ジューク・ボックス／オール
 ディーズ）

MOMONGA（モモンガ／アイリッシュ）
 ゆうさん（アコースティック弾き語り）
 ニューシャープハードオーケストラ（ジャズ・
 ポップス）
 入場者：6,176名

**【同志社女子大音楽専攻科による
宵山ミュージアムコンサート】**

日時：2019年7月16日 午後2時～
 演奏者：同志社女子大学音楽学部生
 入場者：580名

【第30回宵山に箏曲を聴く夕べ】

日時：2019年7月16日 午後6時～
 演奏者：生田流宮城社麗調会社中（箏曲演奏）
 入場者：300名

② その他のコンサート

**【京都文化博物館ミュージアムコンサートシリーズ
『COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館 2019』】**

日時：2019年8月13日～15日、20日～23日
 午後1時～午後4時

主催：京都文化博物館
 会場：別館ホール
 演奏者：
 13日（火）同志社女子大学 / 京都市立芸術大学

14日(水) 京都市立芸術大学 / 京都女子大学 / 同志社女子大学
 15日(木) 京都市立芸術大学 / 京都女子大学 / 同志社女子大学 / 京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部
 ※8月15日は台風の影響により、別館を閉鎖し、公演中止とした。尚、京都女子大学は21日、京都すばる高等学校吹奏楽部は22日に振替公演を行った。

20日(火) 同志社女子大学 / 京都市立芸術大学 / 京都市立京都御池中学校吹奏楽部
 21日(水) 京都市立芸術大学 / 京都女子大学 / 同志社女子大学
 22日(木) 京都市立芸術大学 / 京都女子大学 / 同志社女子大学
 23日(金) 京都市立芸術大学 / 京都女子大学 / 同志社女子大学
 入場者：6,803名

V-3 京都アートフリーマーケット

京都アートフリーマーケットは、若手作家及び職人の創作活動支援と京都文化博物館の位置する三条通界隈に賑わいをつくりだすため、別館を中心とした界隈の施設で2005年秋から開催が始まった。2019年度から、新たに京都伝統工芸大学校をスポンサーとして京都アートフリーマーケット@京都文化博物館

presents by TASK 京都伝統工芸大学校を開催、2020春は、名称を新たに京都アート・クラフトマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校として開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため開催中止とした。

【2019年度 京都アートフリーマーケット】

名 称	開 催 日	入場者数
2019秋 京都アートフリーマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校	2019年10月4日(金)～10月6日(日)	22,237
2020春 京都アート・クラフトマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校	2020年3月13日(金)～3月15日(日)	開催中止

V-4 学習普及外部連携室

1) ボランティア

2020年3月31日現在(2019年度)、93名のボランティアスタッフが活動している。2階総合展示室内における来館者案内や見回りを行いつつ、適宜必要に応じて音楽会や講演会、ワークショップなどのイベントのサポートにも参加する。日本語46名、英語37名、その他の外国語9名が朝10時から夜7時30分までの間、

3交代制で活動を行っているほか、イベントサポートスタッフ1名がイベントのサポート業務を行っている(計93名)。

ボランティアは、2階総合展示の開始にあわせて設定される研修会に参加し、展示内容および展示室運営を含めた総合的なレクチャーを実施している。

2) 「ぶんぱく子ども教室」事業

学習普及連携室が軸となり、ボランティアスタッフと学芸員が協働して企画運営をおこなう「ぶんぱく子ども教室」を実施した。

学習普及連携室チーム(神山俊昭、広井真弓、正野裕文、洲鎌佐智子、植田彩芳子、大矢敦子、清水智世、有賀茜、森田直子)

【第1回 祇園祭 お囃子体験教室】

日時：2019年7月13日(土)午前10時～11時30分

担当者：学習普及連携室

参加者数：子ども20名（保護者を除く）

実施目的：

①京都の三大祭のひとつである祇園祭をより身近に感じてもらう。

②京都文化博物館総合展示中の祇園祭とも関連して興味を持ってもらう。

【第2回 和紙を知ろう！紙すきワークショップ】

日時：2019年11月10日(日)午後1時30分～3時30分

担当者：学習普及連携室

参加者数：子ども7名 大人9名

実施目的：

①総合展示「道具と材料の職人譜」の理解を深める。

②和紙がどのようにして作られるか知ってもらう。

【第3回 日本の和紙にふれよう！和綴じ本作りに挑戦】

日時：2019年11月17日(日)午後1時30分～3時

担当者：学習普及連携室

参加者数：子ども3名 大人13名

実施目的：

①総合展示「道具と材料の職人譜」の理解を深める。

②和綴じを体験し、昔ながらの本作りを知ってもらう。

【第4回 古代のくみひも、クテ打に挑戦！】

日時：2019年12月14日(土)午後1時30分～3時30分

担当者：学習普及連携室

参加者数：子ども7名 大人27名

実施目的：

①総合展示「道具と材料の職人譜」の理解を深める。

②クテ打ちを通して、古代の人がひもを作るために使っていた技を知ってもらう。

【第5回 金工体験ワークショップ！彫金てなあに？】

日時：2019年12月22日(日)午後1時30分～3時30分

担当者：学習普及連携室

参加者数：子ども12名 大人12名

実施目的：

①総合展示「道具と材料の職人譜」の理解を深める。

②金工体験を通して、職人の技や彫金の魅力を感じてもらう。

【第6回 館内ぐるぐる探検ツアー】

日時：2020年1月11日(土)午後1時30分～3時

担当者：学習普及連携室

参加者数：子ども17名（保護者を除く）

実施目的：

①京都文化博物館を知ってもらう。

②博物館がどういうところかを知ってもらう。

③博物館に親しんでもらい、博物館をより身近に感じてもらう。

④新しい友達や仲間づくりを通じて、社会性を養ってもらう。

3) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、総合展示、特別展等の解説に応じている。2019年度の来館件数は119件であった。このうち解説を行ったのは、53件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われることが

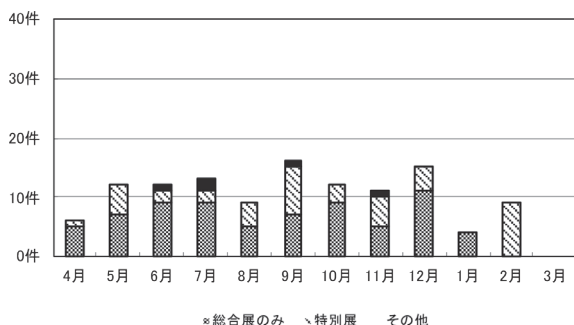
主体で、全体の半数を占めるが、各種の文化サークルや団体旅行での訪問も多い。学校の区分では大学が一番多く、中学校、高校がつづく。

本年度は、7月、9月、12月の団体申し込みが多く、一方で、4、1月は総合展示目的の申し込みが全体を占めている。

【2019年度団体見学案内件数】

2018年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	180	225	272	551	231	403	590	248	438	125	250	0	3513
来館件数	6	12	12	13	9	16	12	11	15	4	9	0	119
解説件数	5	7	6	7	5	4	4	4	6	2	3	0	53

【月別申込み件数】



【団体種類別件数】

団体	件数
小学校	3
中学校	17
高校	11
専門学校	3
大学	31
支援学校	2
一般	64
合計	131

4) 生き方探求チャレンジ体験

京都市内中学校の職業体験学習。令和元年度は以下の学校の生徒を受入れた

- ・京都市立京都御池中学校
2019年5月14日(火)～17日(金) 4日間 2名
- ・京都市立栗陵中学校
2019年5月28日(火)～31日(金) 4日間 1名
- ・京都市立東山泉小中学校
2019年11月5日(火)～8日(金) 4日間 3名

V-5 博物館実習

【実施期間】

2019年8月5日(月)～8月9日(金)

【実習生】

八洲学園大学	1名	
京都産業大学	1名	
京都女子大学	1名	
京都大学	2名	
京都精華大学	1名	
京都造形芸術大学	2名	
京都外国語大学	1名	
甲南女子大学	1名	
同志社女子大学	1名	
佛教大学	1名	
立命館大学	1名	
龍谷大学	7名	(計20名)

【実習内容／担当者】

- ・京都文化博物館の概要／畑 智子
- ・館内見学／長村祥知
- ・映像資料の取り扱いについて／森脇清隆、大矢敦子
- ・民俗資料の取り扱いについて／橋本章
- ・考古資料の取り扱いについて／村野正景
- ・美術資料の取り扱いについて／清水智世、植田彩芳子
- ・博物館の展示について／橋本章、村野正景、植田彩芳子
- ・染織資料の取り扱いについて／林智子
- ・美術工芸品の取り扱いについて／洲鎌佐智子
- ・写真資料の取り扱いについて／植田憲司
- ・文献資料の取り扱いについて／西山剛、長村祥知
- ・学習普及連携について／植田憲司、清水智世、長村祥知
- ・展示設備の取り扱いについて／橋本章、長村祥知

V-6 資料・情報公開

1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約83,590冊、逐次刊

行物約3,210タイトル(82,609冊)を収蔵している。なかでも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約35,500冊、

展覧会図録が約15,700冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受

け入れ数は約2,000件であり、その内、埋蔵文化財発掘調査報告書が約160冊、展覧会図録が約420冊、年報・紀要類が約300冊であった。

2) ホームページによる広報とコンテンツの提供

webサイトは、Twitterを中心としたSNSからのリンクによるアクセス増加に伴い、若い層の閲覧数も増加している。また、展覧会やお出かけ情報紹介サイトからではなく直接当館HPの展覧会情報ページへのアクセスが増えており、SNSの浸透もうかがえる。引き続き、SNSを利用した細やかな情報発信を行い、展覧会

について興味を持ってもらい来館へつなげられるようホームページ運営をしていきたい。

【ホームページの利用状況】

2019年度	総 数	一日平均
アクセス数	988,713	2,709
ページビュー	7,112,805	19,487

V-7 外部連携活動

1) 他館との連携

V-7 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

① 京都市内4館連携協力協議会

京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館、当館の4館による連携協力及び館運営にかかる情報交換を円滑にする目的で、京都市内4館連携協力協議会（「京都ミュージアムズ・フォー」）が2009年6月12日に発足した。2019年度は、4館連携講座、各館

の年間スケジュールを掲載したリーフレットの作成、リーフレット利用したスタンプラリー（参加[応募]者：73名）、各館友の会会員の相互割引（4館合計：1,449名）を実施したほか、4館相互割引制度（11月2日から11月24日まで）も実施した（4館合計：13名）。

V-7 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

② 事業協力

【「関西文化の日」事業への連携】

関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会主催の本事業に、2019年11月16日、17日の両日協力した。総合展示を無料開放し、2日間で932名が利用した。

また、今年度はICOM京都大会開催記念として、「関西文化の日プラス」として2019年9月1日から7日までの間、同じく総合展示を無料開放し、2,509名が利用した。

【「ミュージアムぐるっとパス関西2019」への参加】

今年度は、関西の2府4県（大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山）と、隣接地区（岐阜、愛知、三重、岡山、香川、徳島）の美術館・博物館で構成する合計97施設が参加した。主催は97施設で組織する「ミュージアムぐるっとパス関西2019」実行委員会である。パスを購入すると、対象施設で入場が無料となるなど様々なサービスが受けられる。当館は、総合展示が無料、特別展示が団体料金となる特典を設定し、2019年度の当館での利用者数は、総合展示465名、特別展示578名であった。

2) 京都府内の学校との連携事業

京都府立鴨沂高等学校「京都文化コース」、京都府立鳥羽高等学校「スーパーグローバルハイスクール「イ

ノベーション探求」～地域再発見プログラム～」と連携授業を実施した。

3) 地域との連携

V-7 外部連携活動 ▶ 3) 地域との連携

① 京都文化博物館地域共働事業「ミュージアムが主導する持続可能な地域・観光モデルの開発」

平成31年度文化芸術振興費補助金（地域と協働した博物館創造活動支援事業）の補助を受け「ミュージアムが主導する持続可能な地域・観光モデルの開発」を展開し、京の三条まちづくり協議会、姉小路界限を考える会、京都市歴史資料館、京都市考古資料館、千總文化研究所、京都古文化保存協会と連携して事業を行った。

【研究会・まちカフェの実施】

「まちカフェ」は、京都文化博物館地域共働事業実行委員会が企画・主催し、京都文化博物館本館7階サロンや別館講義室にて、以下のように開催した。

〔1〕『温故知新歴史に学ぶ「建築」』

日時：2019年5月26日(日)午後6時～7時30分
講師：小西 宏之氏(株式会社立石構造設計代表取締役社長)

場所：別館2階講義室

参加者数：26名

〔2〕「京都の景観保全施策の進化・発展と

三条通の近代建築群の保存と活用」

日時：2019年12月15日(日)

午前10時15分～12時15分

講師：苅谷勇雅氏(日本イコモス国内委員会副委員長)

場所：別館2階講義室

参加者数：47名

〔3〕「バーチャル京都からみる三条通の景観変遷」

日時：2019年1月14日(月・祝)

午前10時30分～正午

講師：矢野桂司氏(立命館大学文学部地理学専攻教授)

場所：京都文化博物館本館3F フィルムシアター

参加者数：51名

〔4〕「お餅にまつわる京都の文化」

日時：2019年2月3日(日)午前11時～午後4時

講師：橋本章(当館学芸員)

場所：別館前

参加者数：700名(講座ともちつき大会の合計)

〔5〕「煉瓦と地域の絆 in Kyoto」

日時：2019年2月9日(土)午後3時～4時30分

講師：斉藤進氏(元東京都埋蔵文化財センター職員)

場所：別館2階講義室

参加者数：34名

〔6〕「ホテルと博物館のある街」

日時：2019年2月13日(水)午後6時30分～8時

講師：宗田好史氏(京都府立大学教授)

場所：本館7階サロン

参加者数：12名

〔7〕「「京都の近代建築を考える会」の活動」

日時：2019年3月7日(木)午後6時30分～8時

講師：宮本和則氏(株式会社 京都建築事務所)

場所：別館2階講義室

参加者数：30名

〔8〕「街を動かすのは市民から これまでの20年 街づくりで大切なこと」

講師：水野雅男氏(法政大学教授)

日時：2019年3月13日(水)

午後6時30分～8時30分

場所：本館7階サロン

参加者数：10名

【近代建築ウィーク2019シンポジウム】

「三条通の近代洋風建築群—建築・まち・ひとを繋ぐ」

日時：2019年9月29日(日)

会場：別館ホール

内容：建築を含めたまちの魅力を掘り起こし、それを市民に伝える活動を行い、担い手育成にも取り組む先進事例を端緒に、現在の三条通において、建築・まち・ひとを『繋ぐ』とはどういうことなのかを議論し、それぞれの役割とその可能性を探った。

コーディネーター：笠原一人氏(京都工芸繊維大学助教)

パネリスト：和田 菜穂子 氏(一般社団法人東京建築
アクセスポイント代表理事)、以倉敬之氏(まいまい京
都代表)、村野 正景(当館学芸員)、西村 祐一氏(京の
三条まちづくり協議会事務局長)

【ミュージアムの課題と可能性を考えるワークショップ】

「ICOM 京都大会2019 報告会兼ワークショップ」

日時：2020年1月13日(月・祝)午前10時30分～
正午

場所：3階フィルムシアター・6階和室

主催：京都歴史文化施設クラスター実行委員会、
ICOM 京都大会2019組織委員会、ICOM 日本委員会
参加人数：93名

内容：2019年9月に開催されたICOM 京都大会で
は、どうすれば博物館が社会に貢献できるのか、よ

りよい未来のために博物館は何ができるか、世界の
博物館職員や関係者が集まって議論した。そのテー
マは、持続可能性や防災・減災、あるいは博物館の
新しい定義など多岐にわたった。

プログラム：

第1部 ICOM 京都大会レポート

京都大会2019 概要の紹介 (ICOM 京都大会準備室)

セッション解説(各セッションの要点)

質疑応答

第2部 ワークショップ「ミュージアムの新たな形」

ファシリテーター：高尾戸美氏(多摩六都科学館)、

佐藤優香氏(東京大学大学院情報学環)

ガイダンス

グループワーク

グループ発表

②「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業への協力

今年も昨年に引き続き、10月1日から12月25日ま
で、本事業に協力した。きものを着用した来館者に対
する割引事業で、当館では総合展示入場料を無料、特
別展示入場料を団体料金に割引している。期間中の利
用者は特別展示179名であった。

本事業は京都府、京都市、京都商工会議所、公益財
団法人 京都和装産業振興財団、京都織物卸商業組合、
西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、西陣織物産
地間屋協同組合、京染卸商業組合の9団体で構成する
「きものの似合うまち・京都」実行委員会の主催事業で
あり、2001年度から始められたものである。

V-8 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ
人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館
活動に協力することを目的とする。

1) 会 員

【会員の特典】

- ・会員証で特別展・総合展示(映画鑑賞含む)の無料
での鑑賞(B会員は特別展2回まで無料、3回目から
は団体料金)
- ・会員同伴者5名様まで入場料20%割引(B会員は同
伴者1名まで)

- ・当博物館発行の出版物の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・催事案内や各種行事案内等の送付
- ・当館会員証で京都国立博物館、京都国立近代美術館、
京都市京セラ美術館の特別・常設展が団体料金に割
引および京都府立堂本印象美術館の割引

【会費】

- ・A会員 年会費 6,000円
- ・グループ会員(2名以上) 年会費 5,000円/1名
- ・B会員 年会費 4,000円

【会員の概要】

会員は、個人会員をA会員、また総合展示室・フィルムシアターの観覧を中心とするB会員、2名以上で入会するグループ会員の三つの区分に分け運営を行っている。

会員については、A会員は昨年より増加している。またグループ会員は昨年と同様であり、B会員については大

幅な減少となっている。

要因として、友の会運営は博物館事業と一体化しており、特別展や上映映画に対する会員の興味度・関心度によるところも要因の一つと考えられる。また今年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のために、総合展示室やフィルムシアターの休室も影響している。

B会員は比較的廉価なため、20～30代の方の新規加入を期待しているが昨年同様高齢者層の新加入が多くなっている。

今後は、さらなる新規会員の獲得を目指すとともに、既会員はもちろんのこと、今年度新たに入会した会員に対して次年度以降も継続して加入してもらえよう、友の会の内容の充実とサービスの向上を図りたい。

●会員数の推移

(単位：名)

	2019年度	2018年度	2017年度
A会員	390	376	378
グループ会員	143	144	150
B会員	277	313	307
計	810	833	835

●新規加入者数

(単位：名)

A会員	84
グループ会員	41
B会員	119
計	244

●年齢分布

(単位：名)

10代	0
20代	8
30代	31
40代	39
50代	127
60代	214
70代	284
80代	99
90代以上	8
不明	0
最高齢	94
平均	66.58

●男女構成

(単位：名)

	男性	女性
A会員	67.4%	32.6%
グループ会員	44.8%	55.2%
B会員	61.0%	39.0%
計	61.2%	38.8%

●職業

(単位：名)

会社員	139
公務員	27
教員	22
自営業	55
自由業	6
学生	5
その他	54
無職	502

●住所分布

(単位：名)

京都市内	554
京都府内	71
近畿圏内	156
その他の府県	29
(近畿県内の内訳)	
大阪府	90
兵庫県	38
滋賀県	19
奈良県	9
和歌山県	0
計	156

2) 事業概要

V-8 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

① 見学会

【文化財研修講座「野村碧雲荘」】

場所：京都市左京区南禅寺下河原37
日時：2020年3月3日・3月4日

①午前10時30分～ ②午後1時30分～ ③午後3時～
参加者：両日で15名

V-8 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

② 協力事業

- ・文化財保護基金事業「第87回文化財研修講座」への協力

③ その他

【「友の会通信」発行(毎月)】

会員への情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を発行。

V-9 文化財保護基金室

公益財団法人京都文化財団では、京都文化博物館内に文化財保護基金室をおき、文化財の保護、啓発に努

めている。

1) 貸付け事業

社寺建造物、美術品等文化財の保全に必要な修理事業などに長期、低利の貸付事業を行っている。

令和元年度において貸付はなかった。

2) 文化財保護に関する巡回よろず相談

文化財の保存修理等に関して所有者が抱える様々な問題に対処するため、文化財保護関係機関等が一堂に会するよろず相談を開催した。

【よろず相談】

実施日	9月26日
会場	京都文化博物館
来訪者数	20社寺・団体
相談件数	33件

3) 文化財保護の啓発普及

V-9 文化財保護基金室 ▶ 2) 文化財保護の啓発普及

① 「文化財レポート」の発行

文化財の重要性を認識し、保護意識の高揚を図るための普及誌として「文化財レポート」3,500部を発行した。

また、平成22年度に発行した「マンガ文化財入門(建

造物編)」、25年度に発行した「同(絵画・書篇編)」を各4,000部再版した。

V-9 文化財保護基金室 ▶ 2) 文化財保護の啓発普及

② 文化財研修講座「野村碧雲荘見学会」の開催

碧雲荘運営事業組合の協力のもと、国の重要文化財「野村碧雲荘」(京都市左京区南禅寺下河原町37 平成18年重要文化財指定)の見学会を開催した。平成19年度から4回目の公開で、2日間、6回で計90名の定員に全国から1,500名を超える多数の応募があり、抽選で見学者を決定した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながらの開催となったが、伝統建築の素

晴らしさに関心を持っていただき、文化財保護の重要性を理解していただく場となった。

【文化財研修講座「野村碧雲荘見学会」の開催】

2020年3月3日	①10:30 ②13:30 ③15:00
3月4日	①10:30 ②13:30 ③15:00
参加者数	67名

VI ギャラリー事業

VI-1 5・6階展示室

1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都市立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名(染織・陶芸・諸工芸各1名)、書2名(仮名・漢字各

1名)、写真1名の計13名で、展示室の使用を希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2019年度の委員会は以下のとおり開催した。

【開催日一覧】

委員会開催日	審議対象期間	件数
2019年 6月25日	2019年12月～2020年 3月	15
10月29日	2020年 4月～2020年 7月	16
2020年 2月26日	2020年 8月～2020年11月	17

2) 美術・工芸作家の利用

当館では、開館以来5階展示室に、又6階においては1997年7月より美術・工芸作家が利用できる場を設けており、利用は府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家としている。展示作品は、絵画・彫刻・工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャン

ルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2019年度の利用件数は、35件であった。

【作家利用一覧】

会 期	展 覧 会 名	分 野	会 期	展 覧 会 名	分 野
2019 4. 2～ 4. 7	稲田宗哉 墨人展	書	10.23～10.27	京の名工展	工芸総合
4.17～ 4.21	第32回 面風會展一能面・狂言面一	諸工芸(能面)	11. 8～11.10	第5回日本・中国学生書法合同展 第36回日本京都・中国陝西書画合同展	書
4.25～ 4.29	第28回 光勲能面會展	諸工芸(能面)	11.20～11.24	第31回 工芸美術 創工會展	工芸総合
4.25～ 4.29	第42回 日本画春季光玄展	日本画	11.22～11.24	土岐妍子書作展	書
4.26～ 4.29	京都創造藝術協會展	美術工芸総合 (日本画・洋画・ 彫刻・切り絵)	11.26～12. 1	私風景・心のままに 中井一男個展	洋画
4.27～ 4.29	祐門会 京都能面展	諸工芸(能面)	11.28～12. 1	第39回 聚英展	書
5.17～ 5.19	第39回辛酉会書展	書	12.11～12.15	第17回京都現代写真作家展	写真
6. 4～ 6. 9	第74回 京都丹平写真展	写真	12.13～12.15	ことりみゆき 染織作品展	染織
6.18～ 6.23	第37回 明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展 関西展	美術総合 (日本画・洋画)	12.17～12.22	第28回 帆の會展	洋画
6.26～ 6.30	2019京都日本画家協會第7期展	日本画	12.17～12.22	書 十二月の會	書
6.26～ 6.30	日中書画名家展	書	2020 1.28～ 2. 2	京都書作家協會 會員展	書
7.23～ 7.28	第90回 第一美術京都展	洋画	2. 7～ 2. 9	2019年度 京都橘大学 卒業制作展	書
8.21～ 8.25	第38回 六齋会篆刻作品展	書(篆刻)	2.20～ 2.23	水明書道会 第14回 墨聚展	書
8.21～ 8.25	第23回 ファインド・アイズ 現代・文人光画展	写真	3. 4～ 3. 4	第90回 第一美術京都展(中止)	洋画
9.19～ 9.23	光風工芸「明日へのかたち」展	工芸総合	3.17～ 3.22	山口賛治個展	洋画
9.19～ 9.23	森下勲 彫刻展	彫刻	3.19～ 3.22	第41回 京都現代書芸展(中止)	書
9.27～ 9.29	絵更紗美術協會展	染織	3.25～ 3.29	第63回 あまがつ会人形展	諸工芸(人形)
10. 3～10. 6	篆刻家 小田玉瑛の世界展	書(篆刻)	3.25～ 3.29	第27回 新日美京都支部展(中止)	美術総合
10.11～10.13	(一社)日本染織作家協會 第22回関西支部染織展・第10回選抜新人作家展	染織	3.25～ 3.29	湯浅三郎和紙はり絵遺作展(中止)	諸工芸
			3.27～ 3.29	山野井珠几个展	書
			計 35件(159日間) 39,391人		

※(中止)は新型コロナウイルス感染症拡大予防のために開催中止したものの

【作家利用分野別件数・入場者数】

	美 術						工 芸				美術 工芸 総合	総 計
	日本画	洋 画	書	写 真	彫 刻	美術総合	染 織	陶 芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	2	4	13	3	1	1	3	0	4	3	1	35
割合(%)	6%	11%	37%	9%	3%	3%	9%	0%	11%	9%	3%	100%
入場者数	4,297	3,118	13,312	6,252	360	1,104	1,170	0	2,445	6,668	665	39,391
1件平均入場者数	2,149	780	1,024	2,084	360	1,104	390	0	611	2,223	665	1,125

*諸工芸には、能面・人形を含む。

3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用期間に準

ずる期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

【生涯学習利用展覧会別入場者数一覧】

	会 期	展 覧 会 名	分野	入場者数
5階	2019 4.9～4.14	第45回京都春季創画展	日本画	3,115
	4.18～4.21	第28回煌めくクラフト展、第16回素敵なおニット展	諸工芸	986
	5.9～5.12	第24回 雪秀会能面展	諸工芸	426
	5.9～5.12	有岡由利子パッチワークサークルキルト展2019	諸工芸	2,387
	5.24～5.26	龍門社 第79回 書展(公募)	書	1,083
	6.12～6.16	第35回「竹の会」木版画展	諸工芸	705
	6.13～6.16	十人十色 百暖百団 栄美子・戸田ローブ ニューゼファーズキルト展	諸工芸	1,217
	7.4～7.7	第11回記念 京都全日本 水墨画・俳画・文人画 秀作展	日本画	1,277
	7.10～7.15	第1回 ドラード芸術祭	(美術) 総合	495
	7.16	特別展「横山華山展」特別鑑賞会(作品解説)	その他	90
	7.31～8.4	第21回 京都墨彩画壇展(公募)	日本画	2,002
	8.9～8.11	公募 2019年度 水明書展 第70回 一般部	書	1,348
	8.21～8.25	第7回 ハクビ和紙ちぎり絵学院 京都全国創作展	諸工芸	972
	8.27～9.1	Art Quake Kyoto 2019 Japan Creativity Biennale	(美術) 総合	425
	9.5～9.8	第99回平安書道会公募展	書	1,232
	10.3～10.6	第36回 龍雲会書展	書	723
	10.10～10.12	モラ・刺繍・ビーズワーク 宇宙 (中山手芸研究所)	諸工芸	2,250
	10.16～10.20	'19写人展	写真	538
	10.16～10.20	上田ミチヨ ソーイング教室 発表会	諸工芸	468
	10.16～10.20	創部82年 京都大学写真部OB展	写真	639
11.1～11.4	第56回仏教美術展	(美術) 総合	3,863	
11.14～11.17	第53回心象書展 一旅・漢代の書一 併催 選抜8人展	書	2,027	
2020	1.10～1.13	沙羅書芸教室 新春書藝展	書	884
	1.17～1.26	第32回京都美術文化賞 受賞記念展 <20日休室>	美術工芸総合	1,961
	2.7～2.9	成安造形大学 卒業制作展2020	(美術) 総合	889
	2.13～2.16	京都工芸繊維大学 卒業・修了制作展2020 デザイン・建築学課程	(美術) 総合	1,577
	2.27～3.1	山本秀司 綉 楠 齊 縫(鎖繡)	染織/染色	241
	2.28～3.1	第33回全国シルバー書道展 京都展	書	695
	3.4～3.8	第19回 福知山市佐藤太清賞公募美術展《中止》	(美術) 総合	—
	3.10～3.15	第37回 公募 京都水彩展	洋画	1,475
計29件 使用日数：127日				35,990

※7/16 特別展「横山華山展」特別鑑賞会(作品解説)参加者90人含む《5階》。

※《中止》は新型コロナウイルス感染症拡大予防のために開催中止したものの

	会 期		展 覧 会 名	分野	入場者数
6階	2019	4.17	ノルウェーのミュージシャンを迎えて “貴竜が来た”(邦楽コンサート)	その他	85
		4.20	風楽和<華>Vol.8(邦楽コンサート) 地歌から現代邦楽	その他	70
		5.11	三絃・福森文字 琴・福原佐和子 尺八・三橋貴風 博韻之會	その他	90
		5.12	第二回 京・笑いの会	その他	100
		5.23	体験学習(京舞鑑賞)	その他	198
		5.29	体験学習(落語鑑賞)	その他	200
		6.22	京都文博 嘶の会vol.11 玉川太福 独演会(浪曲)	その他	107
		7.14	京都府高文連小倉百人一首かるた専門部 競技かるた練習会	その他	200
		8.2～8.4	(公財)片山家能楽・京舞保存財団 第23回能装束・能面展	(工芸)総合	1,006
		8.9～8.11	公募2019年度 水明書展 第70回 一般部	書	1,154
		9.7	便利堂 コロタイプ研修会	その他	51
		9.16	笑福亭たま 落語フェスティバル 「笑福亭福笑・たま親子会」「五流派花形競演会」	その他	350
		9.21	第三回 京・笑いの会	その他	100
		9.22	京都文博 嘶の会vol.12 笑福亭松喬 独演会	その他	200
		10.19～10.20	第35回 文化書道近畿連合会展	書	730
		10.25～10.27	第6回 吉田紘三と手織り100人展	染織/染色	670
		11.1～11.4	第56回仏教美術展	(美術)総合	2,093
		11.16～11.17	第22回竹心展 書・画・フラワーデザイン	書	377
		12.7～12.8	いづみ会書展	書	705
		12.21	京都文博 嘶の会vol.13 笑福亭たま 独演会	その他	193
	2020	1.12	令和二年 知ふみ書道 新春書初展	書	475
		1.19	第四回 京・笑いの会	その他	80
		1.24～1.25	2020 京都綴会秀作展	染織/染色	375
		2.13～2.16	京都工芸繊維大学 卒業・修了制作展2020 大学院 デザイン学専攻	(美術)総合	1,345
		2.22	第20回 五色百人一首京都府大会《中止》	その他	—
		2.28～3.1	アルスシムラ 卒業制作展 2019年度	染織/染色	505
		3.4	第6回JTI全国講師会(着付研修会)《中止》	その他	—
3.7		京都文博 嘶の会vol.14 蜃気楼龍玉独演会《中止》	その他	—	
3.27～3.29	第九回書道教室塾展 あけぼの書展	書	774		
計26件 使用日数：46日					12,233

※《中止》は新型コロナウイルス感染症拡大予防のために開催中止したものと

【生涯学習利用分野別件数・入場者数】

	和装 呉服	美 術							工 芸					美術 工芸 総合	総計	
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術総合	小計	染織	陶・針・漆	諸工芸	工芸総合	小計			
5階	件数	-	3	1	7	2	1	5	19	1	-	8	-	9	1	29
	日数	-	15	6	25	10	1	23	80	4	-	34	-	38	9	127
	人数	-	6,394	1,475	7,992	1,177	90	7,249	24,377	241	-	9,411	-	9,652	1,961	35,990
6階	件数	-	-	-	6	-	14	2	22	3	-	-	1	4	-	26
	日数	-	-	-	13	-	14	8	35	8	-	-	3	11	-	46
	人数	-	-	-	4,215	-	2,024	3,438	9,677	1,550	-	-	1,006	2,556	-	12,233

※6階「その他」は体験学習、落語会、邦楽演奏会等。

※「美術総合」に絵画、華道含む。

4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展示会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

【一般利用分野別件数・入場者数】

		和装呉服	染織	美術	工芸	その他	小計
5階	件数	-	1	-	-	2	3
	日数	-	2	-	-	9	11
	人数	-	1,000	-	-	2,748	3,748
6階	件数	10	-	-	-	-	10
	日数	21	-	-	-	-	21
	人数	1,650	-	-	-	-	1,650

※美術：日本画、洋画、書、写真、華道など

VI-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展示会や音楽会、また展示即売会等の商業催事から結婚式まで様々な催事の利用に供している。

近年は、KYOTOGRAPHIEやARTISTS' FAIR KYOTOなど、大型展示会の開催により新たな客層の賑わいが生まれており、ホールの利用に合わせたサブイベントとして、講義室やウッドデッキの利用も増えている。

【別館利用状況一覧】

会期	展示会・音楽会名	会期	展示会・音楽会名
2019 4.2	特別展開連イベント 北野天満宮展シンポジウム	6.29	玄鳥至(つばめきたる)第1回コンサート
4.5	北村陽・朝日旅行特別コンサート	6.30	愛の歌国境を越えて ～歌とピアノによる名曲の数々～
4.6	大西貴浩リサイタル 日本歌曲シリーズ「生きる」	7.1	特別展横山華山開会式
4.7	平成31年度 染織光悦會展	7.4	Amo Italia! 2019 イタリアの風をあなたに ～サンドロ・クックイーニ氏を迎えて
4.13～5.13	KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2019 "VIBE"	7.6	京都フランス歌曲協会コンサート 歌の捧げもの ～デュパルクとクラス～
5.1～5.2	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	7.7	mama!milk 20周年記念コンサート 「ここにいること、旅をすること」
5.15	小玉晃バリトリンリサイタル セカンドアルバム《うたの絵本》完成記念演奏会	7.13	Ring O & Chance! Concert ♪ vo.4
5.17	コンサート 歌曲の織りなす物語の世界	7.14～7.15	祇園祭ミュージアムコンサート
5.18	混声合唱団アンサンブル・アワーズコンサート	7.16	同志社女子大学音楽学部生による 宵山ミュージアムコンサート
5.19	アンサンブルグループさいさい 打楽器アンサンブルコンサートvol.1	7.16	第30回宵山に箏曲を聴く夕べ
5.25～5.26	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	7.13～7.16	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
5.30	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサート シリーズvol.72 「超名曲 シューベルトのます」	7.19	西村暁音・和久井穂波ジョイントリサイタル
5.31	通崎睦美コンサート「今、甦る! 木琴デイズ」vol.11 ～木琴は歌う～	7.20	新井英一京都文化博物館ライブ2019 「歌は魂から吐き出す。」
6.1	アンサンブル・コントラスタンテ コンサートシリーズ 第2回OLD AND NEW	7.25	【昼公演】お話と音楽～世界を旅したカナリアのおはなし～ 【夜公演】雨の歌～運命のトライアングル～
6.2	総合展「太田喜二郎と藤井厚司」シンポジウム	7.26	大久保香・千藤里子 フルートデュオリサイタルVol.5
6.4	コール・ラ・グリシン演奏会リハーサル	7.27	NaKaNaKa×NaKaYoshi 2組のピアノ連弾デュオによる ジョイント・リサイタル
6.7～6.20	mt store at the Museum of Kyoto	7.28	京都弦楽合奏団サマーコンサート
6.8～6.9	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	7.31	京都府教員研修
6.22	朗読まつり 声で時代をめぐる/～朗読と音楽の調べ～ 言ノ葉ノ木 (同日開催)	8.1	音楽広場 in 京都 ピーターラビットフェスタ2019
6.23	コール・ラ・グリシン演奏会 歌の散歩道	8.3	前田よし子 ソプラノリサイタル
6.26	日中名家書家展 開会式	8.4	ふたりのリサイタル～モーツァルト協奏曲の夕べ～
6.28	VR活用セミナー		

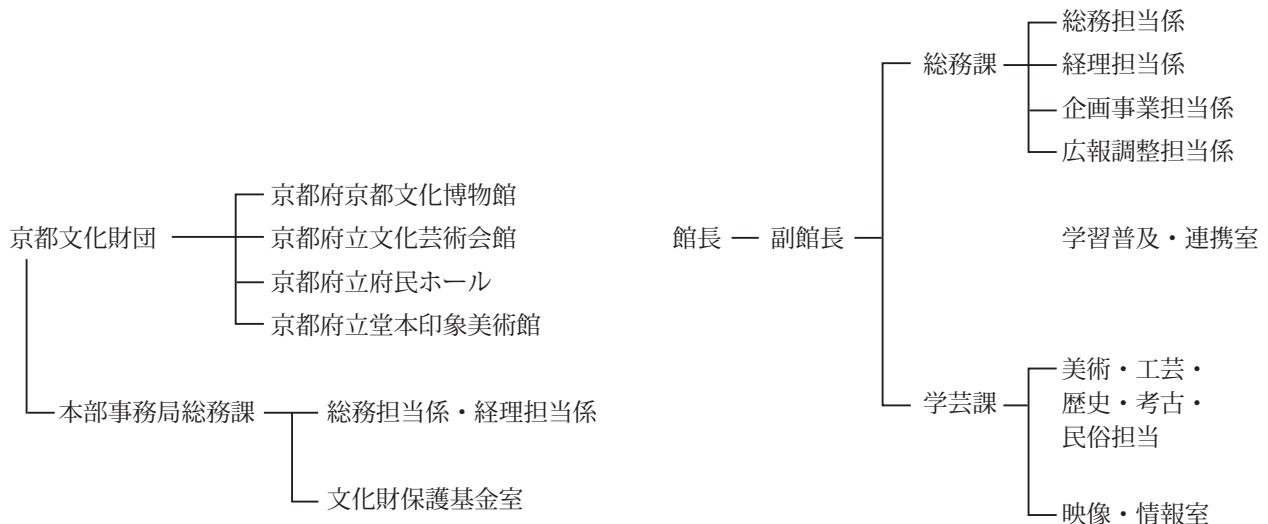
会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
8.10	トランペット発表会 vol.15	11.8～11.10	第31回建築展
8.11	Felix室内合奏団 第31回演奏会	11.12	伊澤一葉 ピアノライブ
8.12	第24回全国学生邦楽フェスティバル 「若者による邦楽コンサート」	11.13	通崎睦美コンサート「今、甦る！木琴デイズ」vol.12
8.13～23	COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館	11.15～11.17	佐々木真弓・アトリエエンジェル ステングラス・ランプ展
8.16～8.17	haruka nakamura「STARDUST II」 京都公演 二連夜	11.16～11.17	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
8.18	Jazz at Sanjo vol.18	11.19	平原誠之ピアノコンサート
8.25	第20回 夏のひととき	11.21	京都市立芸術大学 オラトリオ・プロジェクトオペラ
8.27～9.3	彭康隆展 一無孔笛一	11.22	高野寛コンサート
8.29	日本工芸会近畿支部会議	11.23	音楽のおもちゃ箱の仲間たち「コンサートフェア2018」
8.31～9.1	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	11.24	LUCA&There is fox コンサート
8.31	ICOM京都大会ボードミーティング	11.28～12.3	貴久樹 天竺展
9.5	ICOM京都大会 CAMOCオフサイトミーティング	12.6	西垣正信クリスマスコンサート
9.5	手すき和紙の実演と手すき和紙用具の展示 <中庭ウッドデッキ>	12.7	京都フランス歌曲協会コンサート
9.6	日本ドイツリート協会 第31階演奏会	12.8	京都室内合唱団クリスマスコンサート
9.7	田中純・大西貴浩 デュオ・リサイタル TAKEMITSU SONGS	12.10～12.15	平岡達子展
9.7	アートフリマ説明会	12.18	プレスChristmas Night 2019
9.8	書道×音楽×演劇による新しいエンターテイメント ～よみひとしらす	12.19	Joyful Bellsハンドベルコンサート
9.8・9.10	新鋭展説明会	12.20	アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ コンサート
9.10～9.15	むす美展 「TIMELESS」	12.21～12.22	THE GIFT BOX2019 アーティストが提案する特別なギフト
9.8	松尾優ホールリサイタルPIANO SONGS vol.3	12.21～12.22	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
9.20～9.21	KPA「メイキングワークショップ2020」	12.24	『やりたい事づくしの音楽祭』
9.21～9.22	日本銀行イベント	12.26	京都フィルハーモニー室内合奏団室内楽コンサート
9.23	ジョイントリサイタル ザルツブルグより ルッツ・レスコラヴィッツ教授をお迎えして	1.5	J Mコンサート
9.26	文化財保護基金よろず相談会<講義室>	1.9	月世界 愛と魂と宇宙をうたう
9.28	講演会「京の翠とわざの粋-緑釉陶器と緑釉瓦-」	1.10	映像コンサート 神々の色いろ
9.28	博学社連携シンポジウム6	1.11	京都:Re-Searchフォーラム
9.29	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	1.12	京都ファイナーツ・プラス演奏会
10.4～10.6	2019秋 京都アートフリーマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校	1.13	アンサンブルカノ演奏会
10.13	「歌の花束」 泉会第34回コンサート	1.18～1.19	映画字幕ワークショップ
10.14	ジェスカ・グランパール 結成20周年記念コンサート	1.25～1.26	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
10.18	岡崎耕治(ファゴット)・岡崎悦子(ピアノ) デュオリサイタル	1.25～2.9	Kyoto Art for Tomorrow 2020—京都府新鋭選抜展—
10.19	歌とピアノソロで紡ぐ “にほんのうた”コンサートVol.5	1.26	まちカフェ
10.20	京都バツハ合唱団 特別演奏会	2.13～2.16	京都工芸繊維大学建築学専攻 修了制作展2020
10.22	mama!milk Quartet	2.19～2.22	むす美展
10.24	平沼有梨 feat.古澤巖 『光芒Vol.2～神々の旋律～』	2.22～2.24	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
10.25	谷山浩子ソロライブツアー 2019	2.28～3.1	ARTISTS' FAIR KYOTO2020(中止)
10.26～11.4	第11回京都ヒストリカ国際映画祭/ フィルムメーカーズラボ/VRラボ	3.6～3.8	DUTCH FLOWER LIFE-デモンストレーション & 展示会- (一部実施)
10.26～10.27	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	3.10	第2回 京都市立芸術大学 クラリネット科 小谷口直子門下生による発表演奏会(中止)
10.30	向井山朋子 ピアノコンサート	3.11	mol-74 acoustic one-man live(中止)
11.1	松下悦子門下声楽発表会	3.13～3.15	2020春京都アート・クラフトマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校(中止)
		3.21～3.22	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
		3.24～3.31	特別展「京都祇園祭」山鉦展示
			入場者数 計 181,287人

※(中止)は新型コロナウイルス感染症拡大予防のために開催中止したもの

VII 管理・運営

VII - 1 組織と職員

1) 組織



※総務担当係及び経理担当係は京都文化財団本部総務課を兼ねる

2) 京都文化財団

【京都文化財団役員および顧問名簿】

2020年3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	西脇 隆俊 千 玄室	京都府知事 前京都文化財団副理事長、前茶道裏千家家元	理事	並木 誠士 平林 幸子 深尾 憲一 吉田 忠嗣	京都工芸繊維大学教授、美術工芸資料館館長 京都中央信用金庫副会長 弁護士 吉忠株式会社代表取締役社長
理事長	山田 啓二	京都文化博物館館長、前京都府知事	監事	光田 周史 中村 健児	公認会計士 一般社団法人京都銀行協会専務理事
常務理事	神山 俊昭	京都文化博物館副館長			
理事	金田 章裕 小林 正幸 高階絵里加	京都府立京都学・歴史館館長、京都府立大学法人理事長 京友商事株式会社代表取締役会長 京都大学人文科学研究所教授			

【京都文化財団評議員名簿】

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
評議員会長	長尾 真	元京都大学総長	評議員	金剛 永謹	金剛流宗家
評議員	赤松 玉女 有馬 頼底 池坊 雅史 今井 政之 上原 雅明 上村 淳之 梅原ひまり 杭迫 柏樹 兒島 宏尚	公立大学法人京都市立芸術大学理事長・学長 臨濟宗相国寺派管長 華道家元池坊総務所事務総長 陶芸家 京都府教育委員会教育長職務代理者 日本画家 ヴァイオリニスト 書家 京都商工会議所専務理事		佐々木正子 潮江 宏三 杉本 節子 田中 恆清 永島 宣彦 名和 修 山内 修一 山本 壯太 冷泉 為人	嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学学長、学校法人大覚寺学園理事 美術評論家、京都市立芸術大学名誉教授 公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会常務理事 石清水八幡宮宮司 京都新聞社参与 公益財団法人陽明文庫常務理事、文庫長 京都府副知事 古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー 公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長

3) 京都文化博物館

【京都文化博物館職員名簿】

2020年3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担 当 業 務	備 考
	名誉館長	荒巻 禎一		財団理事長・館長 2003.6～2018.6
	館長	山田 啓二	館総括	財団理事長 2018.6～
	副館長	神山 俊昭	館業務総括	事務局長 2011.4～ 財団常務理事 2011.6～
総務課	総務課長兼文化財保護基金担当課長	広井 真弓	課総括	財団本部事務局兼務 2018.6～
	総務担当係長	水嶋 紀子	総務担当業務	財団本部事務局兼務 2019.8～
	経理担当係長	西村 尚久	経理担当業務	財団本部事務局兼務 2019.4～
	課長補佐兼企画事業担当係長	森 雅樹	企画事業担当業務	1992.9～
	課長補佐兼広報調整担当係長	磯野 真知子	広報調整担当業務	2011.4～
	担当係長	海老名 和孝	企画事業担当業務	2015.4～
	主任	高桑 鉄則	企画事業担当業務	2007.4～
	主事	新谷 婦美子	総務担当業務	財団本部事務局兼務 2014.4～
	主事	竹内 文香	広報調整担当業務	2014.4～
学芸課	課長	畑 智子	課総括	2006.6～
	課長補佐 主任学芸員	洲鎌佐智子	工芸	1988.5～
	課長補佐 映像・情報室長 主任学芸員	森脇 清隆	映像・情報	1990.7～
	学芸員	林 智子	染織	2008.10～
	学芸員	植田 彩芳子	絵画	2010. 8～
	学芸員	西山 剛	歴史・文献	2010. 8～
	学芸員	村野 正景	歴史・考古	2011. 4～
	学芸員	橋本 章	民俗	2011. 10～
	学芸員	長村 祥知	歴史・文献	2012.6～
	学芸員	大矢 敦子	映像・情報	2016.4～
	学芸員	植田 憲司	映像・情報	2017.4～
	学芸員	清水 智世	絵画	2017.4～
	学芸員	有賀 茜	絵画	2019.9～

VII-2 施設

1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1
 設計：京都府土木建築部営繕課・株式会社久米建築事務所

施工期間：1986年10月～1988年9月
 2010年12月～2011年7月
 (リニューアル工事実施)

敷地面積：4,830.0㎡ (別館を含む)
 建築面積：3,646.5㎡ (別館を含む)
 延床面積：15,854.7㎡ (別館を含む)

本館床面積：13,591.8㎡
 (内訳) 地階 2,242.4㎡ / 1階 2,251.7㎡
 2階 1,892.8㎡ / 3階 1,908.7㎡
 4階 1,442.1㎡ / 5階 1,442.1㎡
 6階 1,218.2㎡ / 7階 1,010.4㎡
 塔屋 182.8㎡

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 / 一部鉄骨造

2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル
 菱屋町48番地

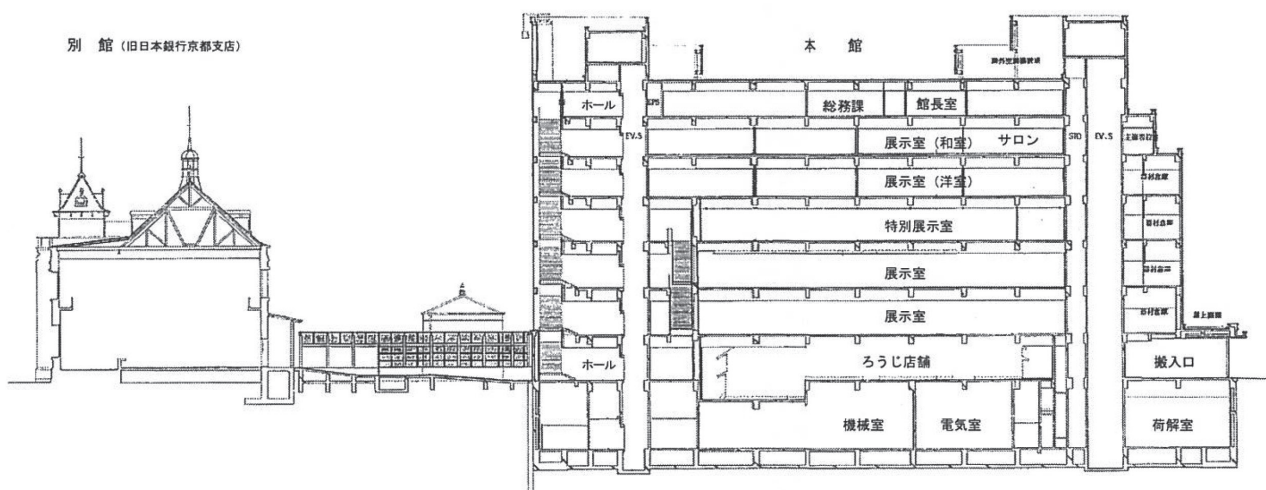
設計：辰野金吾・長野宇平治
 施工期間：1903 (明治36) 年9月
 ～1906 (明治39) 年6月

延床面積：2,249.3㎡
 別館構造：建築面積……819.7㎡
 煉瓦造、2階建一部地下1階
 スレート・銅板葺、両翼塔屋付

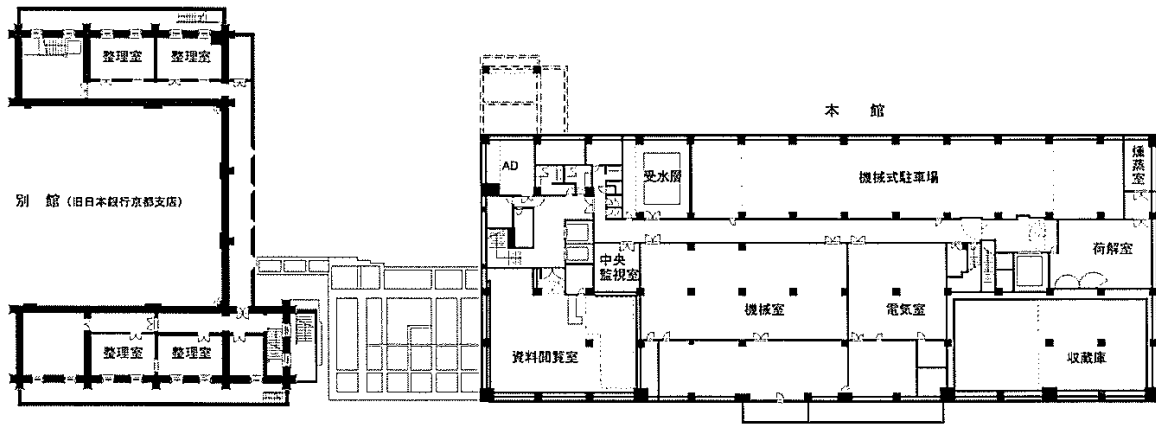
旧金庫構造：建築面積……237.1㎡
 煉瓦造、1階建、棧瓦葺

指定：重要文化財
 指定名称 旧日本銀行京都支店
 指定年月日 1969年3月12日
 指定書番号 建第1,708号

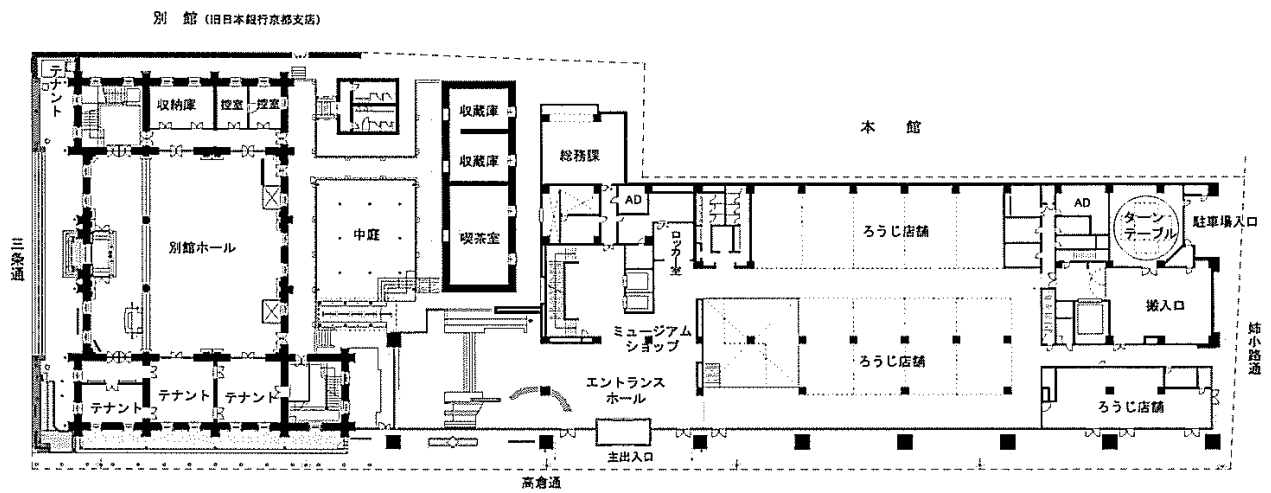
【京都文化博物館断面図】



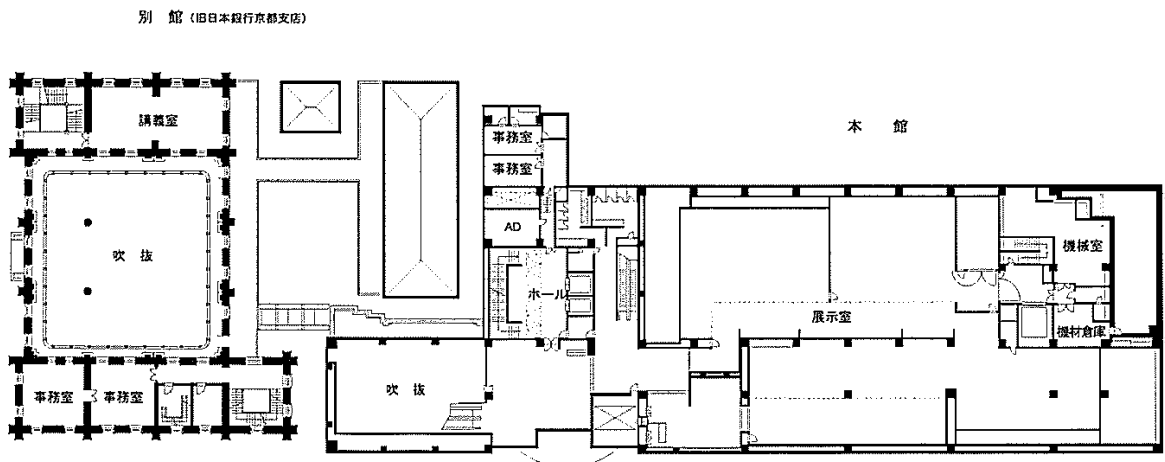
【京都文化博物館 地下1階平面図】



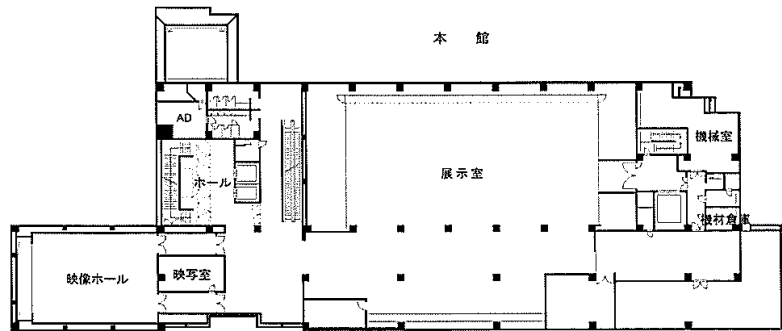
【京都文化博物館 1階平面図】



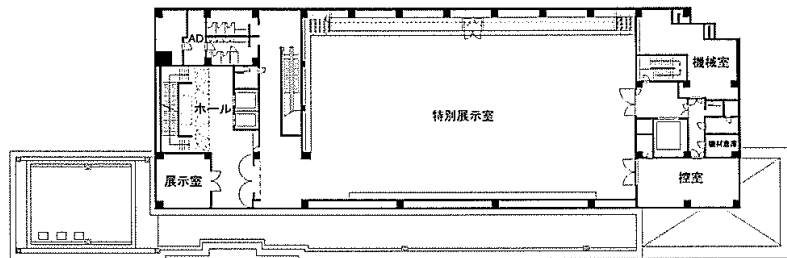
【京都文化博物館 2階平面図】



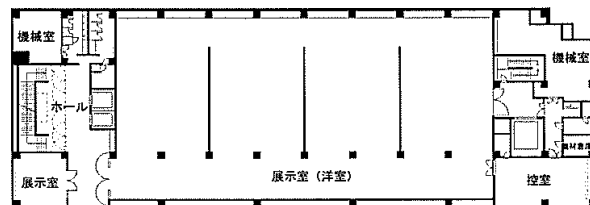
【京都文化博物館 3階平面図】



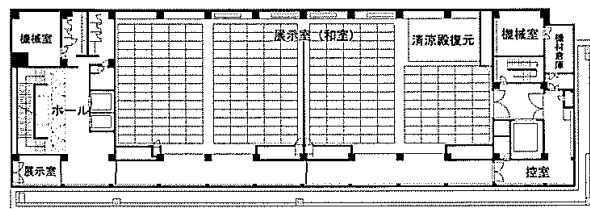
【京都文化博物館 4階平面図】



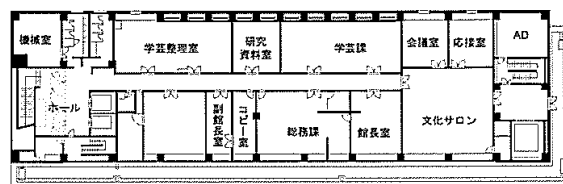
【京都文化博物館 5階平面図】



【京都文化博物館 6階平面図】



【京都文化博物館 7階平面図】



VII-3 館内店舗

1) ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店で作る「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は11,934名であった。

【ろうじ店舗一覧】

- ◇和紙と和紙小物の店—楽紙館
- ◇京都和雑貨—菰軒（令和2年2月29日まで）
- ◇京のエッセンス15店舗 名店会（順不同）
- 香老舗—松榮堂 京麩—半兵衛麩
- 京念珠—福永念珠舗 京菓子—鼓月

- 京佃煮—野村 宇治茶—福寿園
- 京扇子—とくの 京象嵌—川人象嵌
- 八ッ橋—井筒八ッ橋 京の額—古澤仙壽堂
- 京風雅便箋—表現社 野菜せんべい—京煎堂
- ちりめん小物—くろちく 京つけもの—西利
- 竹の匠—高野竹工
- ◇手打ちそば・蕎麦料理—有喜屋
- ◇あめとかふえ—とにまる
- ◇京都 なだ万賓館
- ◇京・嵐山上流の蔵—京丹山
- ◇ミュージアムショップ—京都 便利堂

2) 別館店舗

【別館店舗一覧】

- ◇前田珈琲 文博店 ◇アートギャラリー arton art gallery
- ◇art shop JARFO京・文博 ◇和雑貨—くろちく 文博店

3) 博和会・ろうじ店舗行事

【博和会行事】

区 分	名 称	開催日	入場者
博和会イベント	『ろうじの古本まつり』夏 さきまつり 協力：京都古書研究会	5月31日～6月2日	9,946
	『ろうじの古本まつり』夏 あとまつり 協力：京都古書研究会	6月7日～6月9日	9,736
	『ろうじの古本まつり』冬 さきまつり 協力：京都古書研究会	12月13日～12月15日	9,367
	『ろうじの古本まつり』冬 あとまつり 協力：京都古書研究会	12月20日～12月22日	8,817
	ブンパククリスマス2019(別館中庭LEDライトアップ) 点灯式：11月30日 17:00ハンドベル演奏『Joyfull Bell』&お楽しみ抽選会	11月30日～12月27日	100
	ブンパククリスマス2019キャンペーン スタンプラリー達成者80名に500円金券プレゼント	11月30日～12月14日	80
会員店舗職員向懇親会	納涼会(店舗職員と館職員の交流会)	8月8日	—
	大忘年会(店舗職員と館職員の交流会)	12月27日	—

VIII 2019(令和元)年度 のあゆみ

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事項	
2019年		
4月2日	常設上映「映画が伝える、名もなく、貧しく、そして美しい生活」	(～4月30日／FT)
4月6日	総合展示「祇園祭―函谷鉾の名宝―」	(～6月16日／2階)
4月13日	京都学・歴彩館 展覧会「対展」開催	(～6月9日／歴彩館)
4月27日	総合展示「太田喜二郎と藤井厚二―日本の光を追い求めた画家と建築家―」	(～6月23日／2階)
4月27日	「光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界」開催	(～6月9日／3・4階)
5月1日	常設上映「没後50年 映画監督・成瀬巳喜男の世界」	(～6月6日／FT)
5月22日	常設上映「芦屋小雁映画祭り」	(～5月26日／FT)
6月7日	EUフィルムデーズ2019-映画で旅するヨーロッパ	(～6月30日／FT)
6月16日	ぶんぱく京都講座「太田喜二郎の画業と生涯」	(16日／AL)
6月22日	総合展示「祇園祭 ―山鉾巡行の歴史と文化―」	(～8月4日／2階)
6月29日	総合展示「池大雅」	(～8月25日／2階)
6月29日	総合展示「洛陽三十三所4 ―信仰のかたち―」	(～8月25日／2階)
7月2日	「横山華山展」開催	(～8月17日／3・4階)
7月2日	常設上映「追悼 映画女優・京マチ子」	(～7月31日／FT)
7月13日	ぶんぱく子ども教室 第1回 祇園祭 お囃子体験教室	(13日／館外)
7月14日	祇園祭ミュージアムコンサート	(14日、15日／AH)
7月16日	同志社女子大学音楽専攻科による宵山ミュージアムコンサート	(16日／AH)
7月16日	第30回宵山に箏曲を聴く夕べ	(16日／AH)
7月16日	祇園祭記念特別上映会	(16日、17日、24日／FT)
8月1日	第25回京都国際子ども映画祭	(～8月4日／FT)
8月5日	常設上映「銀幕が汗をかく― 映画で感じる夏」	(～8月29日／FT)
8月5日	博物館実習	(～9日／館内)
8月10日	総合展示「祇園祭 ―長刀鉾の名宝―」	(～10月20日／2階)
8月10日	ぶんぱく京都講座「京都の寺院・宝物と博物館―洛陽三十三所展を振り返る―」	(10日／AL)
8月13日	京都文化博物館ミュージアムコンサートシリーズ『COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館 2019』	(～23日うち7日間／AH)
8月25日	「ICOM京都大会開催記念 東京富士美術館所蔵 百花繚乱 ニッポン×ビジュアル展」開催	(～9月29日／4階)
8月29日	企画展「ICOM京都開催記念 京の歴史をつなぐ」開催	(～9月29日／3階)
8月30日	日本映像学会関西支部第41回夏期映画ゼミナール2019年「大谷 巖特集 ―音の世界―」	(～9月1日／FT)
8月31日	総合展示「辰野金吾没後100年 文博界隈の近代建築と地域事業」	(～10月27日／2階)
9月2日	常設上映「【ICOM京都大会開催記念】映画が描く京都―風土・文化・歴史」	(～9月15日／FT)
9月16日	常設上映「生誕110年記念 映画監督・山中貞雄の世界」	(～9月29日／FT)
10月1日	常設上映「生誕100年記念 映画でみる水上勉の世界」	(～10月13日／FT)
10月4日	2019秋 京都アートフリーマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校	(～6日／AH他)
10月8日	ベルリンの壁崩壊30年記念企画 東ドイツ映画の上映とトーク	(8日／FT)
10月12日	「みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ―線の魔術」開催	(～1月13日／3・4階)
10月14日	常設上映「芸術」を記録する―アート・フィルムの世界」	(～10月25日／FT)

10月26日	総合展示「祇園祭 一四条傘鉾の名宝」	(～12月22日／2階)
10月26日	第11回 京都ヒストリカ国際映画祭	(～11月4日／FT)
11月2日	総合展示「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝9」	(～1月5日／2階)
11月2日	総合展示「道具と材料の職人譜」	(～12月22日／2階)
11月6日	常設上映「映画にみる怪異と恐怖の世界」	(～11月29日／FT)
11月10日	ぶんぱく子ども教室 第2回 和紙を知ろう！紙すきワークショップ	(10日／館外)
11月15日	映画の復元と保存に関するワークショップ 2019 関連上映	(15日／FT)
11月17日	ぶんぱく子ども教室 第3回 日本の和紙にふれよう！和綴じ本作りに挑戦	(17日／館外)
11月30日	京まちなか映画祭2019 日本の音楽好事家による邦画セレクション	(～12月1日／FT)
12月3日	常設上映「新天地を夢みて - 戦後日活繁盛記」	(～12月27日／FT)
12月14日	ぶんぱく子ども教室 第4回 古代のくみひも、クテ打に挑戦！	(14日／館外)
12月22日	ぶんぱく子ども教室 第5回 金工体験ワークショップ！彫金てなあに？	(22日／館外)
2020年		
1月4日	総合展示「伊藤久三郎展 一夢の中でみた世界」	(～2月27日／2階)
1月4日	常設上映「新春 映画歌合戦」	(～2月2日／FT)
1月11日	総合展示「BEACON 2020」	(～2月27日／2階)
1月11日	京都学・歴史館 展覧会「柔らかい陶 一市川廣三・宮下善爾の心象風景」開催	(～2月27日／歴史館)
1月11日	ぶんぱく子ども教室 第6回 館内ぐるぐる探検ツアー	(11日／館内)
1月25日	ぶんぱく京都講座「記憶・映像・装置「BEACON」をてがかりに「保存」について考える」	(25日／AL)
1月25日	「Kyoto Art for Tomorrow 2020 一京都府新鋭選抜展一」開催	(～2月9日／3階・別館)
2月4日	常設上映「スリルとサスペンスを味わう 一硬派推理映画の魅力」	(～2月29日／FT)
2月12日	文化庁委託事業 ndjc若手映画作家育成プロジェクト 2019年度合評上映会	(12日／FT)
2月15日	総合展示「雛人形名品展」	(～2月27日／2階)
2月14日	日本映画テレビ技術協会京都支部「受賞作品を見る会」	(14日／FT)
2月21日	第22回京都国際学生映画祭	(～2月23日／FT)
3月1日	常設上映「高峰秀子没後10年 デコちゃんの映画渡世子役から少女スター、そして女優へ」	(～4月5日／FT) (新型コロナウイルス拡大防止のため開催中止)
3月3日	文化財研修講座「野村碧雲荘見学会」の開催	(～4日／館外)
3月13日	2020春 京都アート・クラフトマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校	(～15日／AH他) (新型コロナウイルス拡大防止のため開催中止)
3月24日	総合展示「三条御倉町 大橋家の歴史と美術」	(～4月3日／2階)
3月24日	「京都文化力プロジェクト関連事業 京都祇園祭 一町衆の情熱・山鉾の風流一」開催	(～4月3日／3・4階)
3月27日	ぶんぱく京都講座「町人の文化史 三条御倉町・大橋家を素材に」	(27日／AL) (新型コロナウイルス拡大防止のため開催中止)

京都文化博物館 2019(令和元)年度年報

発行日 2020年9月30日
編集・発行 京都府京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL：075-222-0888
FAX：075-222-0889
印刷 株式会社ITP